

データヘルス計画

第2期計画書 中間見直し

最終更新日：令和3年03月31日

愛知製鋼健康保険組合

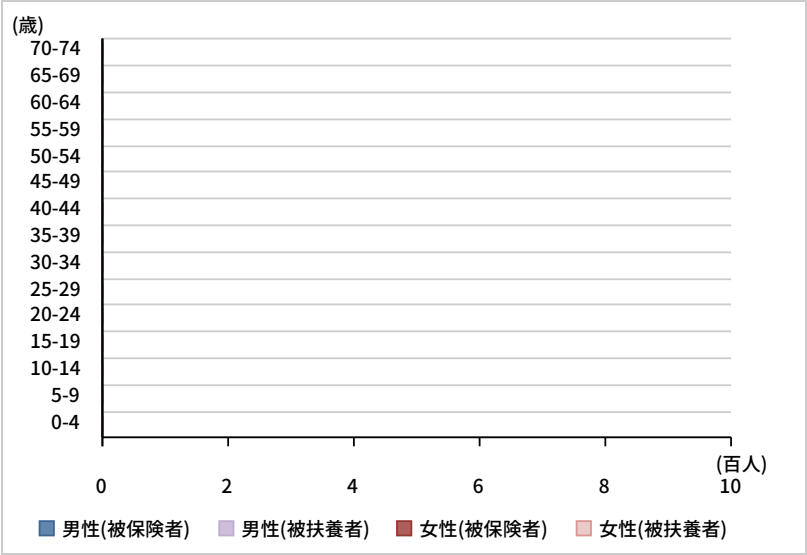
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	56511		
組合名称	愛知製鋼健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	-名	-名	-名
加入者数	-名	-名	-名
適用事業所数	-カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	-カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	-%	-%	-%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	-	-	-	-	-	-
	保健師等	-	-	-	-	-	-
事業主	産業医	-	-	-	-	-	-
	保健師等	-	-	-	-	-	-
				第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)			
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体		2,849 / 3,656 = 77.9 %			
		被保険者		2,290 / 2,417 = 94.7 %			
		被扶養者		561 / 1,239 = 45.3 %			
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体		100 / 731 = 13.7 %			
		被保険者		89 / 685 = 13.0 %			
		被扶養者		11 / 46 = 23.9 %			

		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	-	-	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	-	-	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	-	-	-	-	-	-
	疾病予防費	-	-	-	-	-	-
	体育奨励費	-	-	-	-	-	-
	直営保養所費	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計 …a	0	-	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	-	-	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	-		-		-	

令和3年度見込み



令和4年度見込み



令和5年度見込み



男性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	-人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	-人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	-人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	-人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ①加入者8千人程度の中規模の健康保険組合。
- ②加入者構成は40代前半～50代前半が多い。
- ③加入事業所のうち10事業所が愛知県内。
- ④母体企業の産業医が12事業所のうち5事業所の産業医を兼務している。
- ⑤医療従事者は母体企業のみ。（看護師常勤3名、パート1名、保健師パート1名）
- ⑥健保組合には産業医はいない。

<被保険者>

- ・全適用事業所のうち、母体企業の愛知製鋼に被保険者の70%が所属している。
- ・事務職、工場交代勤務者（運転、機械操作など）職種は様々。
- ・男女比は9：1で男性が多い。女性少ない。

<被扶養者>

- ・若年では10代が多い。
- ・中高年では40代～50代の女性が多い。
- ・母体企業の愛知製鋼に被保険者が集中して所属しているため、被扶養者も愛知製鋼社員の被扶養者が多い。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
健診の受診状況から、特に被扶養者の受診率が低い様子あり。（健診の受診を促すための活動の見直しが必要）
肥満者が多く、若年者でも健康状態が悪い方もいる。特定保健指導の実施率も低い。
（特定保健指導基準での実施をしていなかったため。H29年度より特定保健指導基準にて実施を開始）
がん検診の受診率は伸びてきたが、受診後の精密検査受診率が低い様子あり。（周知、介入方法に工夫が必要）
重症群に対しては、集団での教室は手あげ制で実施しているが、特定少数の重症化予防（未治療・アンコントロール等）が不十分。
母体事業所と健保で、同様の保健事業を実施している様子あり。（情報共有、すみわけ、対策が必要。）
前期高齢者の医療費が増加傾向。健保財政に影響してくる可能性大。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌の発行
保健指導宣伝	医療費通知発行
保健指導宣伝	ホームページ管理費
保健指導宣伝	前期高齢者家庭訪問指導
保健指導宣伝	データの分析事業
保健指導宣伝	広報リーフレット発行
疾病予防	家庭常備薬の斡旋補助
疾病予防	子供インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	高齢者インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	健康づくり行事補助
体育奨励	運動機器リース
その他	契約保養所
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ウェブの個人ログイン化
疾病予防	特定保健指導基準該当者以外の保健指導
疾病予防	家族健康セミナー
疾病予防	定期健診（法定外健診）
疾病予防	各種がん検診
疾病予防	節目教育(35歳)
疾病予防	地域巡回健診
疾病予防	人間ドック・脳ドック
疾病予防	特別保健指導
体育奨励	アイチ健歩事業
予算措置なし	その他保健指導
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	メンタル予防活動
3	健康診断結果に基づく健康づくり活動・健康づくりを意識できる環境の整備
4	禁煙支援
5	BMIセミナー

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	機関誌の発行	【目的】 健保情報・健康情報の周知 【概要】 四半期毎に機関誌を作成・発行し被保険者自宅へ発送	被保険者	全て	男女	16～74	全員	4,439	機関誌発行 4回/年（春：4183部、夏：4170部、秋：4170部、冬：4160部）	自宅送付により、加入者全員が手にできる環境作り	記事内容の感想・反響等の調査不足	4
	8	医療費通知発行	【目的】 給付金決定及び医療費を通知する 【概要】 毎月、給付金支給決定通知を兼ねた医療費通知を発行・送付する	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	832	発行実績 2541件/月 28年11月より、個人ウェブページへ Up 導入。圧着はがきでの通知と併用し、個人ページでも確認できるように改定。	圧着はがき：お知らせ欄活用により、健保からの簡単な告知や法改正等の案内実施。	医療機関からの請求内容のチェックをしている人が少ない	4
	2,8	ホームページ管理費	【目的】 各種届出・手続き方法の案内、様々な保健事業案内の発信等 【概要】 現存する自健保HPに対し、新規ページの追加作成や内容修正の維持管理	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	347	閲覧数（訪問件数） 3002件/月	タイムリーな情報発信	パソコン未配備職場の被保険者のためのスマートフォン対応	1
	7,8	前期高齢者家庭訪問指導	【目的】 前期高齢者への健康相談・健康指導 【概要】 前期高齢者の自宅訪問し生活状況の確認と健康生活に向けたアドバイス実施	被保険者被扶養者	全て	男女	65～74	全員	723	被扶養者39名中 26名の訪問指導実施（平均2回/人・年）	委託業者が訪問指導実施後に個人別カルテを作成し現状の問題点を抽出・報告し、対応方法を一緒に検討	訪問拒否者への対応	3
	1,2,3,4,6,8	データの分析事業	【目的】 個人データを活用した保健事業の企画とその評価 【概要】 個人情報(適用・レセプト・健診)を活用した分析により、新規事業を企画したり、既存事業の効果検証を実施。	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,596	ジェネリック薬品利用促進通知 779件/年がん検診有所見者の受診勧奨 名	事実(データ)に基づいた効果検証が可能	ウェブによるデータ検索サービスの操作スキルアップ	4
	1,3,4	広報リーフレット発行	【目的】 法改正・制度改正の周知 【概要】 パンフレット・リーフレット・冊子等の発行・配付	被保険者被扶養者	全て	-	0～74	全員	69	新規加入者に配付	対象者に的を絞り、タイムリーな配付を実施	-	3
疾病予防	8	家庭常備薬の斡旋補助	【目的】 家庭常備薬の斡旋・補助による医療費抑制 【概要】 年2回（夏・冬）、安価な家庭常備薬を斡旋・補助	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	3,637	利用実績 夏：1616名、冬：1765名	長期継続事業による定着化	医療費抑制に繋がる商品選定	4
	-	子供インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザ予防接種による罹患率抑制 【概要】 小学生までの子供へのインフルエンザ予防接種補助	被扶養者	全て	男女	0～12	全員	1,487	接種実績 706名	対象となる子供をもつ全被保険者に個別案内書を送付	効果検証：接種群と未接種群の罹患率比較	4
	-	高齢者インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザ予防接種による罹患率抑制 【概要】 高齢者へのインフルエンザ予防接種補助	被保険者被扶養者	全て	男女	65～74	基準該当者	18	接種実績 25名	全対象者へ個別案内書を送付	効果検証：接種群と未接種群の罹患率比較	3
体育奨励	8	健康づくり行事補助	【目的】 職場や各個人に対する健康づくり活動の促進 【概要】 健康づくり活動への参加・実施に要する費用の一部補助	被保険者	全て	男女	18～74	全員	589	職場申請：338名、個人申請：107名	-	個人申請は28年度にて終了。 補助基準の明確化（申請案件にレジャーと区別がつかないものあり）	1
	8	運動機器リース	【目的】 母体企業体育館内のトレーニングルームにトレッドミル設置 【概要】 母体企業体育館内のトレーニングルームに設置してあるトレッドミルをリース契約	被保険者被扶養者	一部の事業所	男女	16～74	全員	52	利用者延べ人数 約7915名/年	トレーニング室の無料開放	利用率の向上（稼働率が高いが利用者に偏りあり）	1
その他	8	契約保養所	【目的】 加入者の保養・慰安を目的に会員制リゾート施設と契約 【概要】 会員制リゾート施設2件と年間契約	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	2,663	利用者延べ人数 919名/年	ホームページ・機関誌等による利用案内の促進	-	4
個別の事業													

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り				注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
特定健康診断事業	3	特定健診（被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が実施する定期健康診断で実施	被保険者	全て	男女	40～74	全員	176	受診者25名		事業所が実施する定期健康診断にて	海外出張等で未受診、任意継続被保険者の受診率向上	4
	1,3,4	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握および利便性の高い巡回型の健診を導入し。受診機会を増加。	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	3,245	実施者586名		全豊田地域巡回健診、人間ドック案内	対象者の理解不足。啓発活動の強化必要。	2
特定保健指導事業	1,4	特定保健指導	【目的】生活習慣改善指導 【概要】特定保健指導開始の20年度から28年度までは肥満で基準を絞らず、1度指導を実施した者は外していく「アイチ基準」で実施。28年度は条件据え置き、募集枠を改定。3期を迎えるにあたり、基準の見直しを実施。29年度より「特定保健指導基準」へ変更。健診データから対象者を選定し、指導希望者募集し実施。	被保険者	全て	男女	40～74	基準該当者	3,570	27年度：5.9% 28年度：積極的支援 53名 動機付け支援20名 情報提供101名 計174名 13.8% 29年度：3月末現在 38%		被保険者：各事業所の協力を得て、勤務時間内に実施、半強制で実施できるようにする。 被扶養者：パンフレット等健診の受診率アップとともにすすめる。	無関心層への対応	3
保健指導宣伝	2,8	ウェブの個人ログイン化	【目的】健保の個人情報（健診データ・医療費通知データ・保健事業参加状況等）の開示 【概要】ホームページから個人でログインし、従来紙面で通知していた医療費情報、健康情報、個人の健診データをウェブ上で閲覧できる	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	991	28年11月開発完了。 PepUpリリース開始。		健保開催セミナー、保健指導参加者へ登録推進活動を実施。 事業所へ働きかけて加入促進。	開発業者の選定に時間を要した	1
疾病予防	1,2,4,5,6	特定保健指導基準該当者以外の保健指導	【目的】生活習慣病発症予防のための生活習慣改善指導 【概要】健診データから対象者を選定。指導希望者を募集し実施。	被保険者	全て	男女	35～74	全員	690	指導実施者：29名		若年層、非肥満者に対象を広げて実施	無関心層への対応	3
	5	家族健康セミナー	【目的】血糖値有所見従業員、扶養家族の重症化予防 【概要】女性対象の体験型セミナー。H25年～H28年までHbA1c有所見男性従業員の配偶者対象で実施。29年度より募集枠改定。HbA1c有所見の男性従業員の配偶者に加え、HbA1c有所見の女性従業員、HbA1c有所見の扶養家族（女性）にご案内。	被扶養者	一部の事業所	女性	16～74	基準該当者	13	25年～29年までで35名参加。		専門業者への委託。	低参加率。	1
	3	定期健診（法定外健診）	【目的】事業所で行う定期健診時に法定外検診も同時受診 【概要】事業所で行う定期健診に法定外検診も同時受診し費用を負担	被保険者	全て	男女	18～74	全員	4,661	心電図：306名、血液検査：680名、眼底検査：2113名、C型肝炎：77名		事業所で実施する定期健診のため対象者はほぼ全員受診	任意継続者の受診率向上	4
	3	各種がん検診	【目的】がんの早期発見・早期治療 【概要】胃・大腸・前立腺・乳・子宮・肺それぞれのがん検診を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	全員	9,062	胃：874名、大腸：828名、前立腺：248名、乳：608名、子宮：607名、肺：272名		従来の定期健診に加え、26年度より検体を郵送で提出する検診を追加	有所見への恐怖感の払拭。 早期発見による重症化予防防止啓発	4
	1,2,4,5	節目教育(35歳)	【目的】被保険者の35歳到達者に健康教育 【概要】「あいち健康の森」に委託して生活習慣に関する健康教育を実施	被保険者	一部の事業所	男女	35～35	全員	1,259	勤務扱いの1日教育実施 26年より25歳セミナー追加実施。 25歳：85名 35歳：57名参加		委託先の教育指導レベルが高く、設備も充実	もう少し早い(若い)段階での教育実施 新入社員教育への組み込み等検討	5
	3	地域巡回健診	【目的】被扶養者を対象にした健康診断 【概要】愛知県及び愛知県周辺の各県の主要地域を巡回する全豊田巡回健診へ参加	被扶養者	全て	男女	30～74	全員	16,869	受診者 839名		自宅に近い会場が選択できる。	更なる受診率向上	4
	3	人間ドック・脳ドック	【目的】被扶養者と一部の被保険者を対象にした健康診断 【概要】ドックで健康診断を希望する加入者に費用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	30～74	全員	3,591	受診者 人間ドック：101名、脳ドック：29名		健診機関 12箇所と契約、自宅から遠い場合は契約外の健診機関でも費用補助	-	4
	4,5	特別保健指導	【目的】生活習慣病の発症・重症化予防 【概要】生活習慣病発症の高リスク者及び軽度生活習慣病発症者に対し、「あいち健康の森」に委託して健康教育実施	被保険者	母体企業	男女	40～64	基準該当者	1,165	個人休扱いでの1日型教育、(3ヶ月後)半日型フォロー教育実施 41名参加 26年度より、関連事業所にも対象拡大。ご案内開始。		委託先の教育指導レベルが高く、設備も充実	対象事業所の拡大	4

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	-	アイチ健歩事業	【目的】運動習慣の定着化 【概要】オムロンのウェルネスリンク歩数計を活用したウォーキングイベントの展開	被保険者	全て	男女	18～74	全員	2,008	12-2月の参加者：368名 目標達成者：201名	日々の歩数申告を個人のパソコンやスマホを利用して実施できる。	事業開始から5年目を迎え、委託業者値上げにより一時時中断。業者を変更し、活動再開。	2
予算措置なし	1,4,6	その他保健指導	【目的】生活習慣病発症予防のための生活習慣改善指導 【概要】①産業医が健診データから対象者を選定する強制指定者（産業医、健保健師）生活習慣改善希望者への面談（健保健師）	被保険者	母体企業	男女	18～74	全員	-	①春、秋健診後 随時 ②希望者がいれば随時	①データ重篤者へ強制指定にて実施。悪化防止になっている。 ②希望者なので、やる気がある。	①対象者のやらされ感、義務感。 ②就業時間内での面談が難しい。母体企業の社員のみ実施している。	-

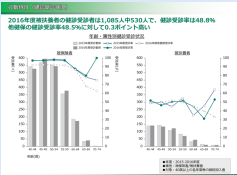
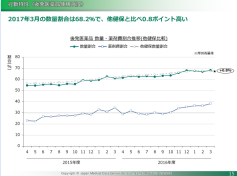
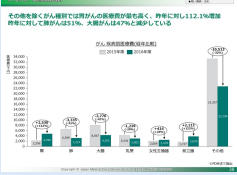
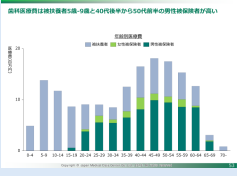
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

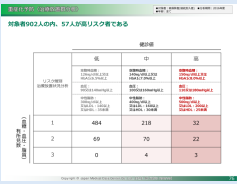
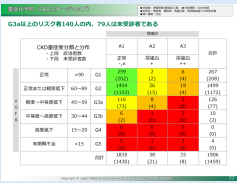
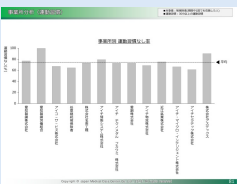
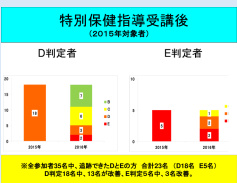
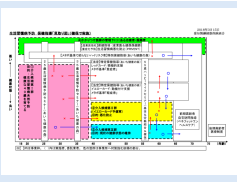
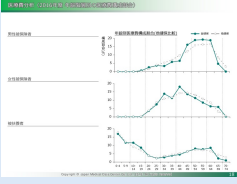
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18～74	実施率：ほぼ100% 母体：再検は、産業医の選定基準による。母体診療所への呼びだしの案内通知を発送。指定された期間内に該当項目の再検を受ける。呼び出しがなかった者は自費で他の医院へ再検に行く事になる。また、診療所で呼ばれていないからと、有所見でも放置してしまう場合がある。 関連事業所：健診後、有所見者には各事業所の健診担当者が受診勧奨実施。 ※がん検診結果に関しても精密検査受診の促しをしている事業所あり。	全事業所：原則勤務時間内に受診可能。 母体：すぐに受診できる環境が整っている。 関連事業所：安全、人事、総務部門で実施しているため、健診受診から受診勧奨までの流れが作りやすい。	母体：若年者、軽度データ異常者への対策推進。夜勤明けでの受診が多発しており、対策が必要。 関連事業所：専門職がいない事が阻害要因だが、衛生管理者、職制を活用し、健診受診から要精密検査受診までルールを整備し、仕組みを構築する。	有
メンタル予防活動	ストレスチェックと職場診断によるメンタル疾患休業者の低減	被保険者	男女	18～74	・高負荷職場・若手社員からのヒアリングによる過重労働真因解析 ・定期健診時のストレスチェック（受診者全員実施） ・顧問医によるメンタル出張相談 ストレスチェック活用による保健師、看護師による相談	ヒアリングにより困りごとが見えてきた	コミュニケーション不足や要員不足職場への対応	無
健康診断結果に基づく健康づくり活動・健康づくりを意識できる環境の整備	母体：BMI25以上の肥満率低減に向けて運動習慣定着化と食生活改善を推進。	被保険者	男女	18～74	運動習慣定着化：健保のアイチ健歩事業を事業主側から側面支援 母体：社員食堂でのヘルシーメニューH26年月1回「19日」導入。翌年月3回化へ拡大。「9日」「19日」「29日」各日テーマ設定し実施中。社内自動販売機、売店でのヘルシー商品提供（健保保健師と共同実施、コラボ事業。）	母体：社内イントラを活用した周知（ヘルシーメニュー認知度 83%）	アイチ健歩事業の目標達成後の意欲低下（幽霊部員）への対応。新規登録者開拓。 母体：ヘルシーメニューのマンネリ化。他部署、食堂業者とコラボイベント実施しながらマンネリ化防止。 社内売店の工事に伴い、一時中断となっていた売店ヘルシーコーナー、自動販売機商品再検討。（関連事業所にもヨコテンできるように。）	有
禁煙支援	母体：禁煙支援活動の推進	被保険者	男女	20～74	母体：個人別禁煙支援相談会の実施：24回～H30年5月末日にて敷地内禁煙実施 関連事業所：禁煙支援（禁煙外来補助金支給している事業所あり）	母体：喫煙所削減・構内でのタバコ販売中止、喫煙所の撤去推進中。 関連事業所：講演会実施	母体：就業時間内禁煙に向けた理解活動 関連事業所：各事業所ごとの喫煙状況特徴未把握	有
BMIセミナー	母体：H26年より実施。 トヨタG17社中、肥満者率ワースト2位。肥満者率低減に向けた活動。	被保険者	男女	18～65	春、秋の健康診断結果より、前回と比較して新たにBMI25を超えた者にご案内。2時間半の集合教育。4回／年実施。手上げ制。	あまの創健へ委託。講師の講演が好評。 集合教育なので孤独にならず、楽しく参加し理解できたとの感想多数あり。	BMI低減に至らず。 実施群、未実施群で比較したところ、若干の悪化あり。 健保実施事業との棲み分け、改善が必要。	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		【行動特性】健診受診状況	特定健診分析	2016年度被扶養者の健診受診者は1085人中530人で、健診受診率は48.8% 他健保の健診受診率48.5%に対して0.3ポイント高い。
イ		【行動特性】後発医薬品使用状況	後発医薬品分析	2017年3月の数量割合は68.2%で他健保と比べ0.8%ポイント高い。 厚生労働省割合2020年9月までに80%以上。
ウ		【がん分析】医療費比較	医療費・患者数分析	その他を除くがん種別では胃がんの医療費が最も高く、昨年に対し112.1% 増加、昨年に対して肺がんは51%、大腸がんは47%と減少している。
エ		【歯科分析】総医療費	医療費・患者数分析	歯科医療費は被扶養者5歳から9歳と、40代後半から50代前半の男性被保険者が高い
オ		【健診分析】BMI 空腹時血糖 HbA1c 血圧 中性脂肪 HDL LDL メタボ判定 特定保健指導該当 喫煙 運動習慣 生活習慣改善意欲	特定保健指導分析	・喫煙率 男性被保険者は他健保と比べ3.4ポイント高い。 ・生活習慣改善意欲 男性被保険者の生活習慣改善意思ありの場合は、他健保と比べ17.5ポイント高い。
カ		【リスク階層把握】健康課題マップ	健康リスク分析	生活習慣病のリスク階層把握により1次予防から3次予防の対象群を特定。 2次予防対象の「患者予備軍、治療放置群」は741名で全体の32.3%を占めている。

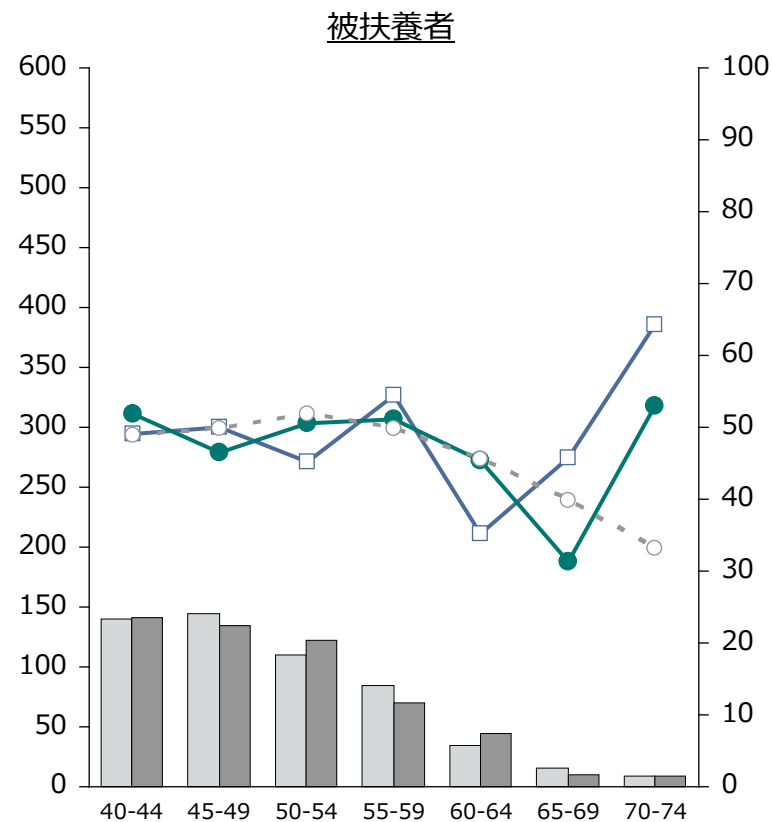
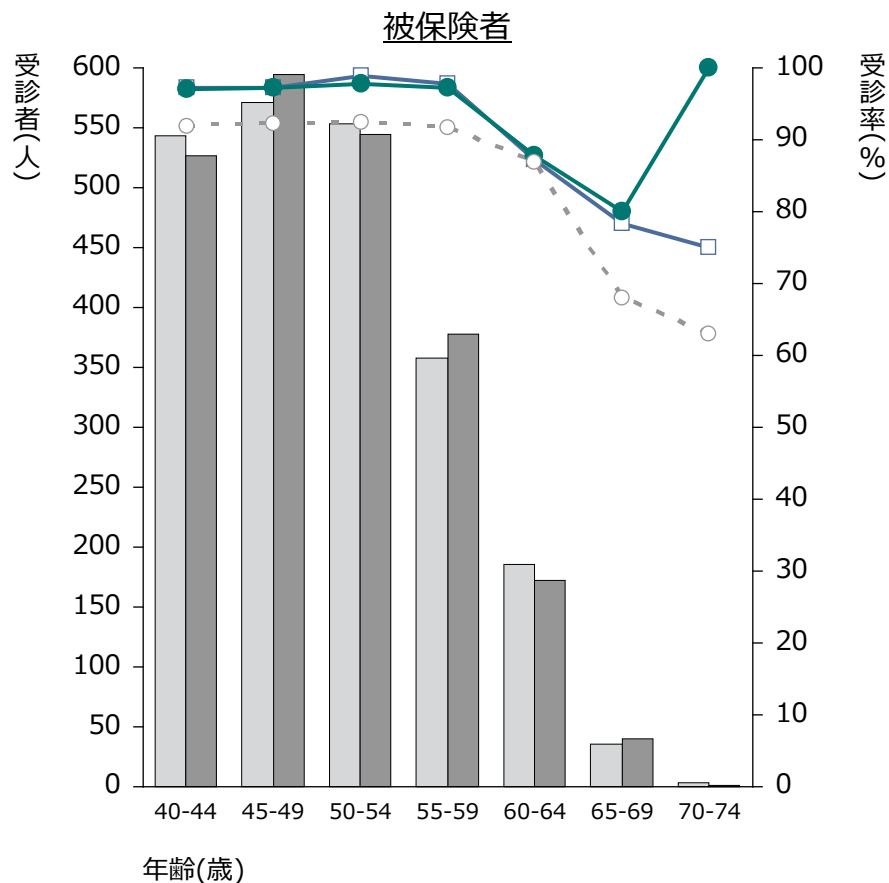
キ		【治療放置群分析】重症化予防	健康リスク分析	対象者902人のうち、57人が高リスク者である
ク		CKDステージマップ（重症化予防）	健康リスク分析	G3a以上のリスク者140人のうち79人は未受診者である。
ケ		治療中断分析（重症化予防）	健康リスク分析	治療中断者29人のうち、17人は健診値もアンコントロールである。
コ		運動習慣なし率（事業所別）	その他	-
サ		【重症化予防】特別保健指導	健康リスク分析	特別保健指導：2015年（H27年）受講後、翌年の2016年（H28年）対象者の健診データから愛知製鋼健康保険組合独自の基準で改善状況を追跡。
シ		【コラボヘルス】健康保険組合実施 健康づくり事業概要と事業所強化依頼（案）	その他	健康保険組合で実施している健康づくり事業と委託業者をまとめたもの。一覧にし、健保で手の届いていないところを見える化。事業所へ強化依頼。
ス		【医療費分析】種別、ひとりあたり、レンジ別	医療費・患者数分析	総医療費は前年比ー71百万円。 総患者数は前年比＋33人。高額は減ったが10万円代増えている。 年間医療費500万円以上の高額患者は26人。医療費は186百万円。

テ	 2018年度インフルエンザ受療率 (0歳～12歳) 市町村別比較 市: 21.8% 区: 18.5% 町: 15.2% 市町村平均: 18.5% ※市は最も高い。	【インフルエンザ】受療率	医療費・患者数分析	子供（0～12歳）高齢者（65～74歳）の受療率。
ト	 前期高齢者健診受診率 市町村別比較 市: 78.5% 区: 75.2% 町: 72.1% 市町村平均: 75.2% ※市は最も高い。	【前期高齢者】健診受診率	医療費・患者数分析	他健保と比較すると受診率高いが、まだまだ改善の余地あり。 けんぽだより、健保ホームページ、健診お知らせ通知時に工夫。健診受診の必要性周知。 ⇒疾病の予防、重症化予防、医療費の低減へつなげる。 目標：被保険者 95%以上、被扶養者 50%以上。

2016年度被扶養者の健診受診者は1,085人中530人で、健診受診率は48.8%
他健保の健診受診率48.5%に対して0.3ポイント高い

年齢・属性別健診受診状況

2015年度受診者数 2015年度受診率 2016年度他健保受診率
2016年度受診者数 2016年度受診率



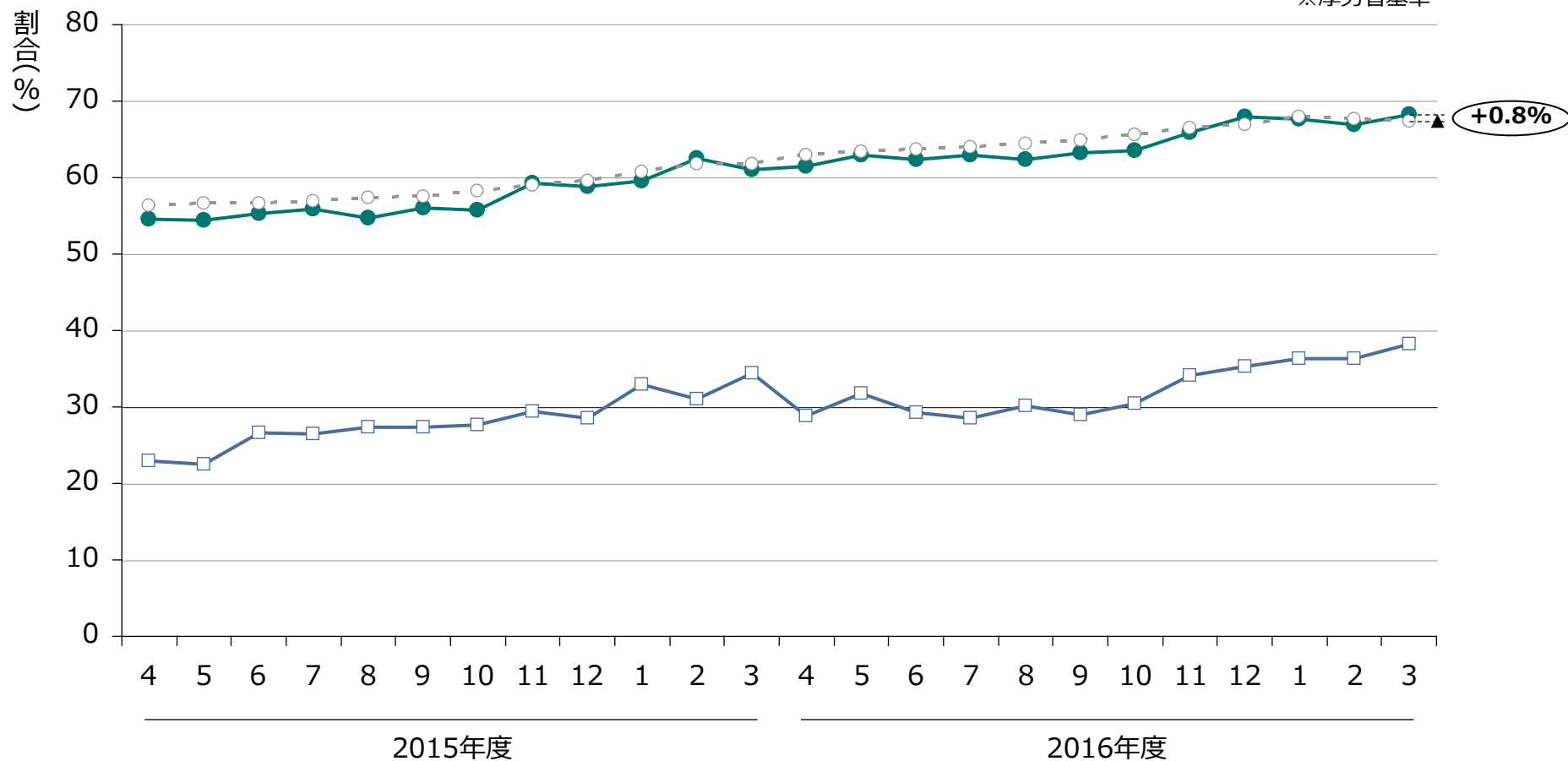
■ 年度：2015-2016年度
■ 属性：被保険者/被扶養者
■ 対象：40歳以上の各年度毎の継続加入者

2017年3月の数量割合は68.2%で、他健保と比べ0.8ポイント高い

後発医薬品 数量・薬剤費割合推移(他健保比較)

● 数量割合 □ 薬剤費割合 ○ 他健保数量割合

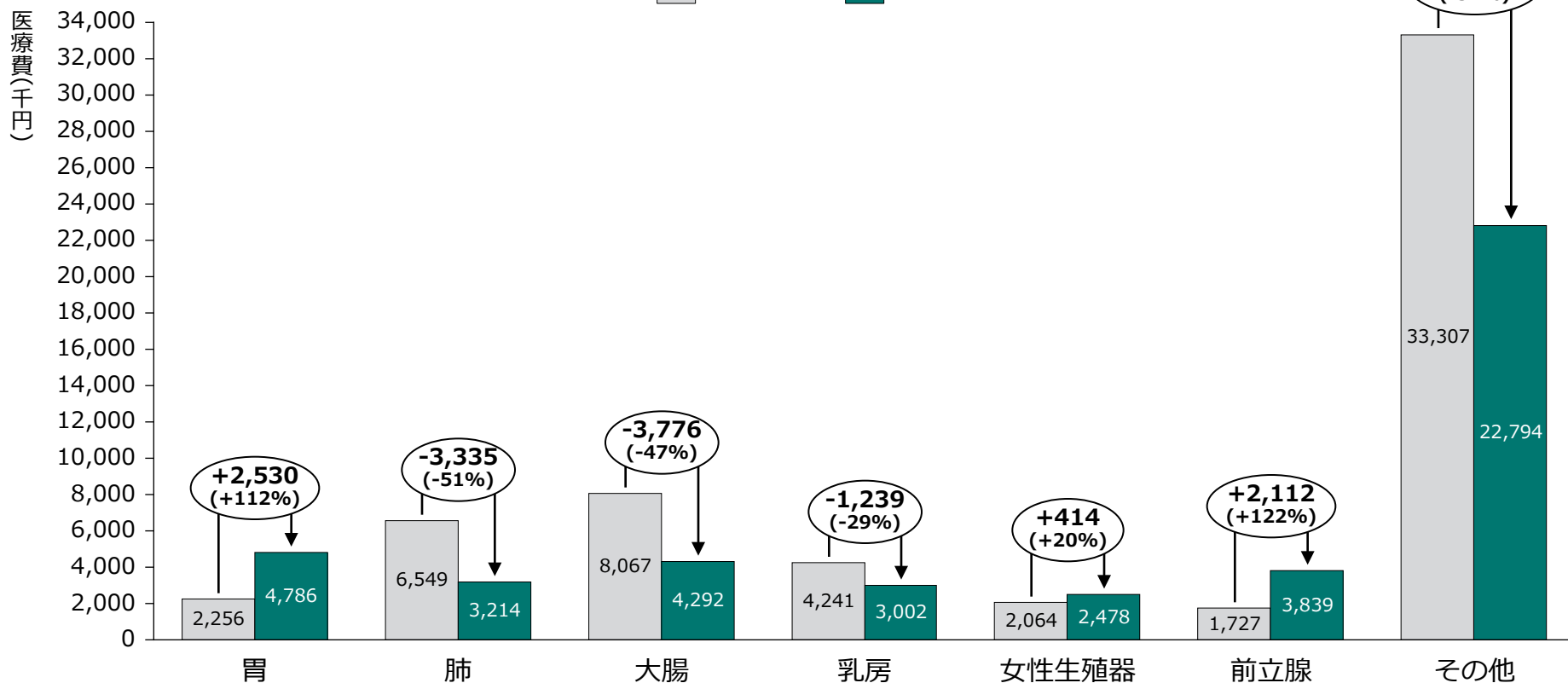
※厚労省基準



その他を除くがん種別では胃がんの医療費が最も高く、昨年に対し112.1%増加
昨年に対して肺がんは51%、大腸がんは47%と減少している

がん 疾病別医療費(経年比較)

■ 2015年度 ■ 2016年度

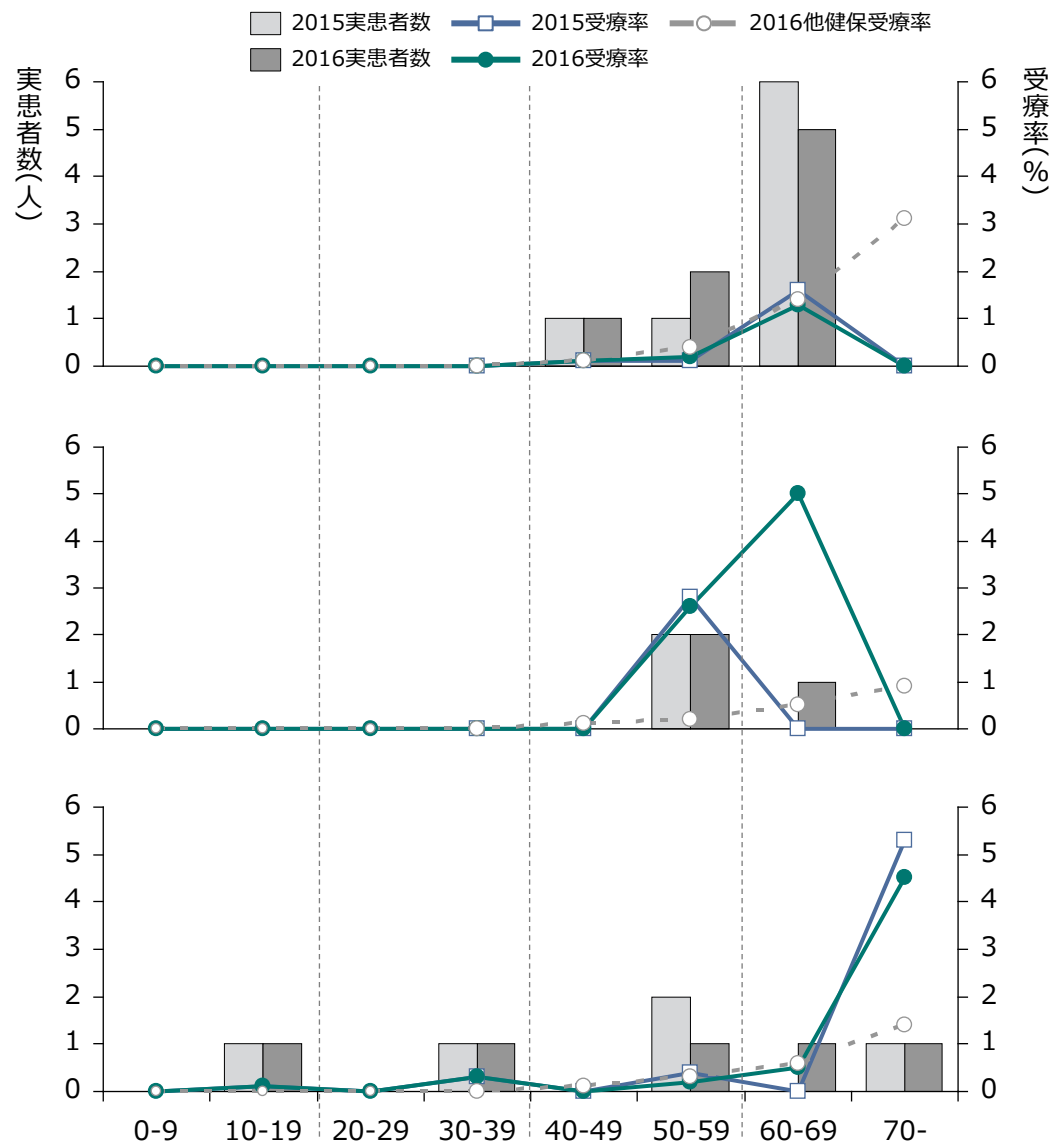


※PDM法で算出

男性被保険者

女性被保険者

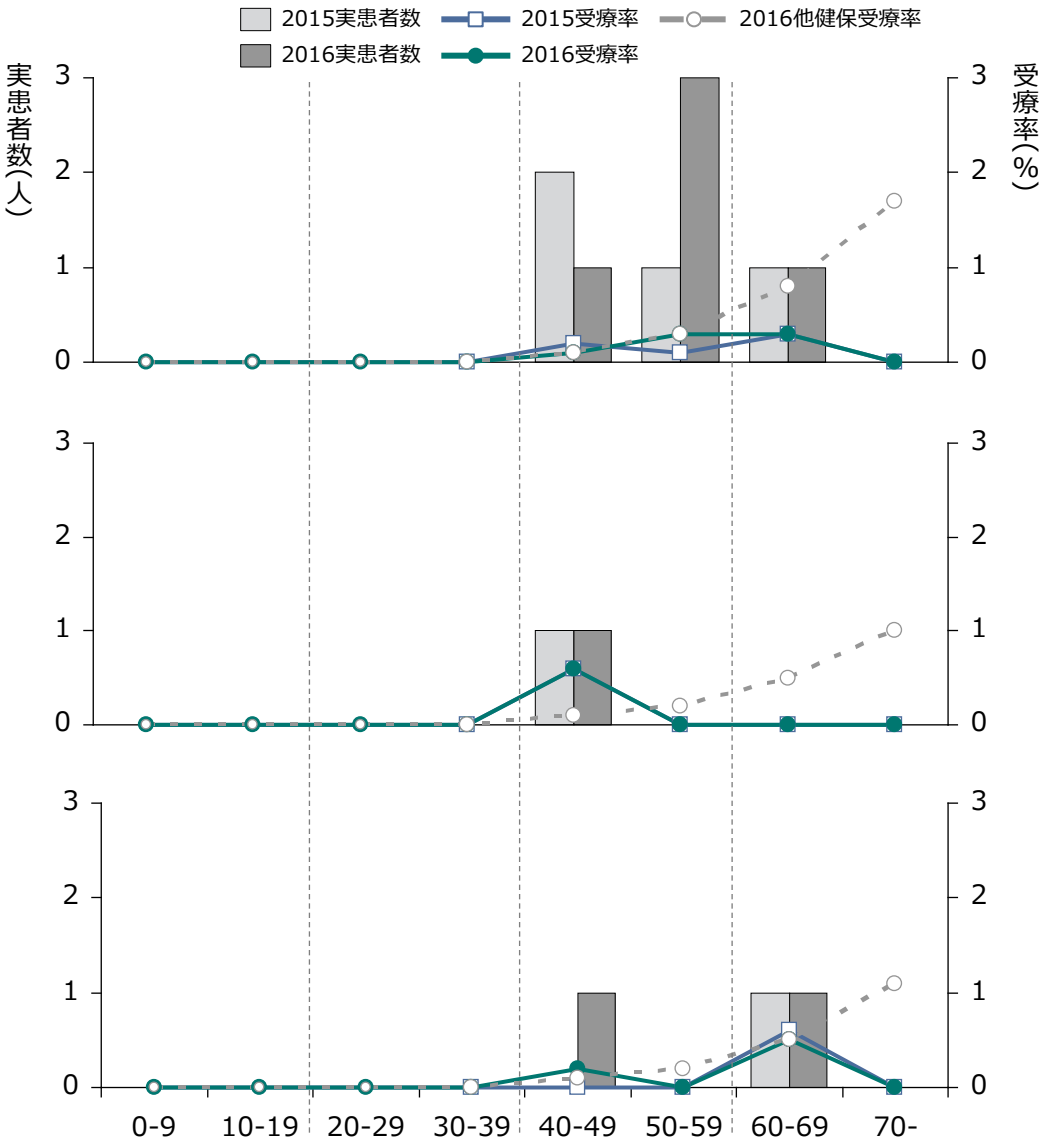
被扶養者



男性被保険者

女性被保険者

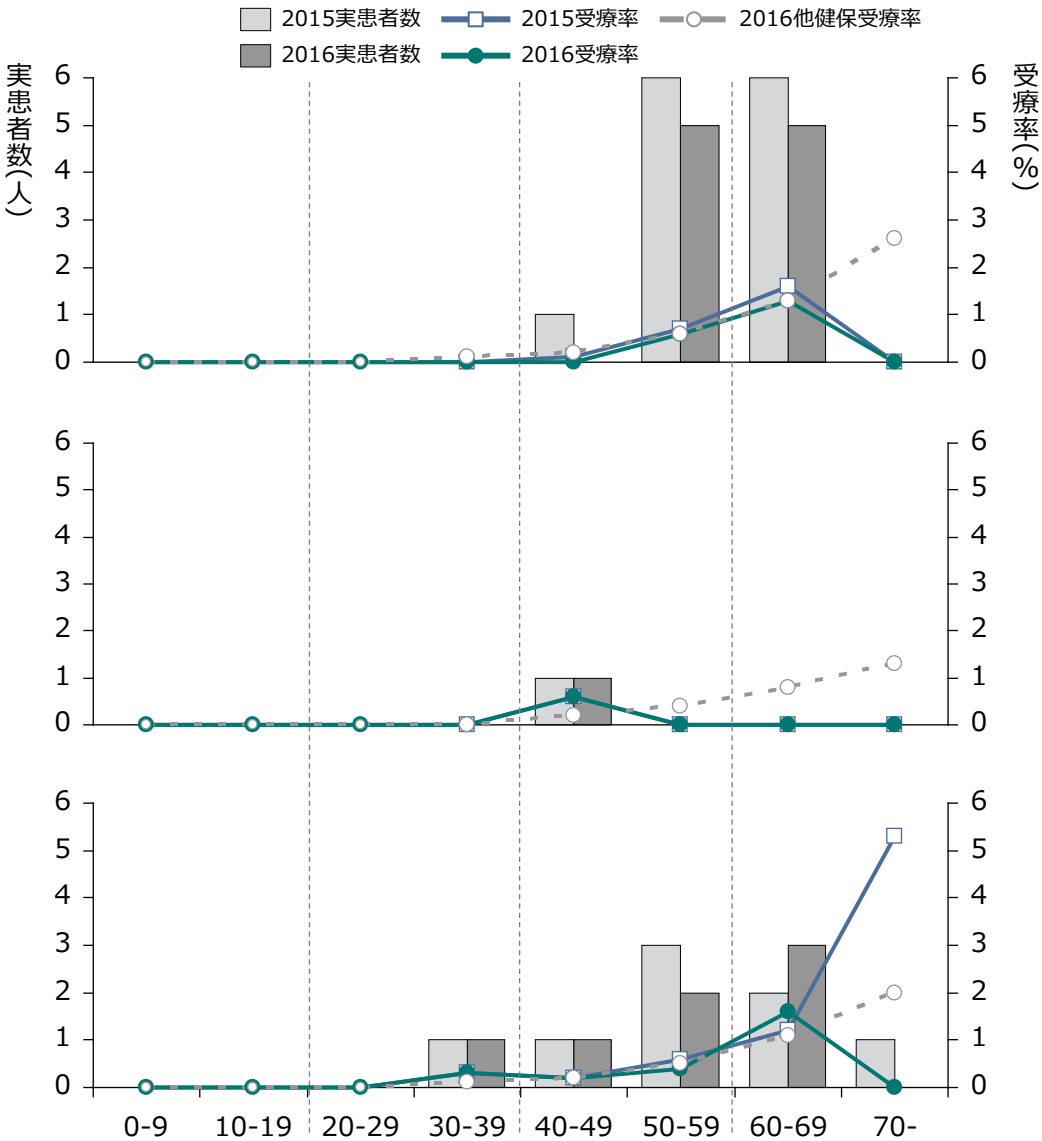
被扶養者



男性被保険者

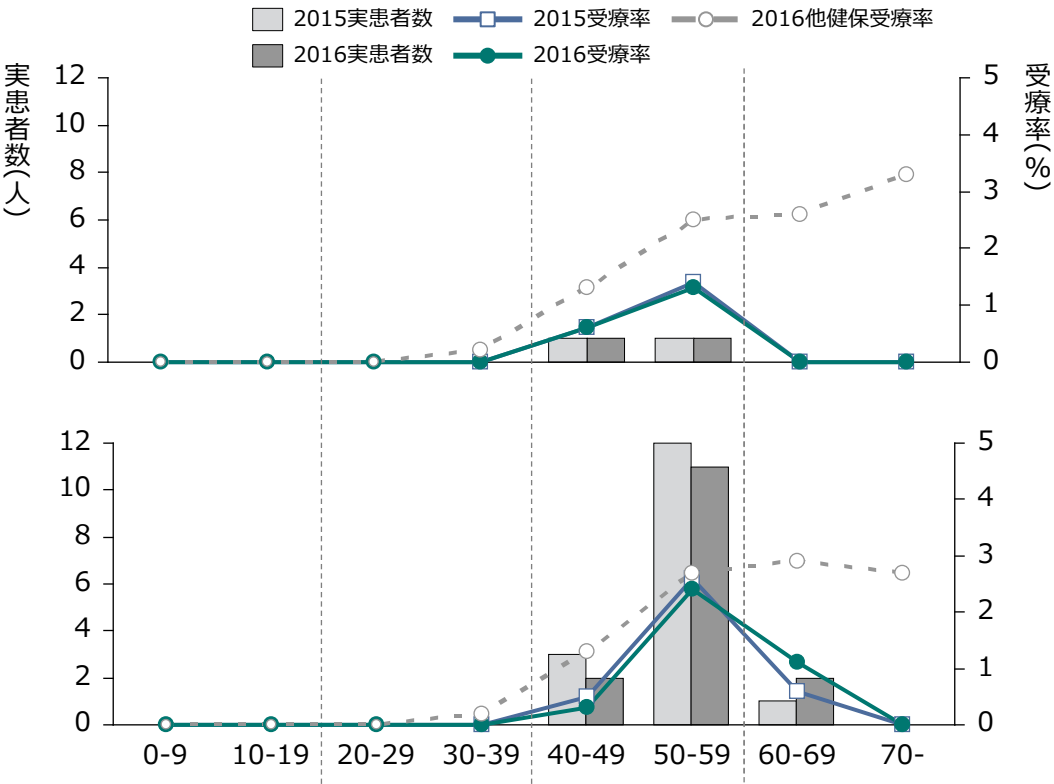
女性被保険者

被扶養者



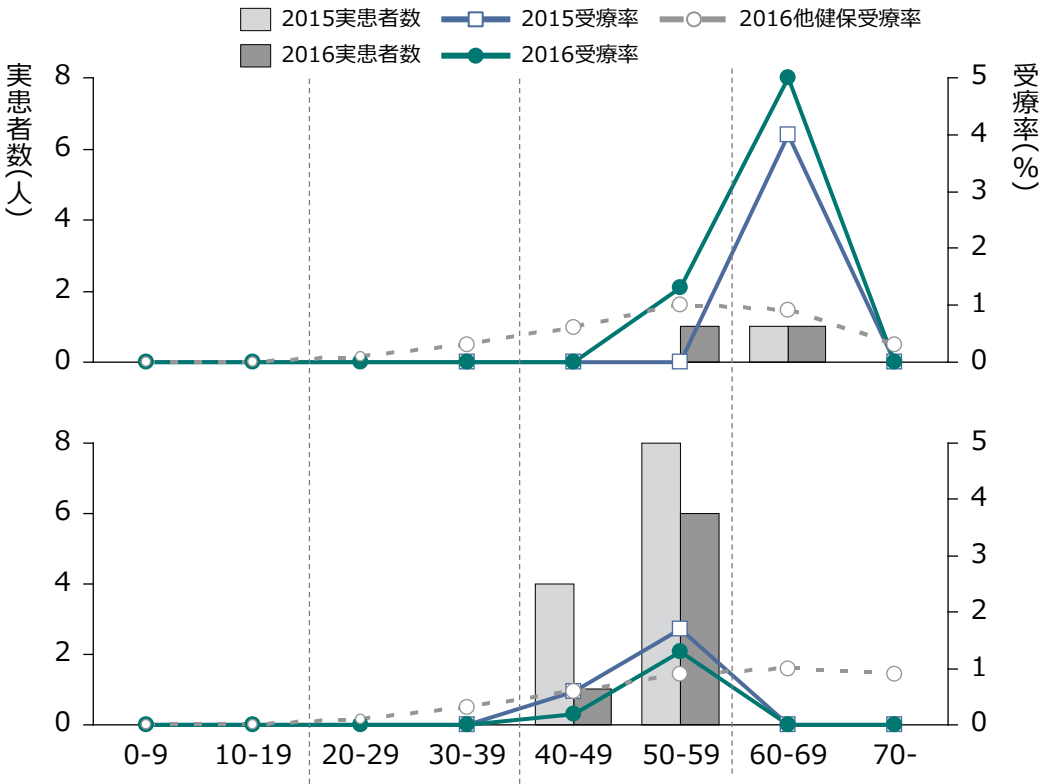
女性被保険者

女性被扶養者



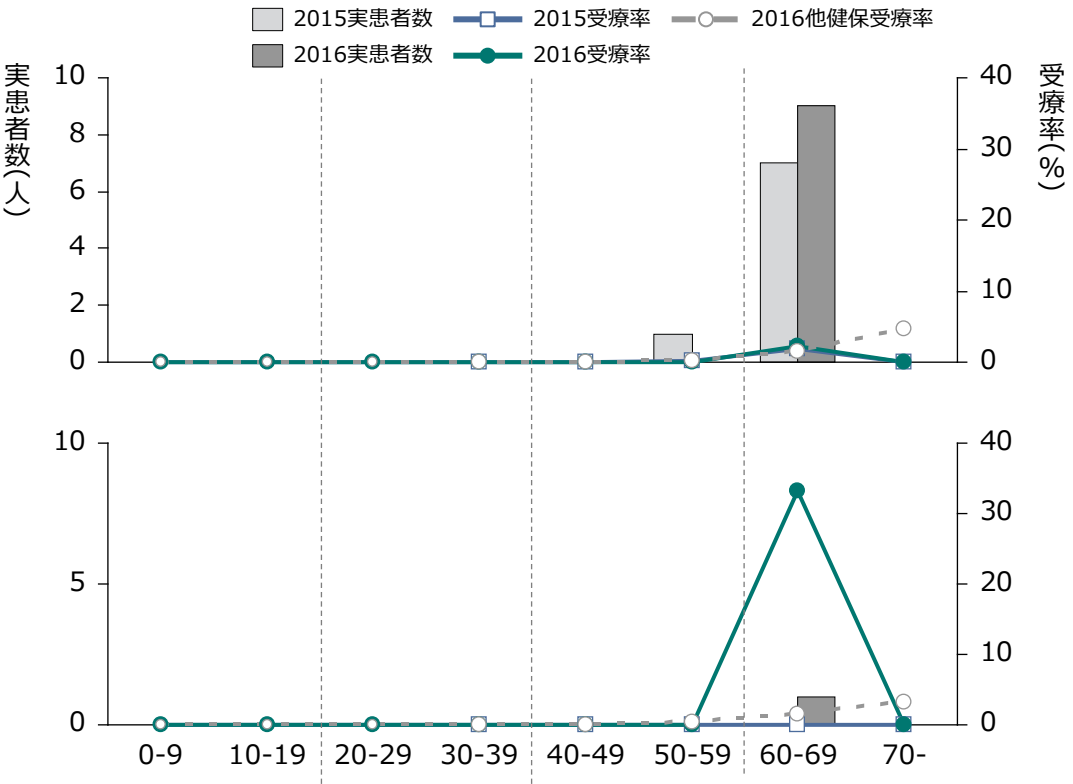
女性被保険者

女性被扶養者

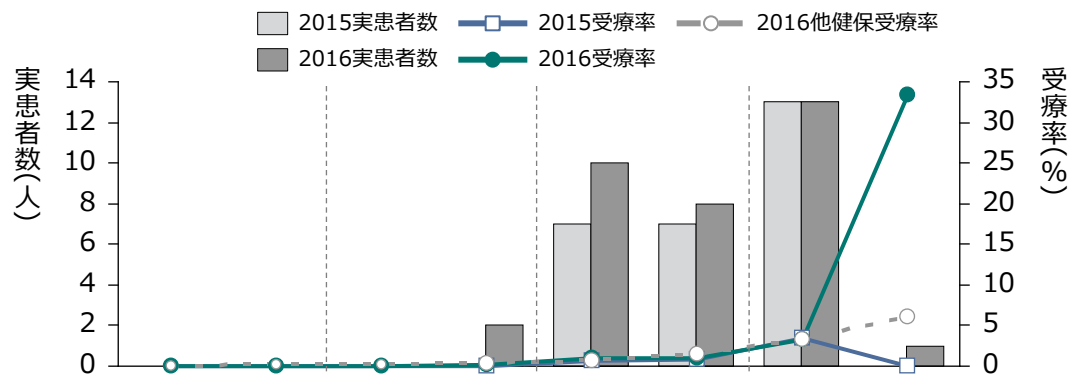


男性被保険者

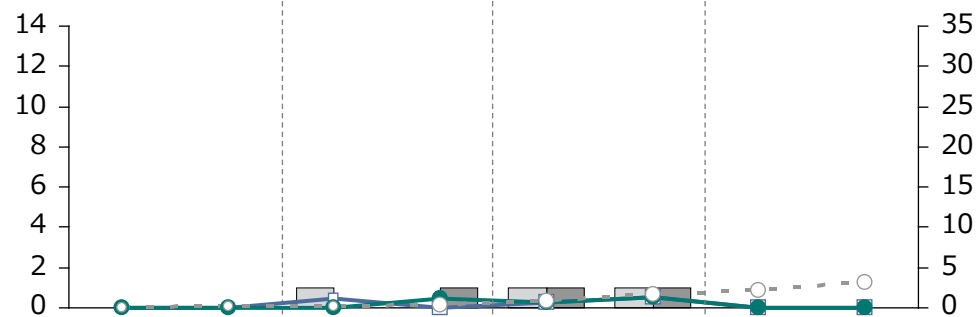
男性被扶養者



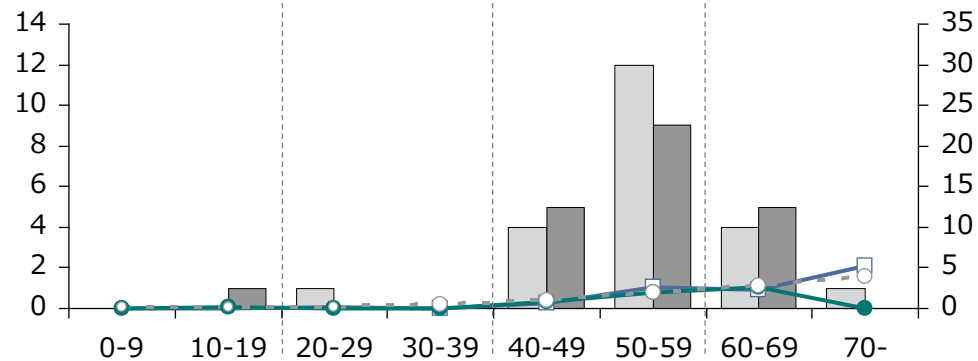
男性被保険者



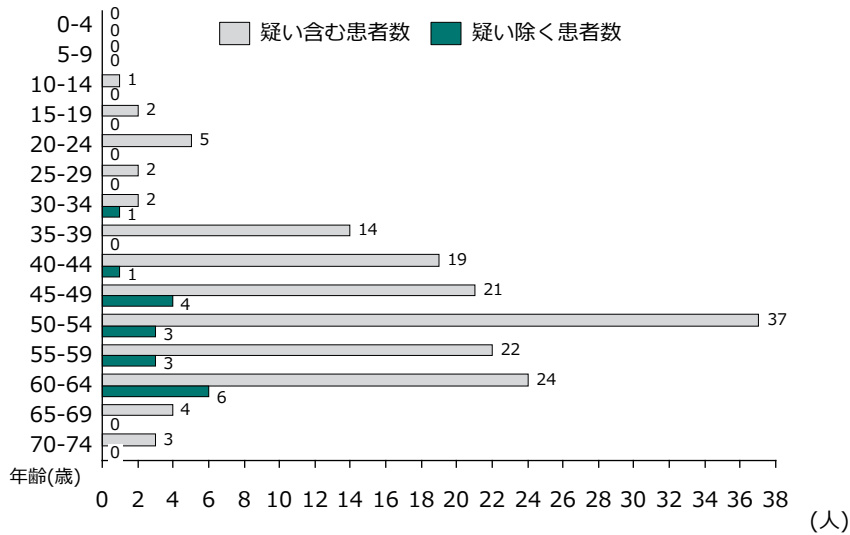
女性被保険者



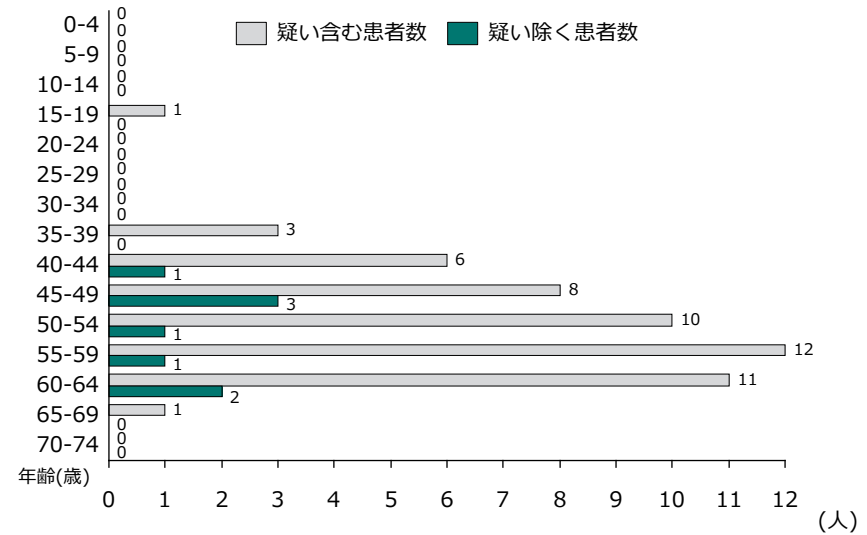
被扶養者



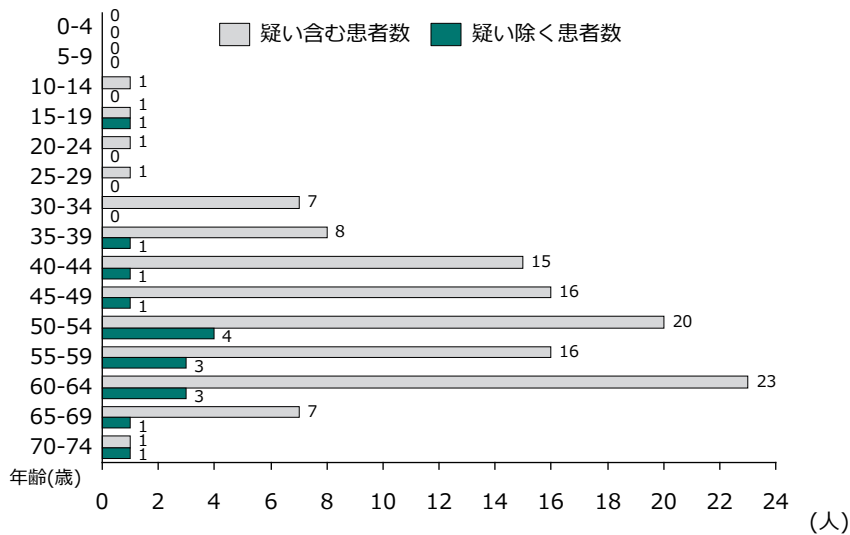
大腸の悪性腫瘍



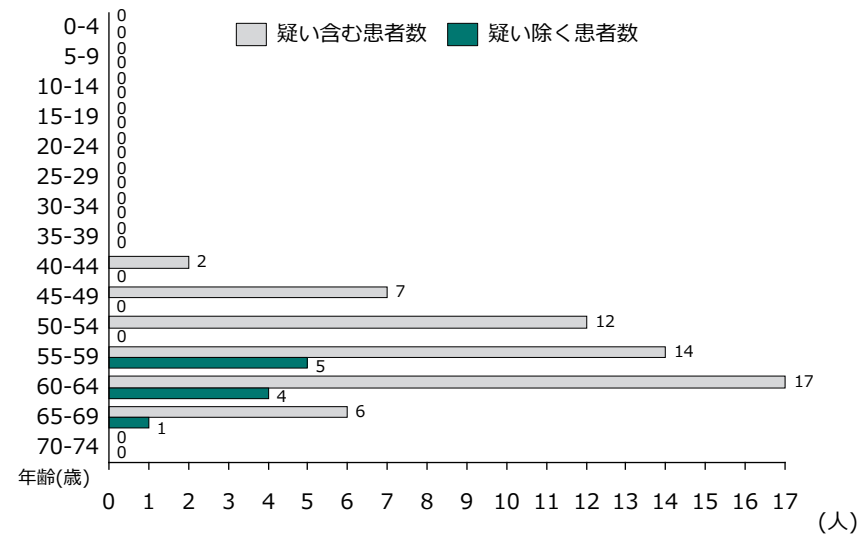
肺の悪性腫瘍



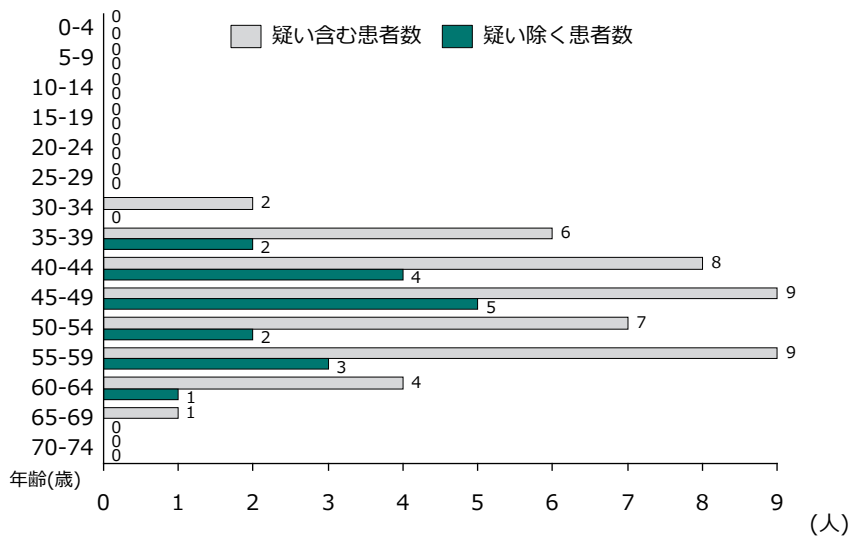
胃の悪性腫瘍



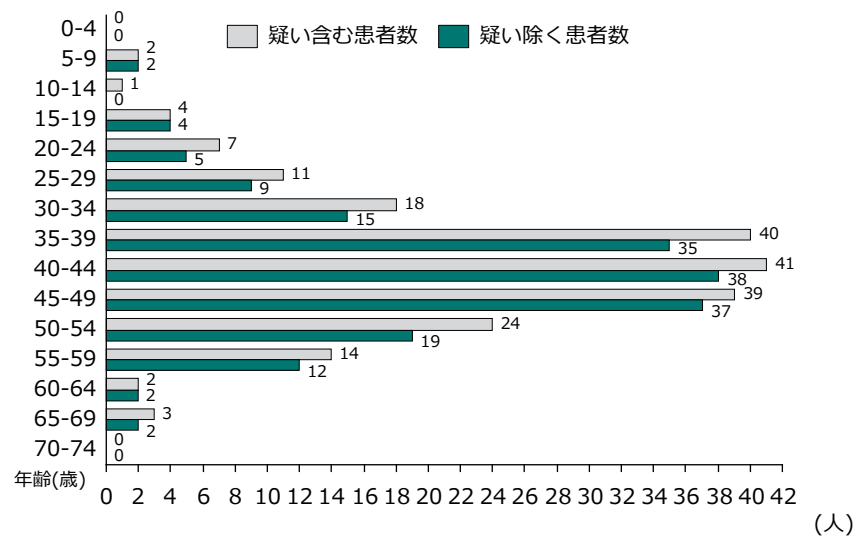
前立腺の悪性腫瘍



乳房の悪性腫瘍

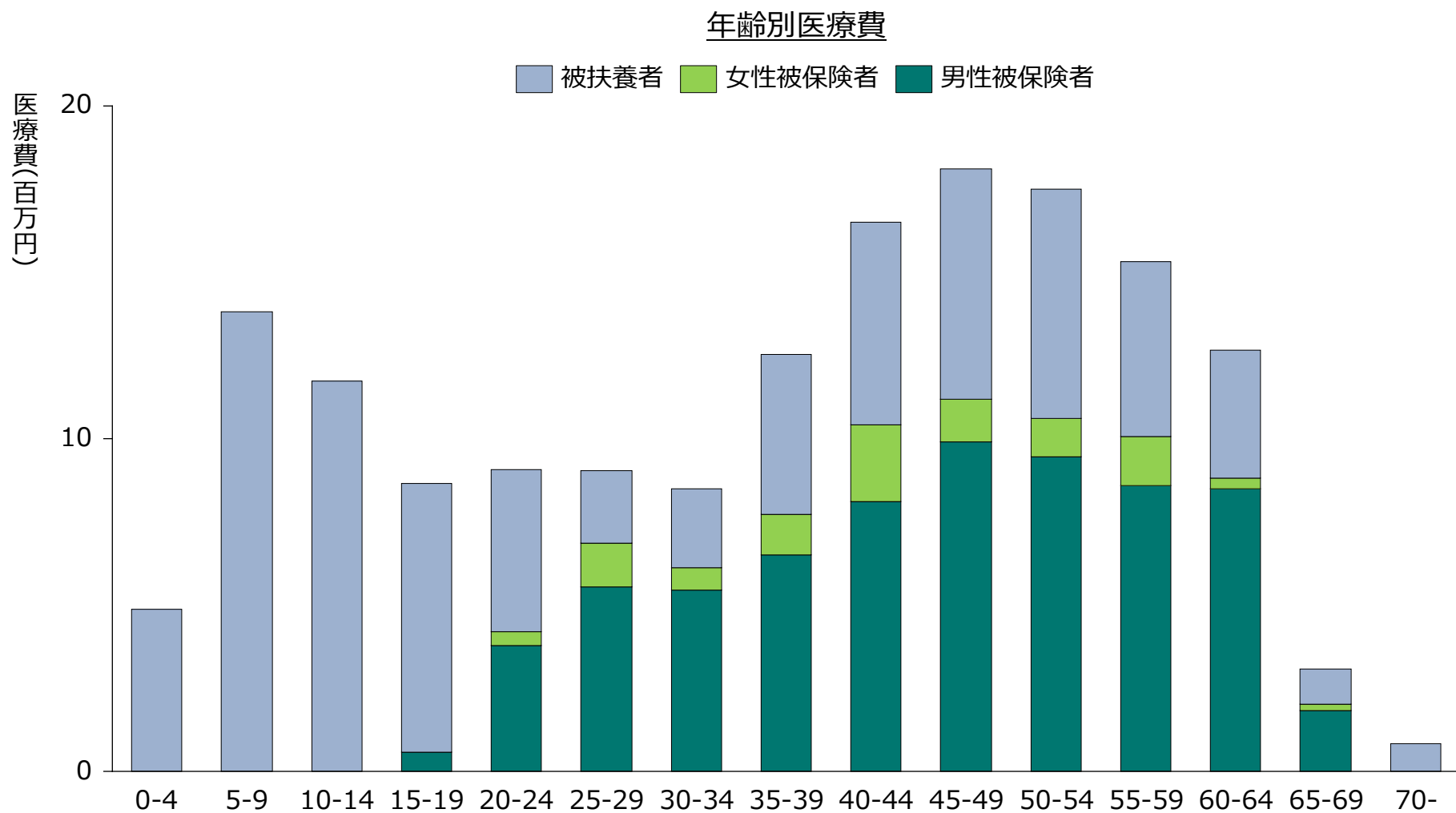


子宮等の悪性腫瘍



※子宮の悪性腫瘍の他、子宮平滑筋腫や卵巣の良性新生物などを含む

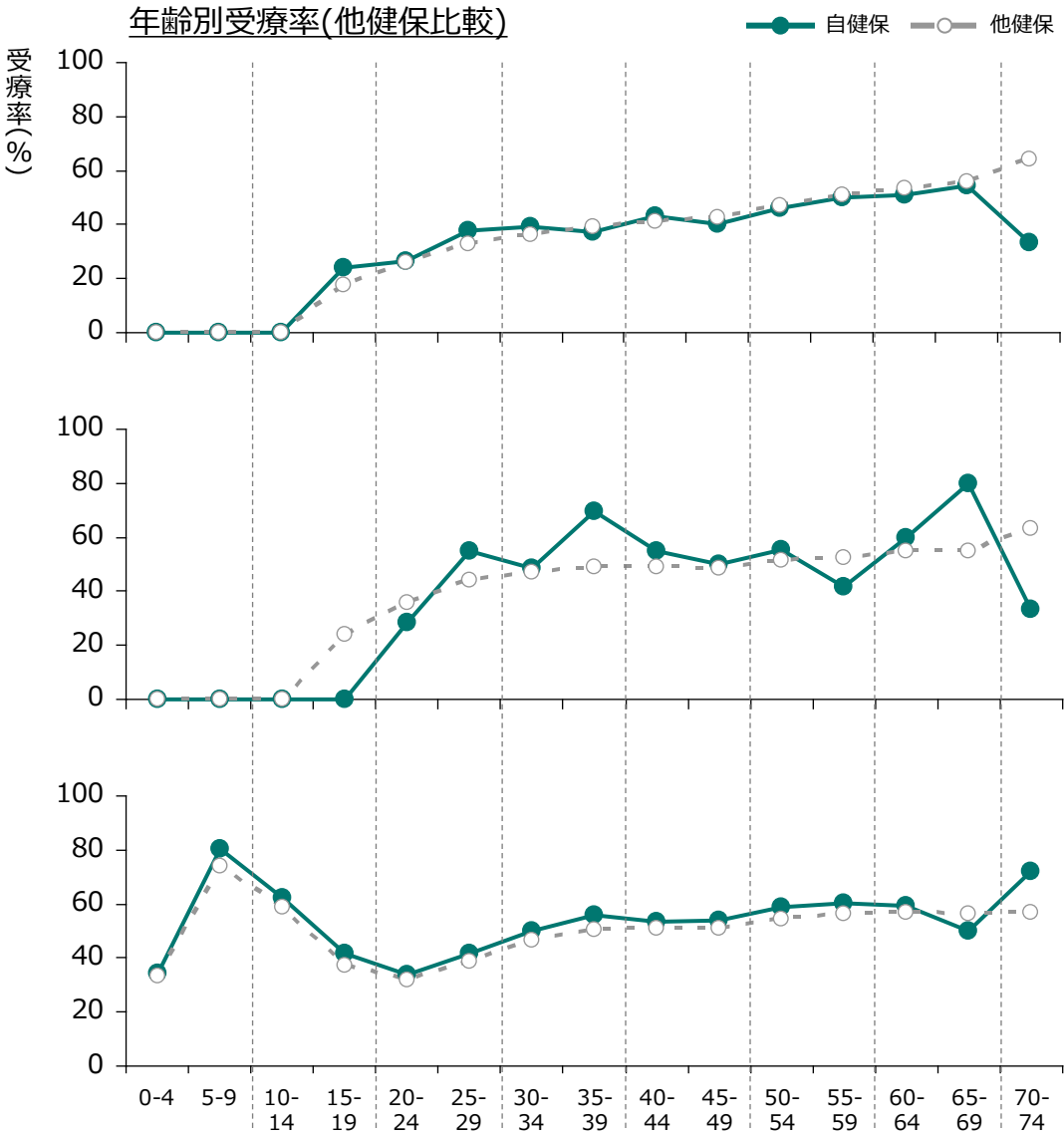
歯科医療費は被扶養者5歳-9歳と40代後半から50代前半の男性被保険者が高い



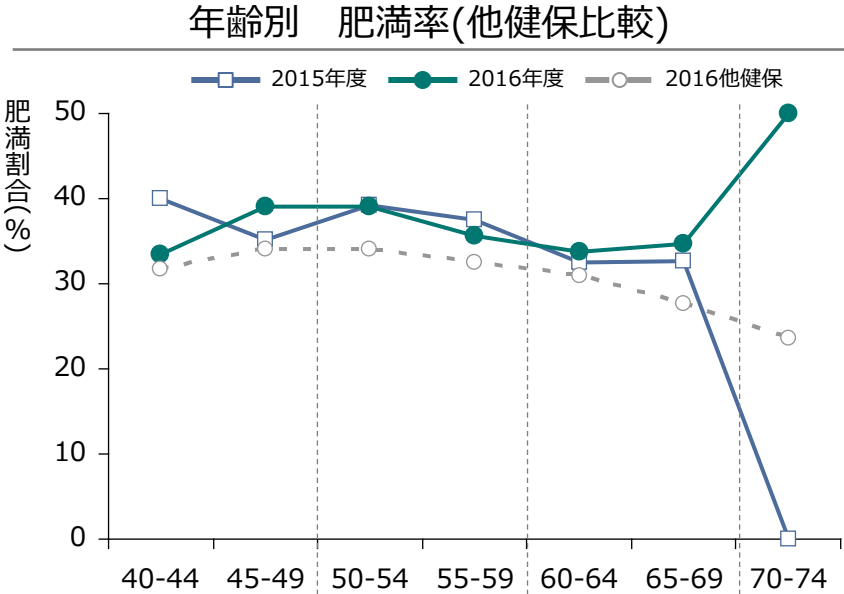
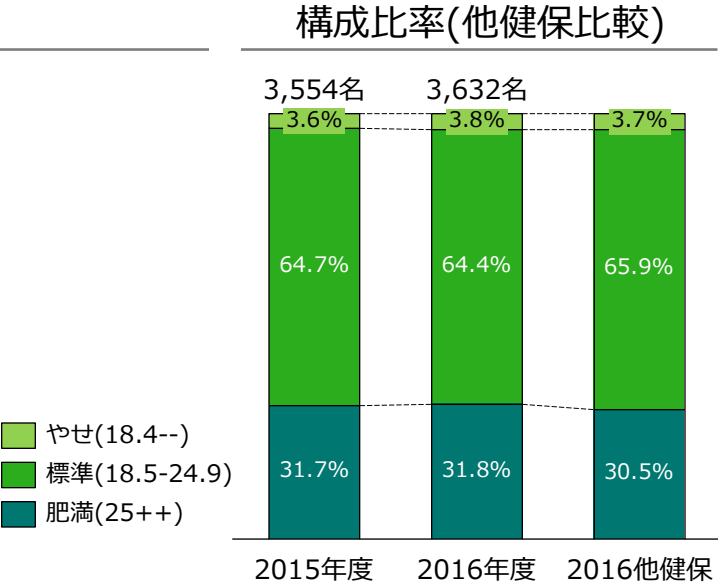
男性被保険者

女性被保険者

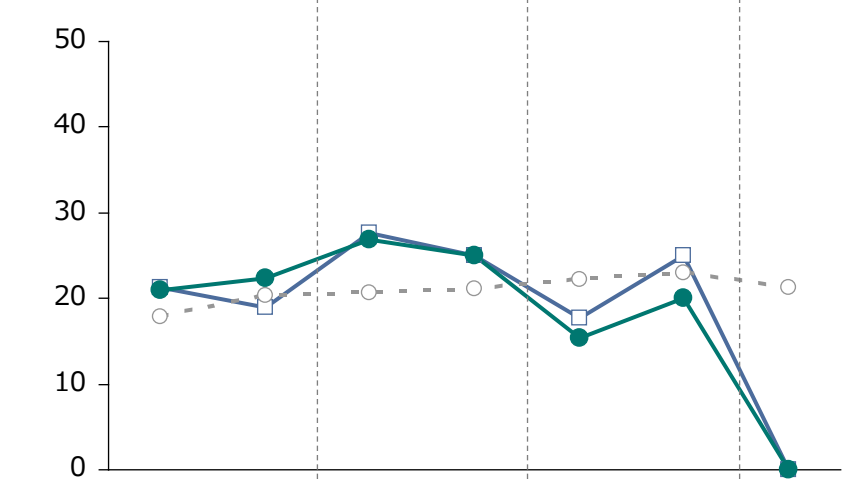
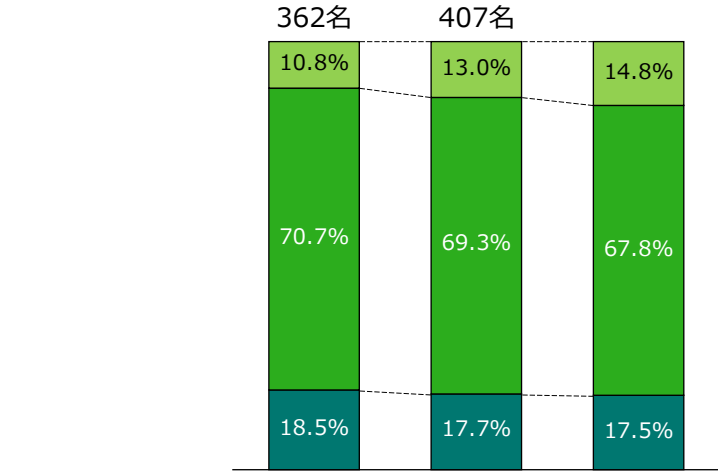
被扶養者



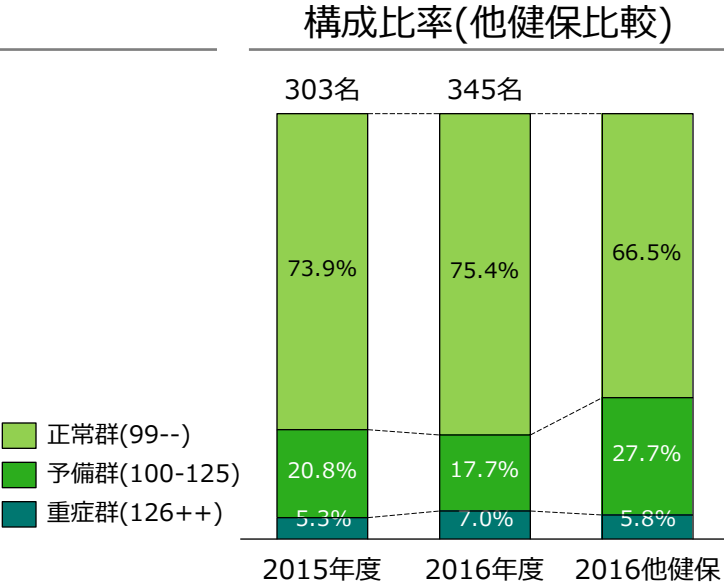
男性被保険者



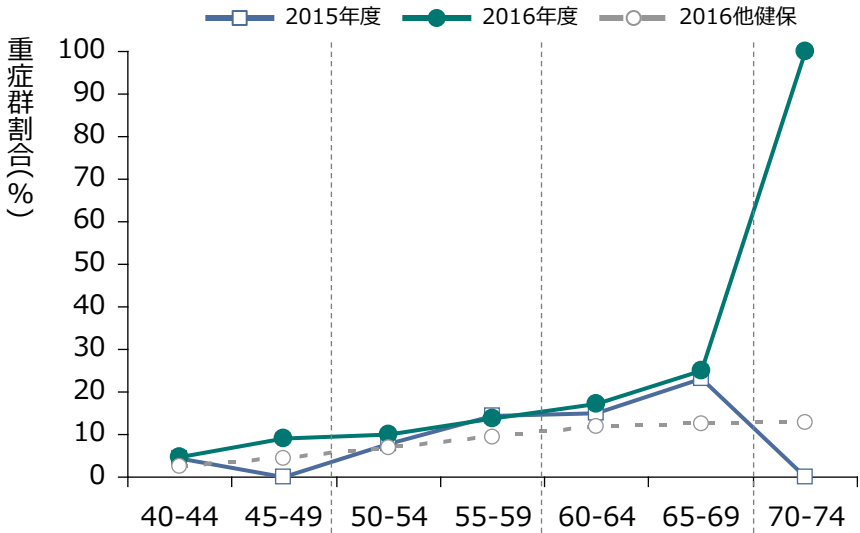
女性被保険者



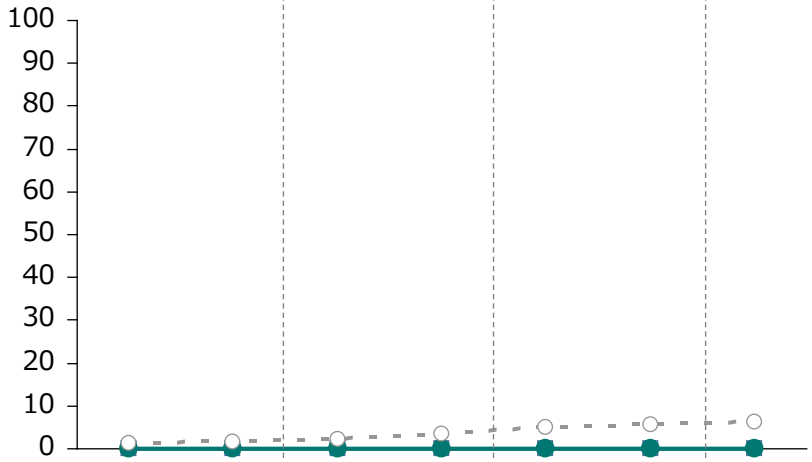
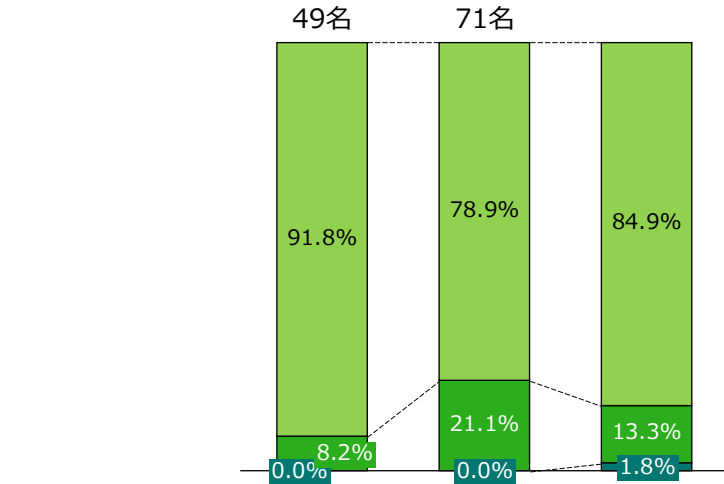
男性被保険者



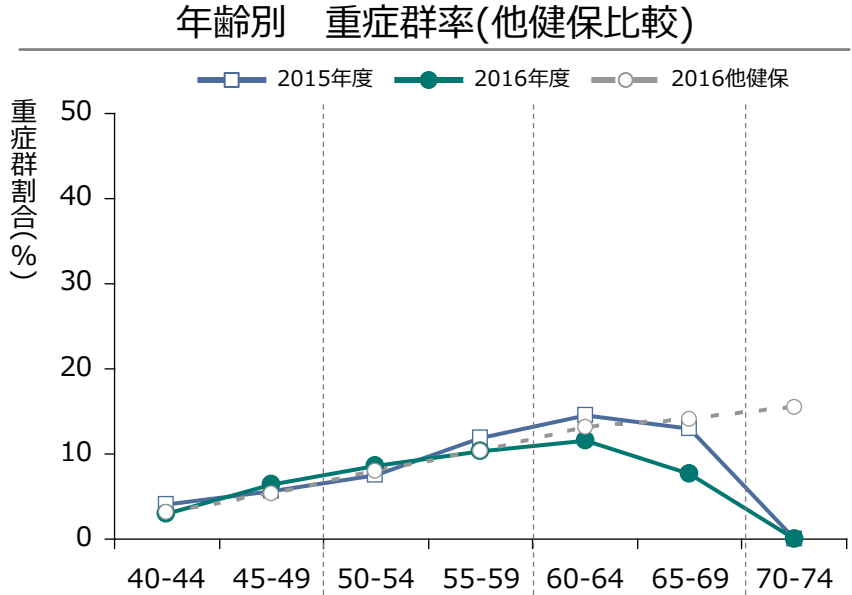
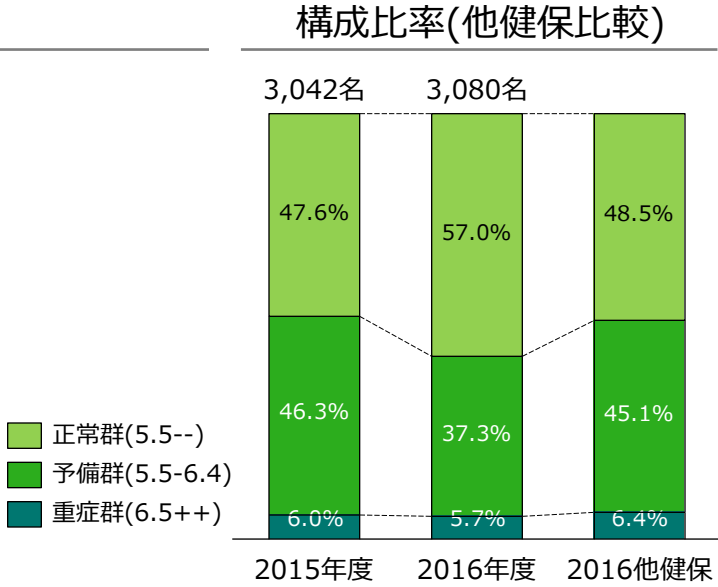
年齢別 重症群率(他健保比較)



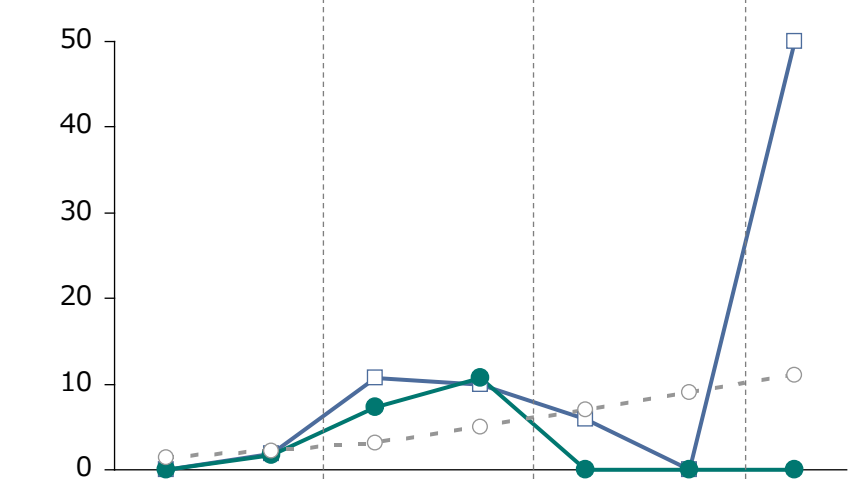
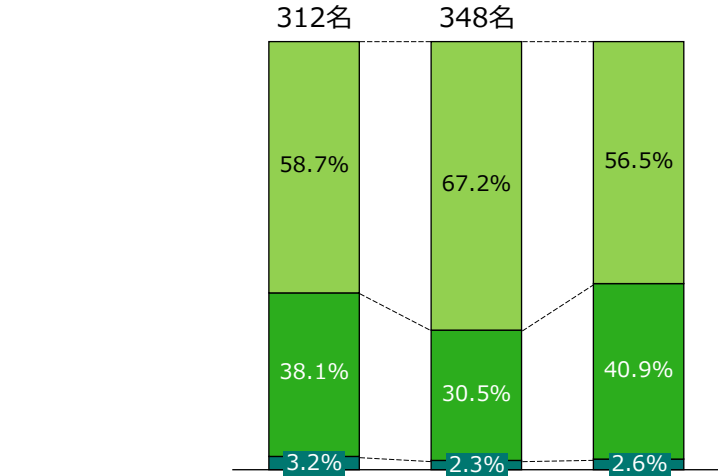
女性被保険者



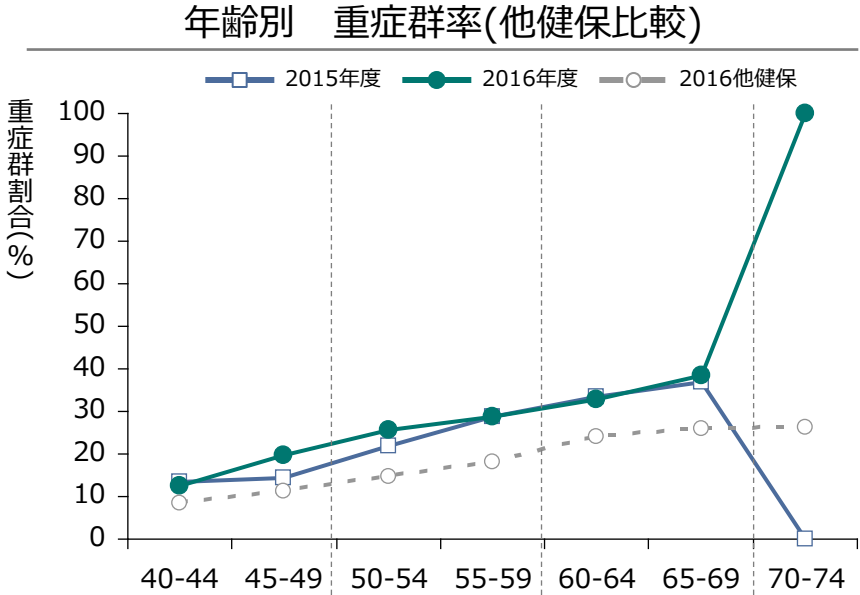
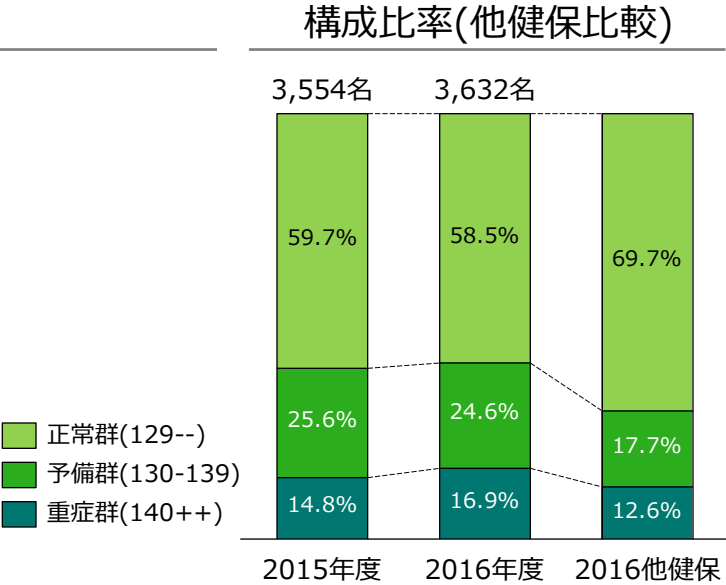
男性被保険者



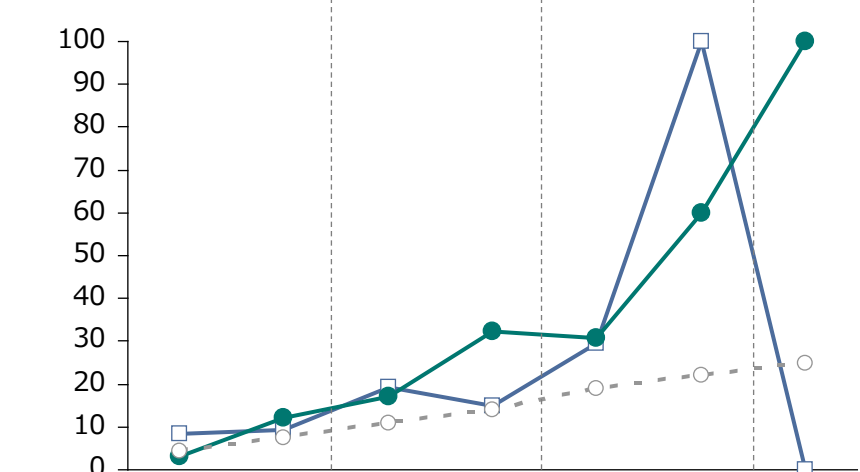
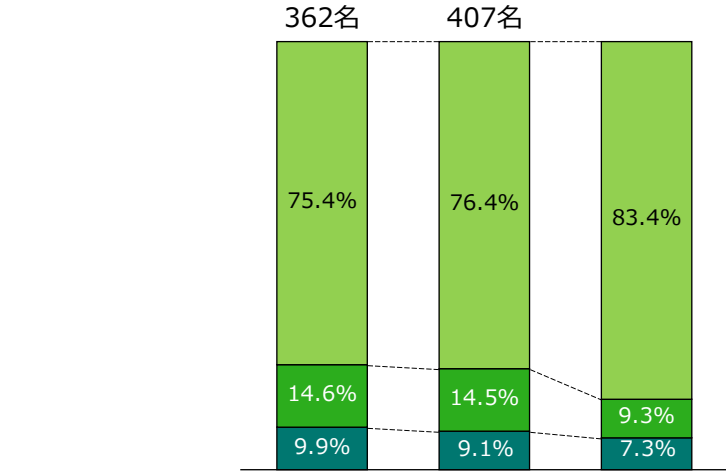
女性被保険者



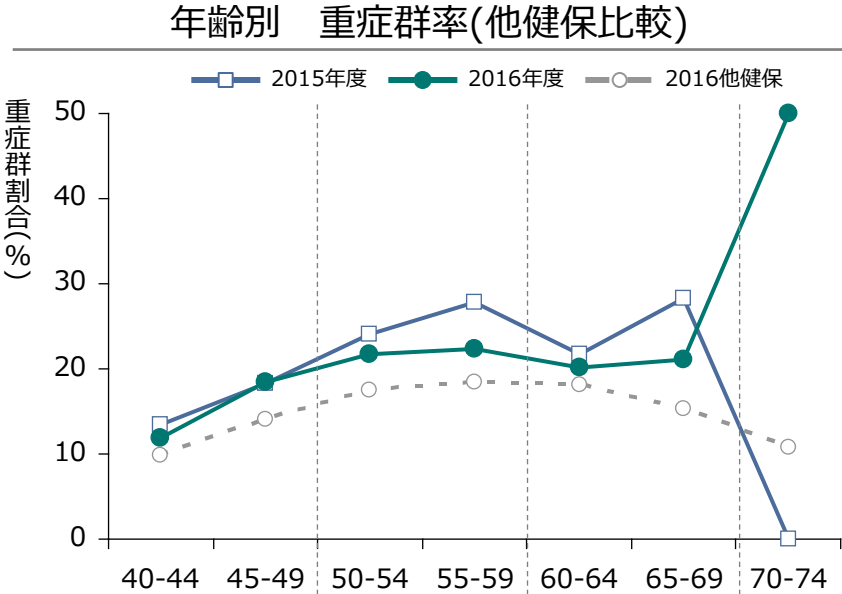
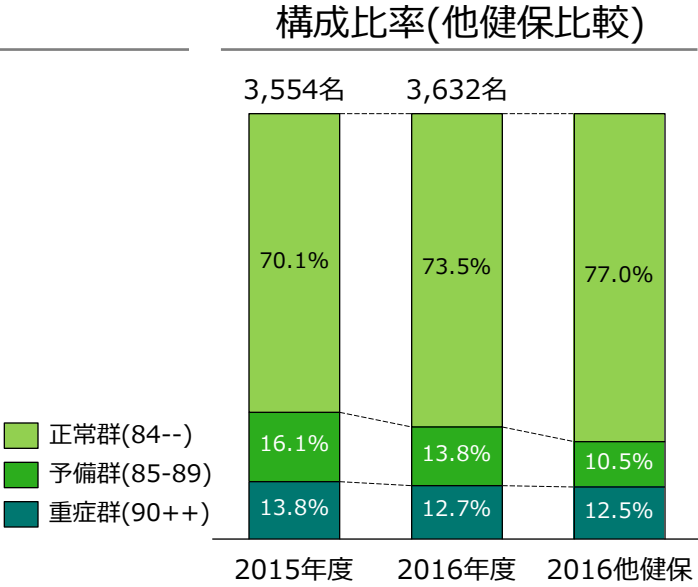
男性被保険者



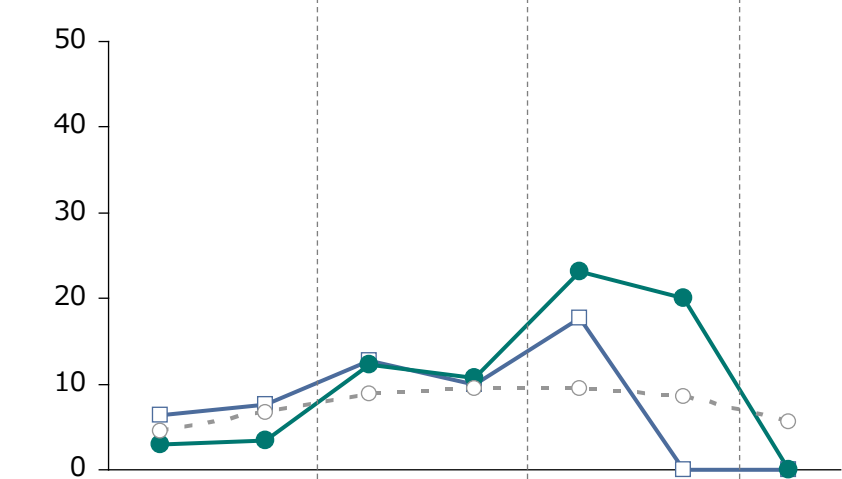
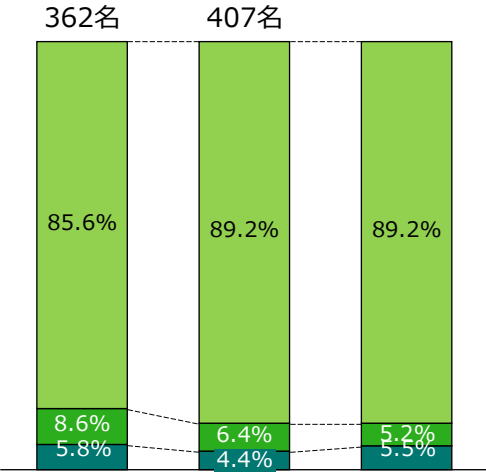
女性被保険者



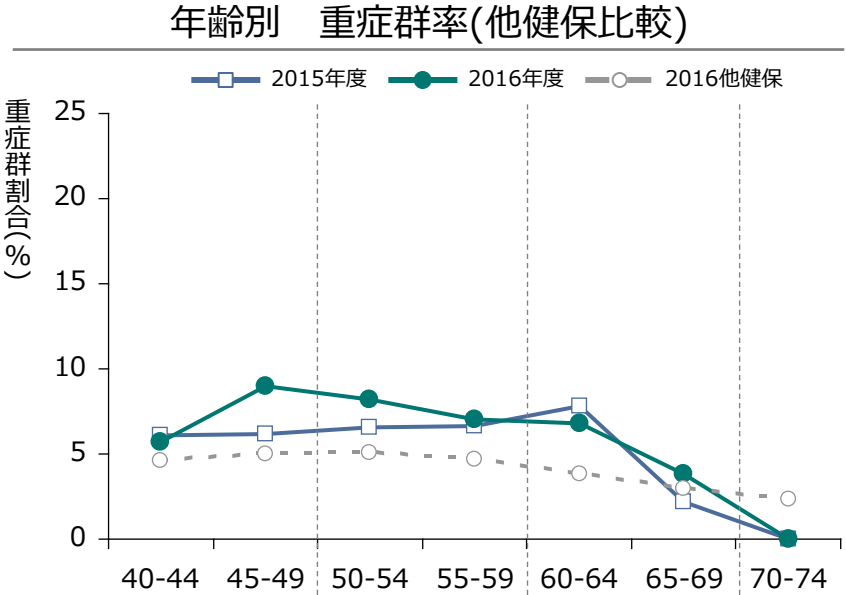
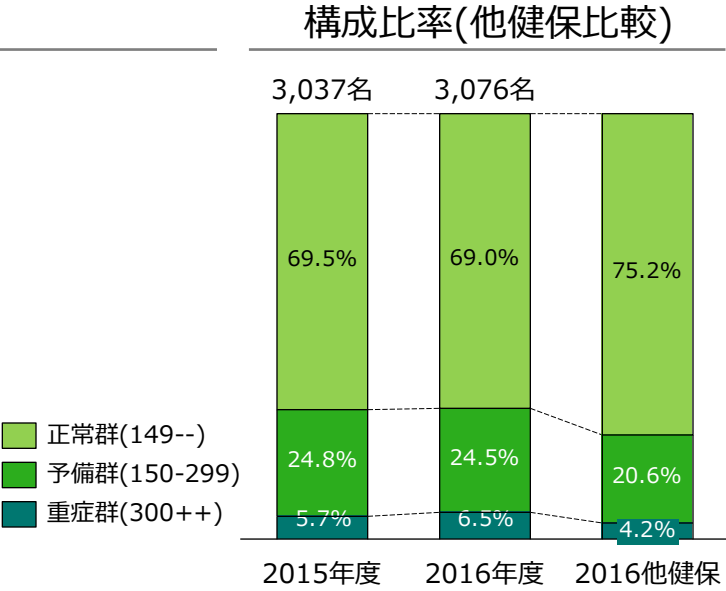
男性被保険者



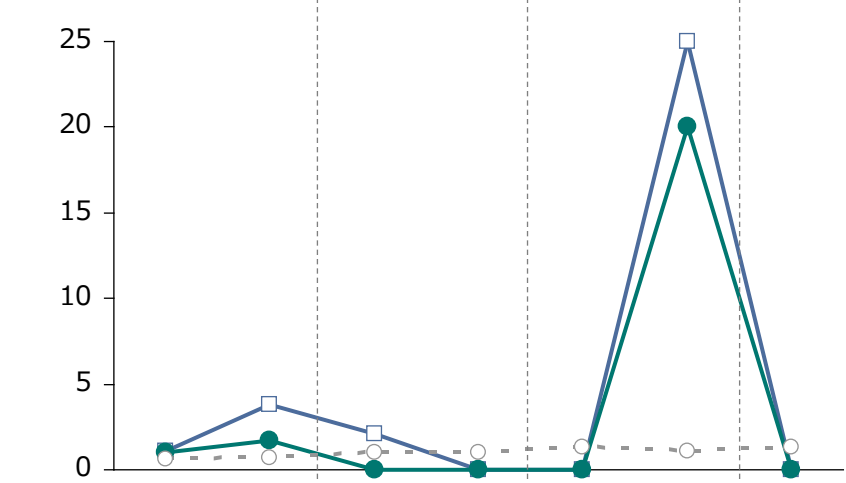
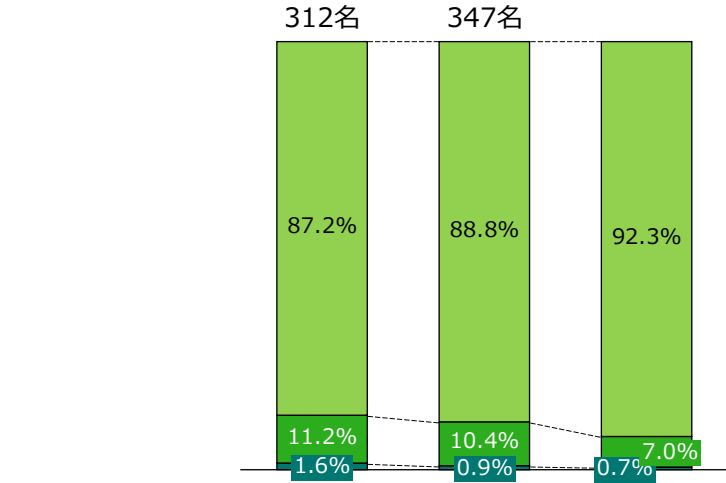
女性被保険者



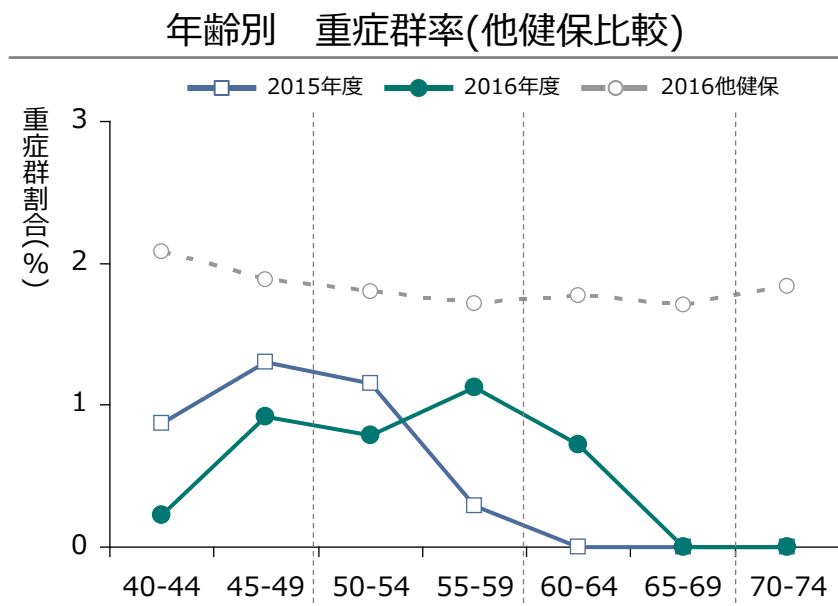
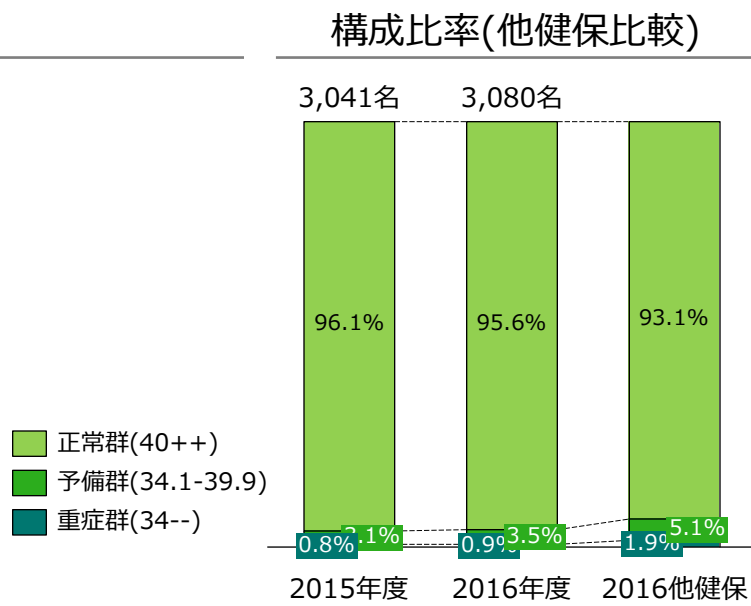
男性被保険者



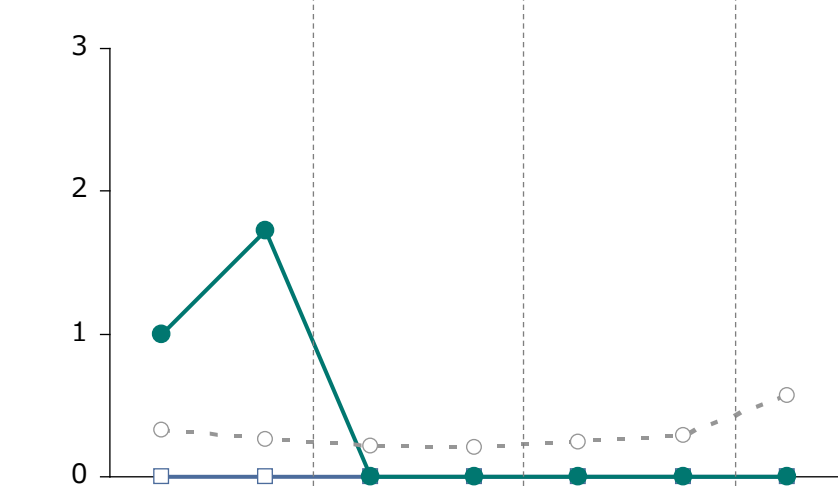
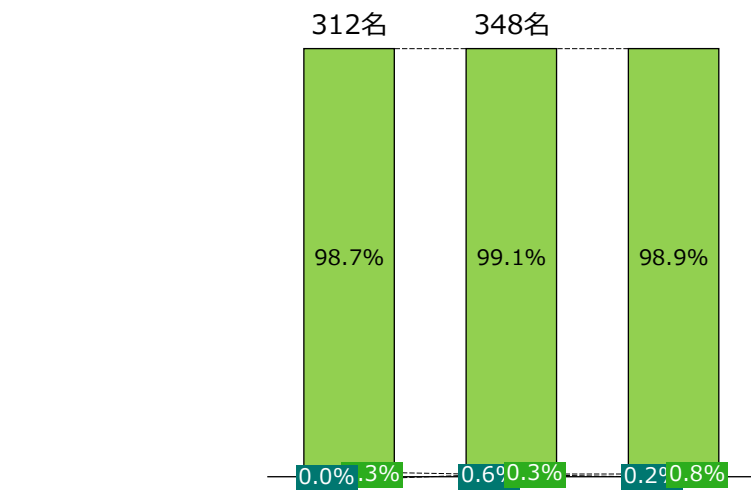
女性被保険者



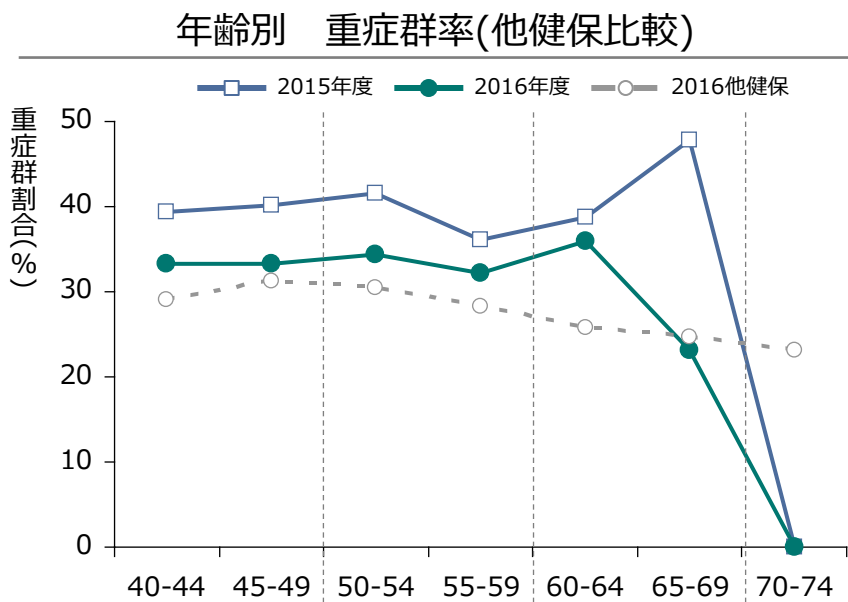
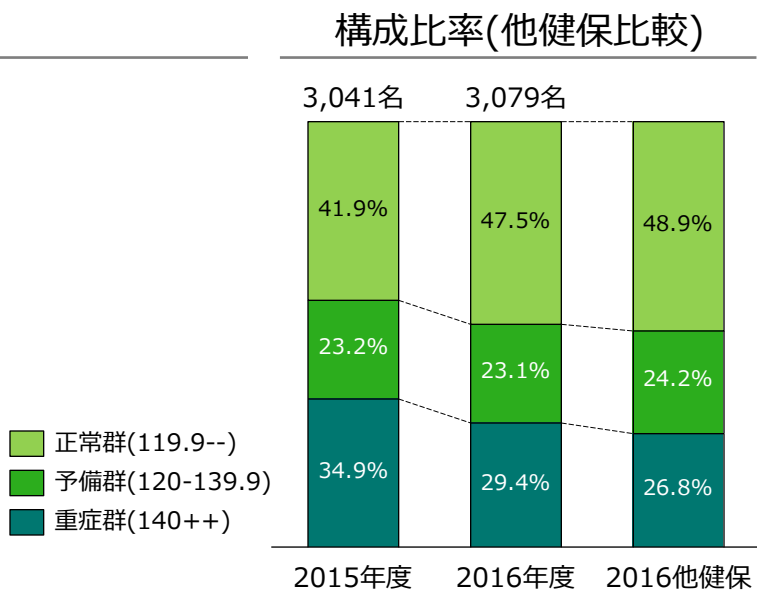
男性被保険者



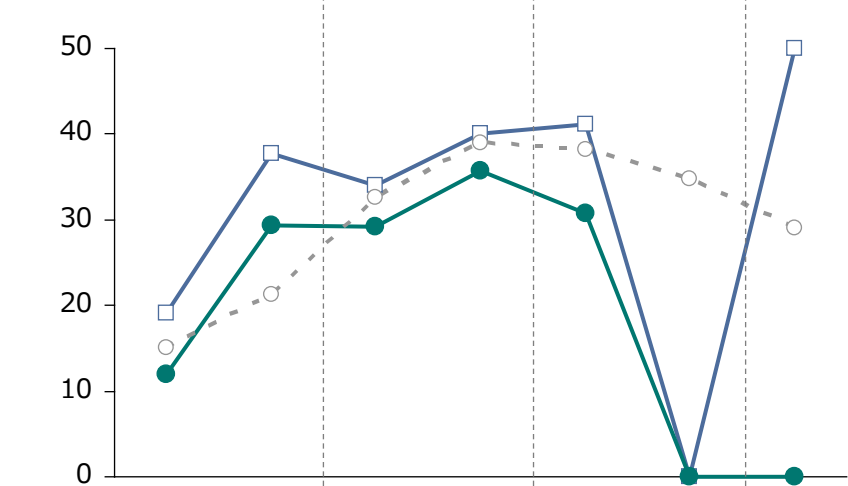
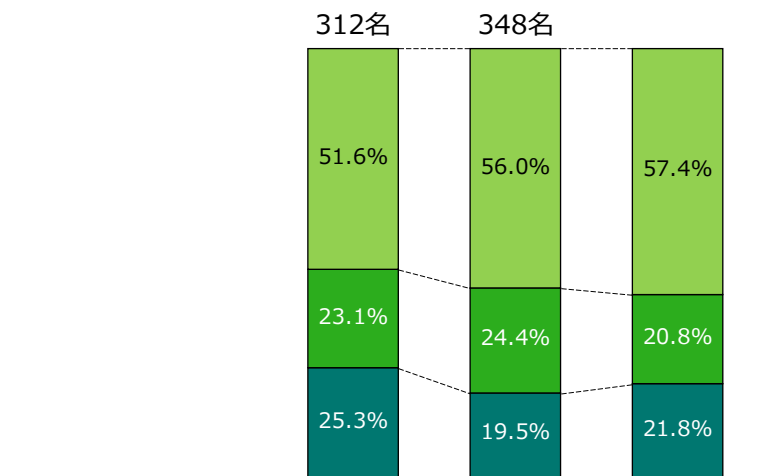
女性被保険者



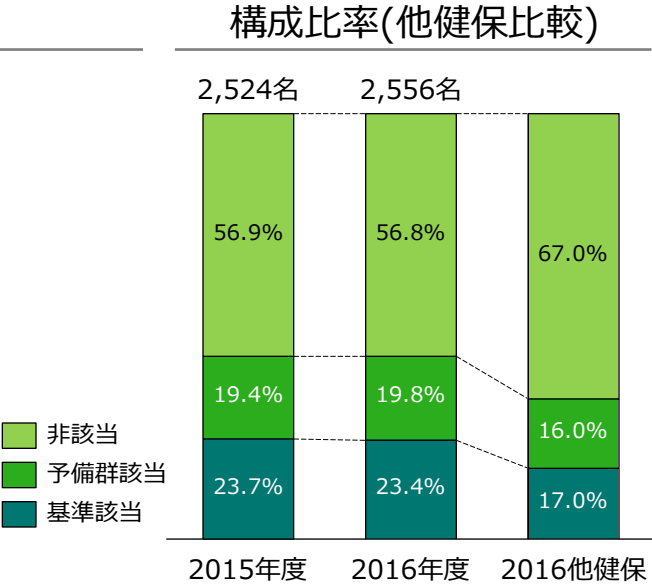
男性被保険者



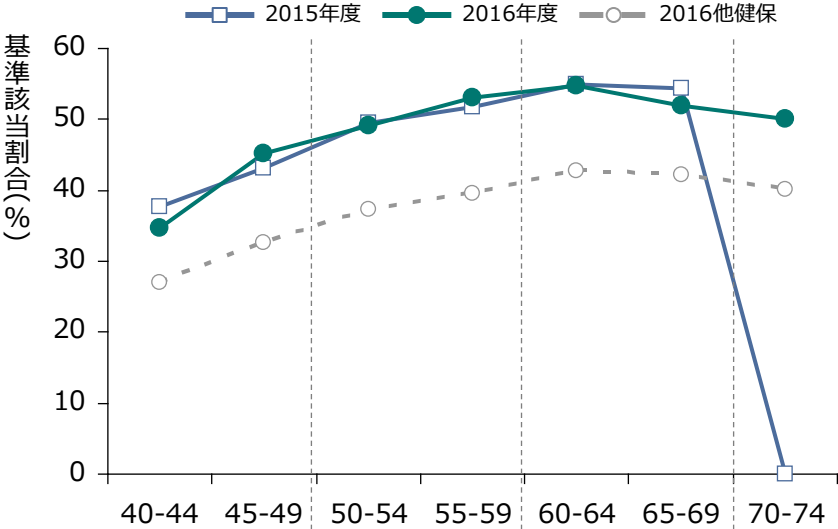
女性被保険者



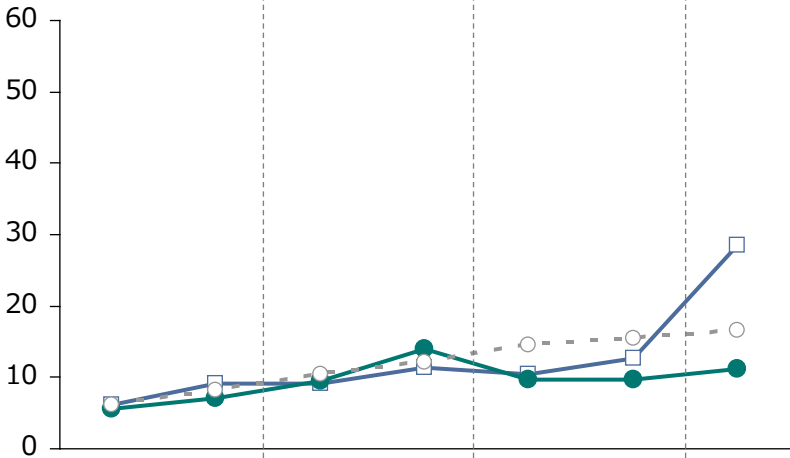
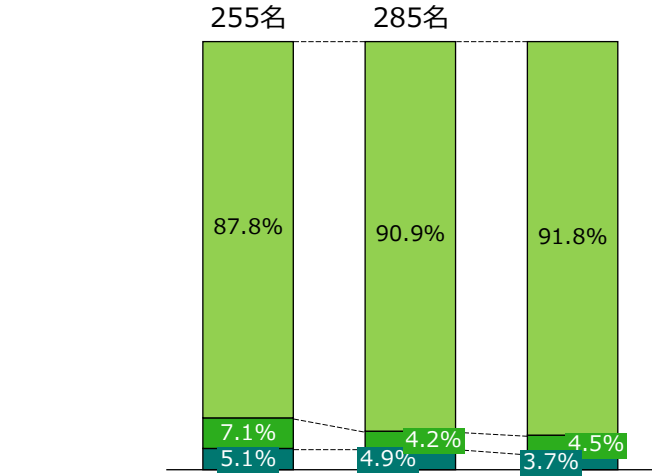
男性被保険者



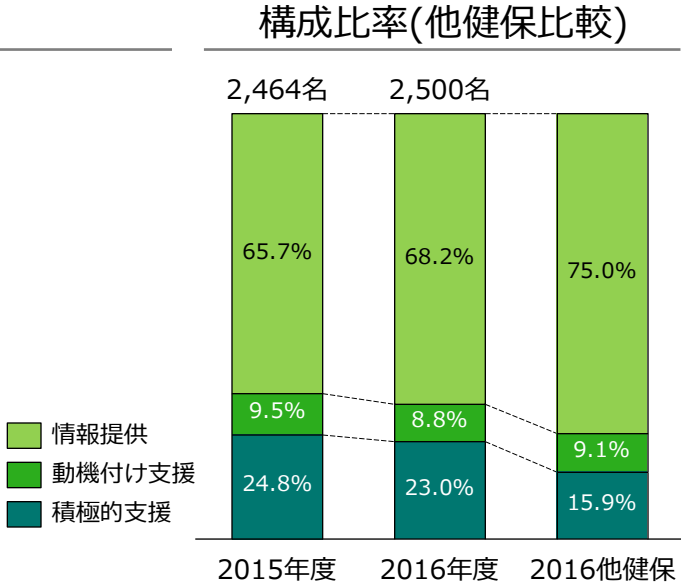
年齢別 基準・予備群該当率(他健保比較)



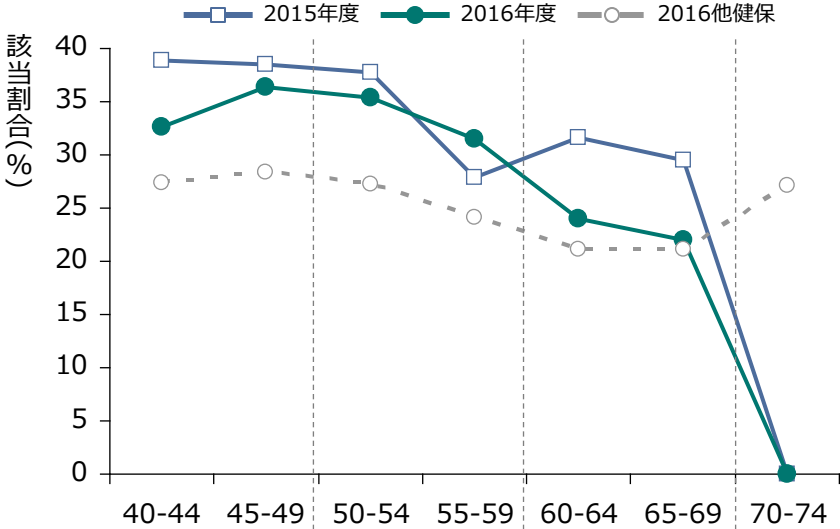
女性被保険者



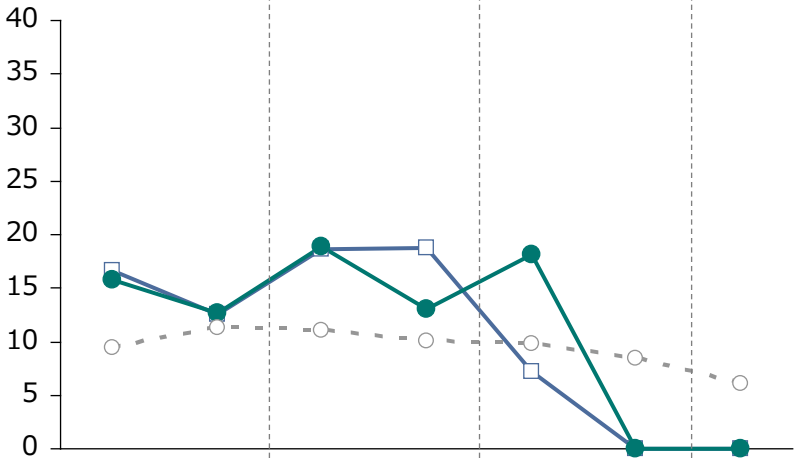
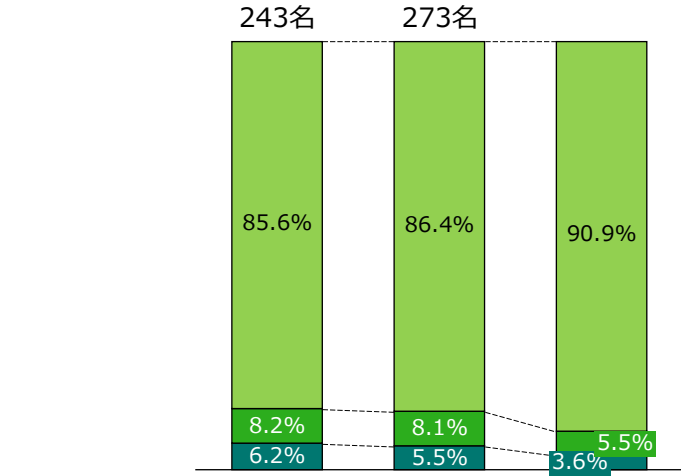
男性被保険者



年齢別 積極的・動機付け該当率(他健保比較)



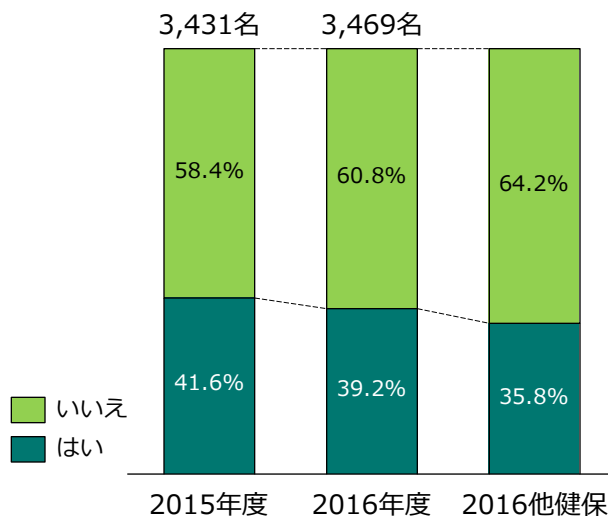
女性被保険者



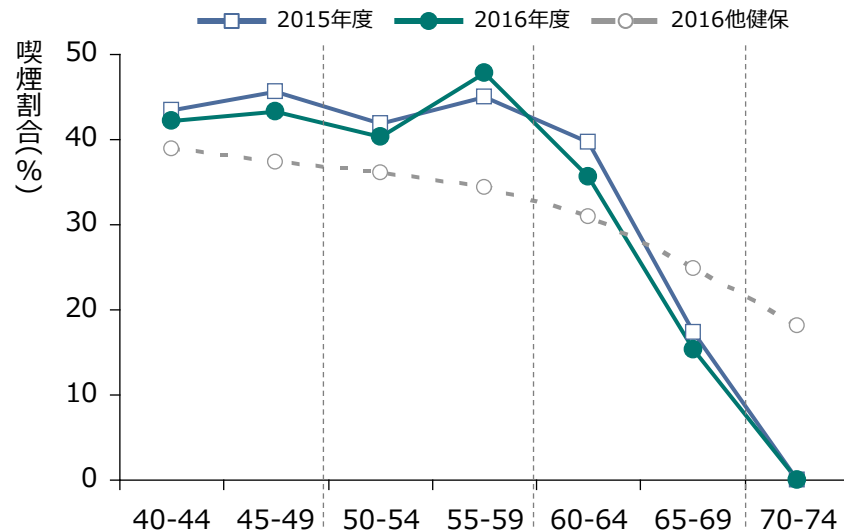
男性被保険者は他健保と比べ3.4ポイント高い

男性被保険者

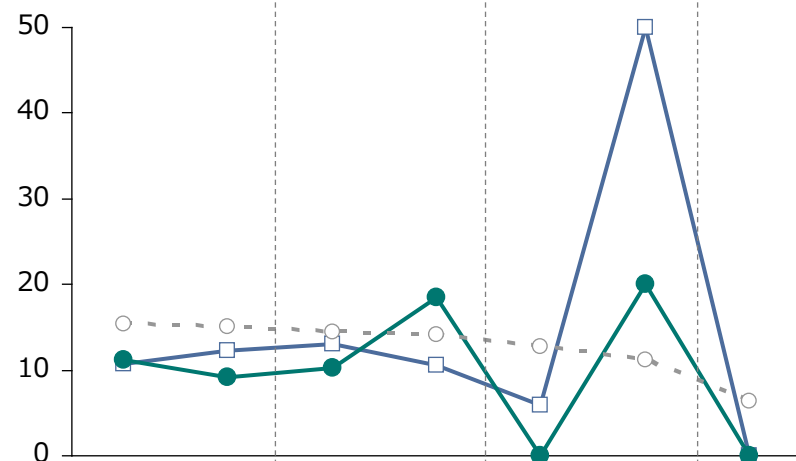
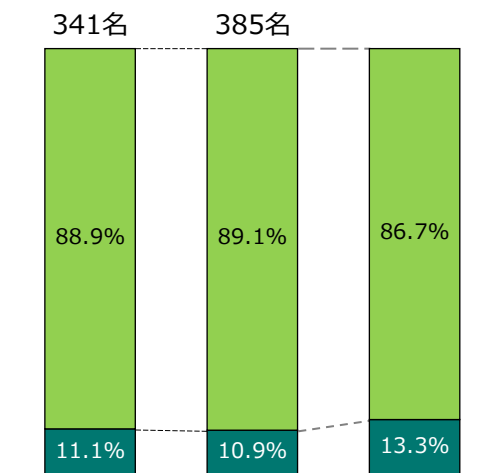
構成比率(他健保比較)



年齢別 喫煙率(他健保比較)

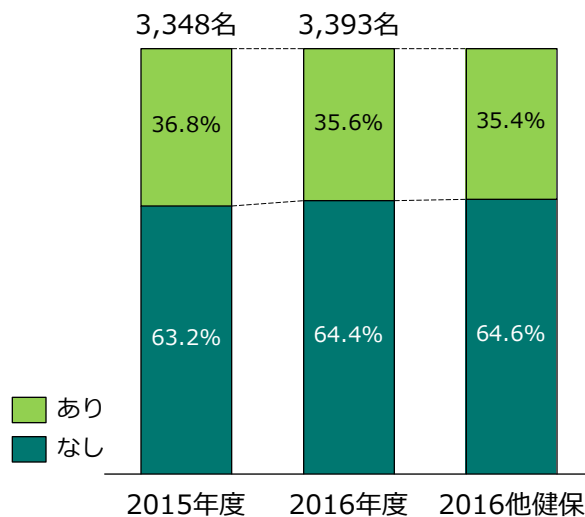


女性被保険者

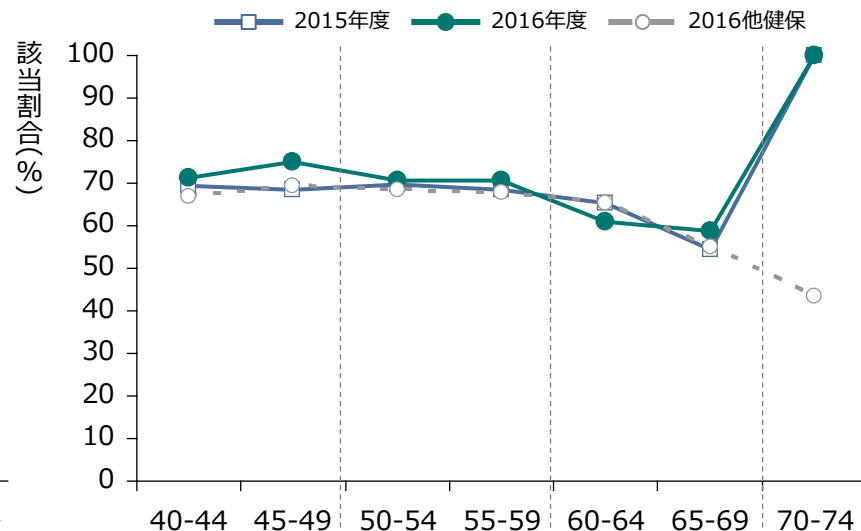


男性被保険者

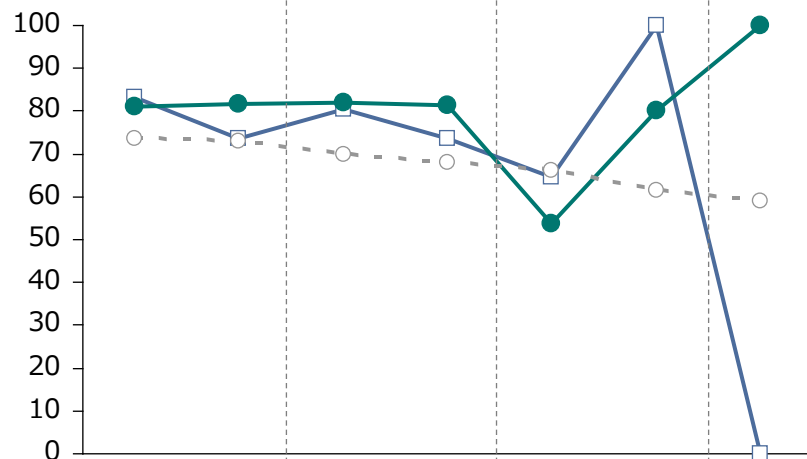
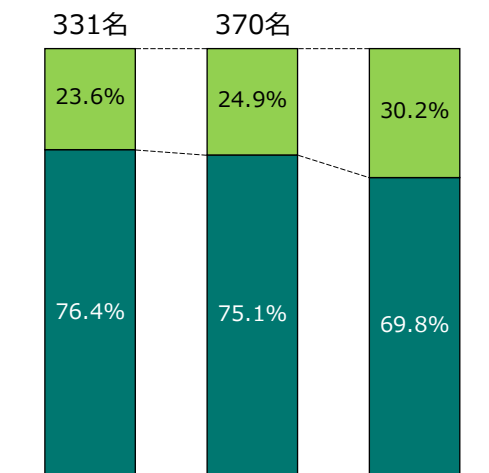
構成比率(他健保比較)



年齢別 運動習慣なし(他健保比較)



女性被保険者

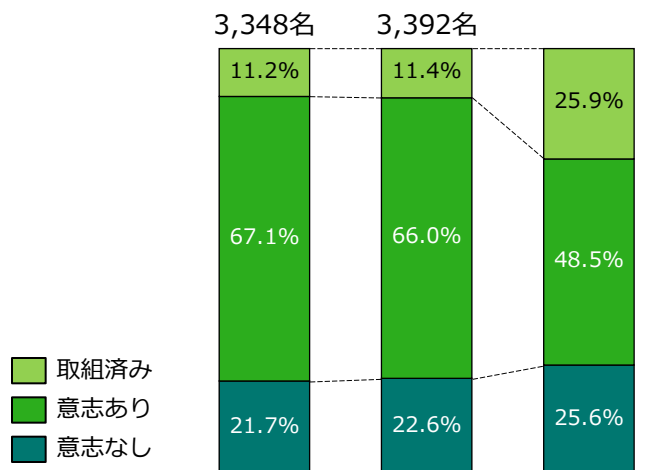


■運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか
 取組済み ④既に改善に取り組んでいる(概ね6か月未満)、⑤既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
 意志あり ②改善するつもりである(概ね6か月以内)
 ③近いうち(概ね1か月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている
 意志なし ①改善するつもりはない

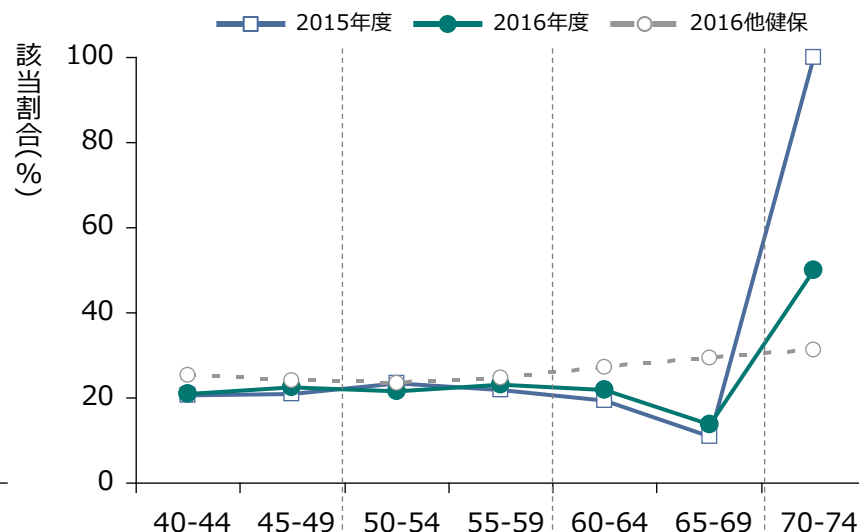
男性被保険者の生活習慣改善意志ありの割合は、他健保と比べ17.5ポイント高い

男性被保険者

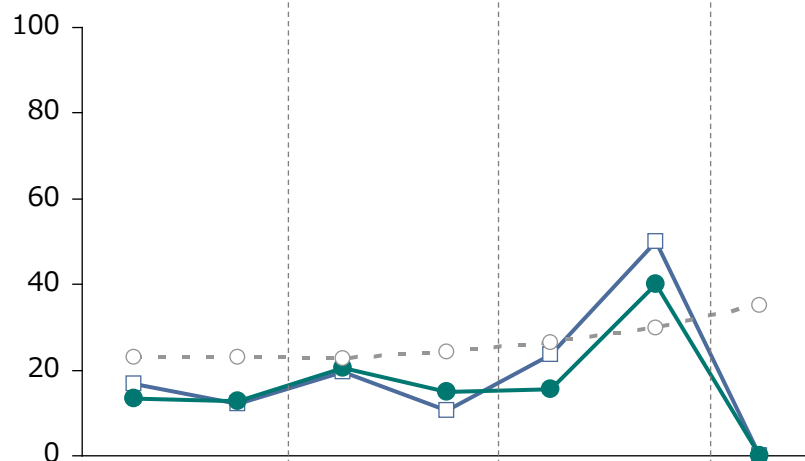
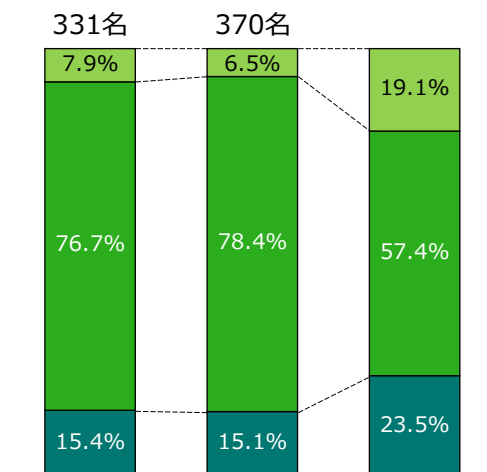
構成比率(他健保比較)



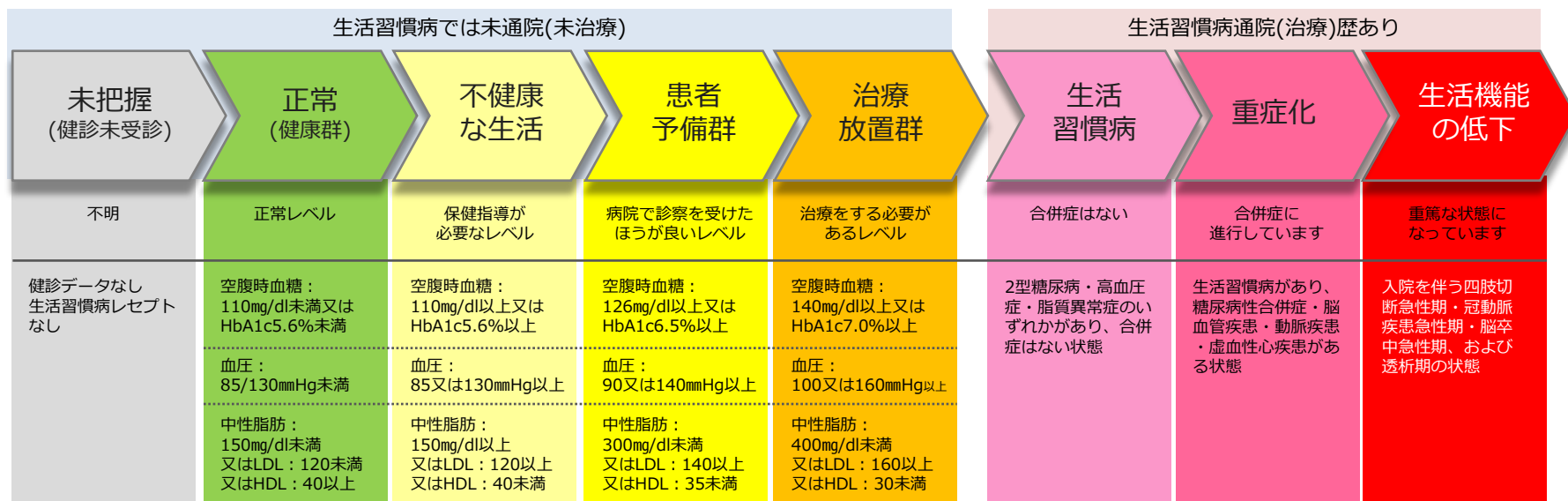
年齢別 改善意志なし(他健保比較)



女性被保険者



生活習慣病のリスク階層把握により1次予防～3次予防の対象群を特定 2次予防対象の「患者予備群、治療放置群」は741名で全体の32.3%を占めている



2016年度 上段〔該当者人数〕 下段〔構成割合〕								
50	260	578	457	284	503	154	10	
2.2%	11.3%	25.2%	19.9%	12.4%	21.9%	6.7%	0.4%	

2015年度 上段〔該当者人数〕 下段〔構成割合〕								
47	185	578	474	351	475	163	10	
2.1%	8.1%	25.3%	20.8%	15.4%	20.8%	7.1%	0.4%	

2016年度 他健保構成割合								
6.1%	14.5%	23.7%	15.7%	9.4%	22.8%	7.5%	0.3%	

対象者902人の内、57人が高リスク者である

健診値

リスク層別 治療放置状況分析	低	中	高
	空腹時血糖： 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上	空腹時血糖： 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上	空腹時血糖： 150mg/dl以上又は HbA1c8.0%以上
	血圧： 90又は140mmHg以上	血圧： 100又は160mmHg以上	血圧： 110又は180mmHg以上
	中性脂肪： 300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	中性脂肪： 400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪： 500mg/dl以上 又はLDL：200以上 又はHDL：25未満
1	484	218	32
2	69	70	22
3	0	4	3

(血糖・血圧・脂質)
有所見数

G3a以上のリスク者140人の内、79人は未受診者である

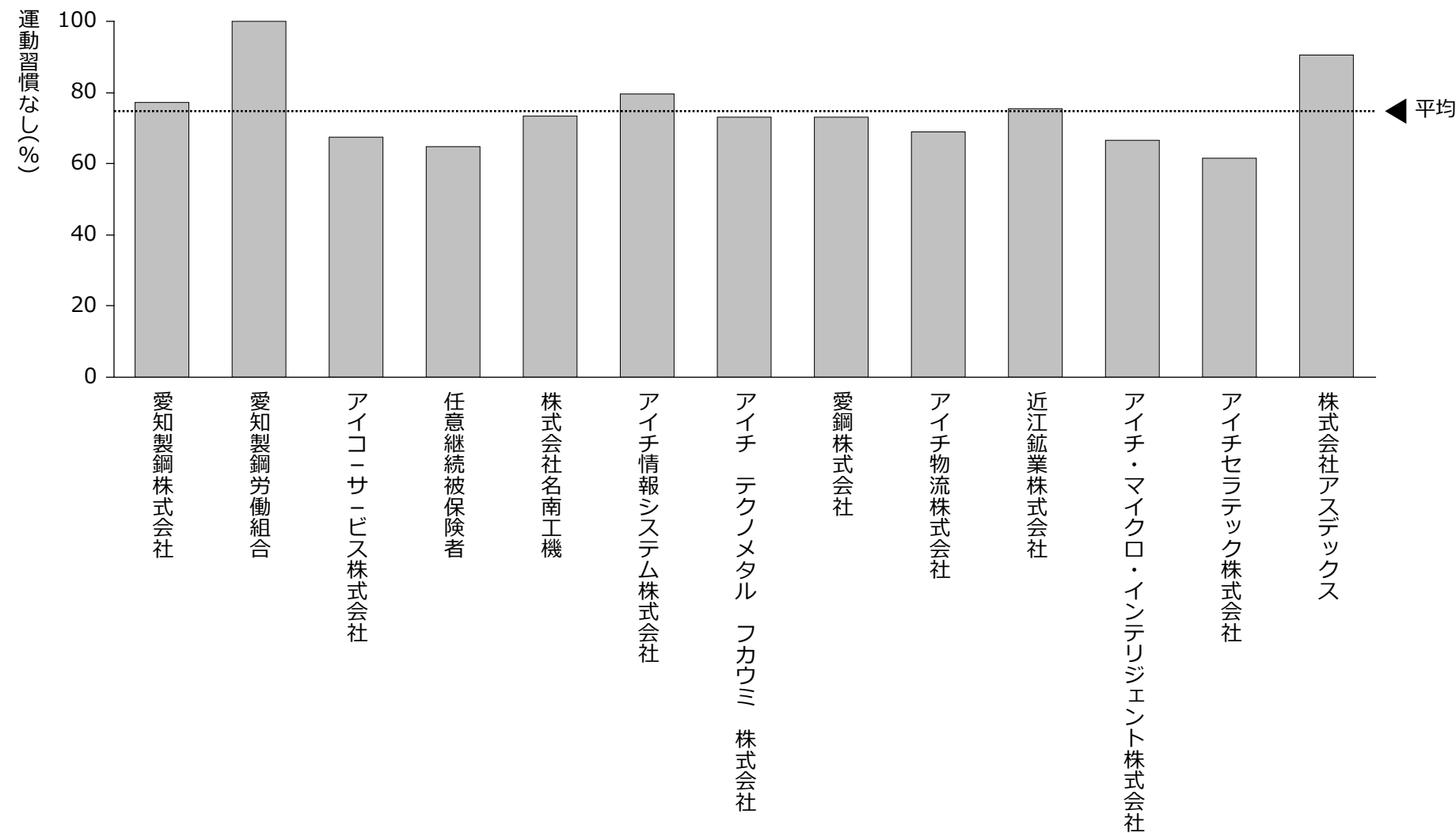
			尿蛋白				
CKD重症度分類と分布 ・上段 該当者数 ・下段 未受診者数			A1	A2	A3	合計	
			正常 -,±	尿蛋白 +	尿蛋白 ++		
e G F R	正常	>90	G1	259 (202)	2 (2)	6 (4)	267 (208)
	正常または軽度低下	60～89	G2	1454 (1153)	26 (15)	19 (4)	1499 (1172)
	軽度～中等度低下	45～59	G3a	116 (73)	8 (4)	2 (0)	126 (77)
	中等度～高度低下	30～44	G3b	6 (2)	1 (0)	3 (0)	10 (2)
	高度低下	15～29	G4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	末期腎不全	<15	G5	0 (0)	1 (0)	3 (0)	4 (0)
	合計			1835 (1430)	38 (21)	33 (8)	1906 (1459)

治療中断者29人の内、17人は健診値もアンコントロールである

対象者	追跡データ 生活習慣病レセプトor服薬情報 ※疑い含まず	健診結果	人数
当年度 血圧・血糖・脂質 服薬処方あり	中断 29 ※当年度1～3月に 生活習慣病での 通院実績なし	アンコントロール	17
		コントロール	10
		健診なし	2
	通院 232 ※生活習慣病での 通院実績あり	アンコントロール	160
		コントロール	63
		健診なし	9

- アンコントロール：下記いずれかに該当
- ・血糖：空腹時126以上 or HbA1c6.5以上
- ・血圧：90以上 or 140以上
- ・脂質：中性脂肪：300以上 or LDL：140以上 or HDL：35未満
- コントロール：上記値に非該当
- 健診なし：健診データなし(未受診)

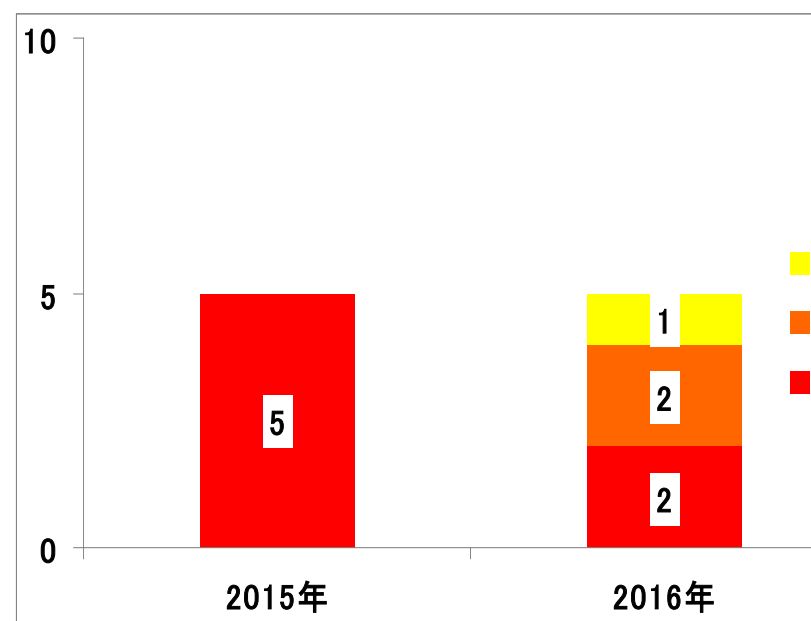
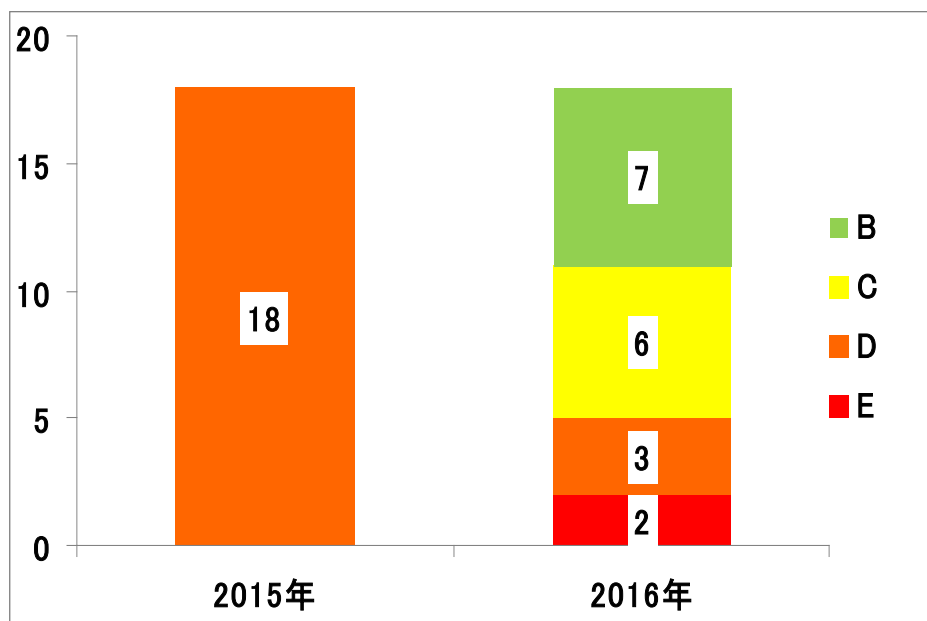
事業所別 運動習慣なし率



特別保健指導受講後 (2015年対象者)

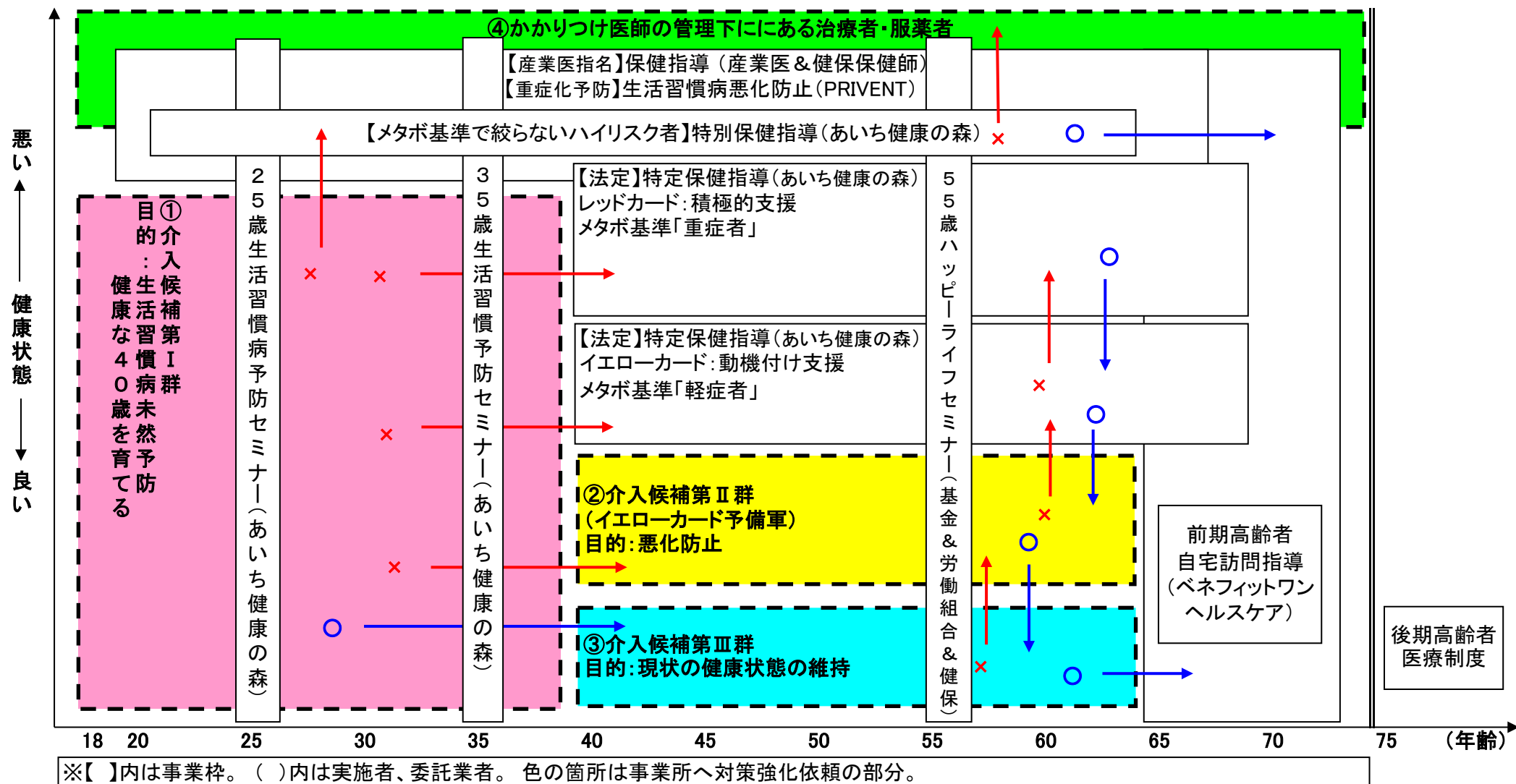
D判定者

E判定者



※全参加者35名中、追跡できたDとEの方 合計23名 (D18名 E5名)
D判定18名中、13名が改善、E判定5名中、3名改善。

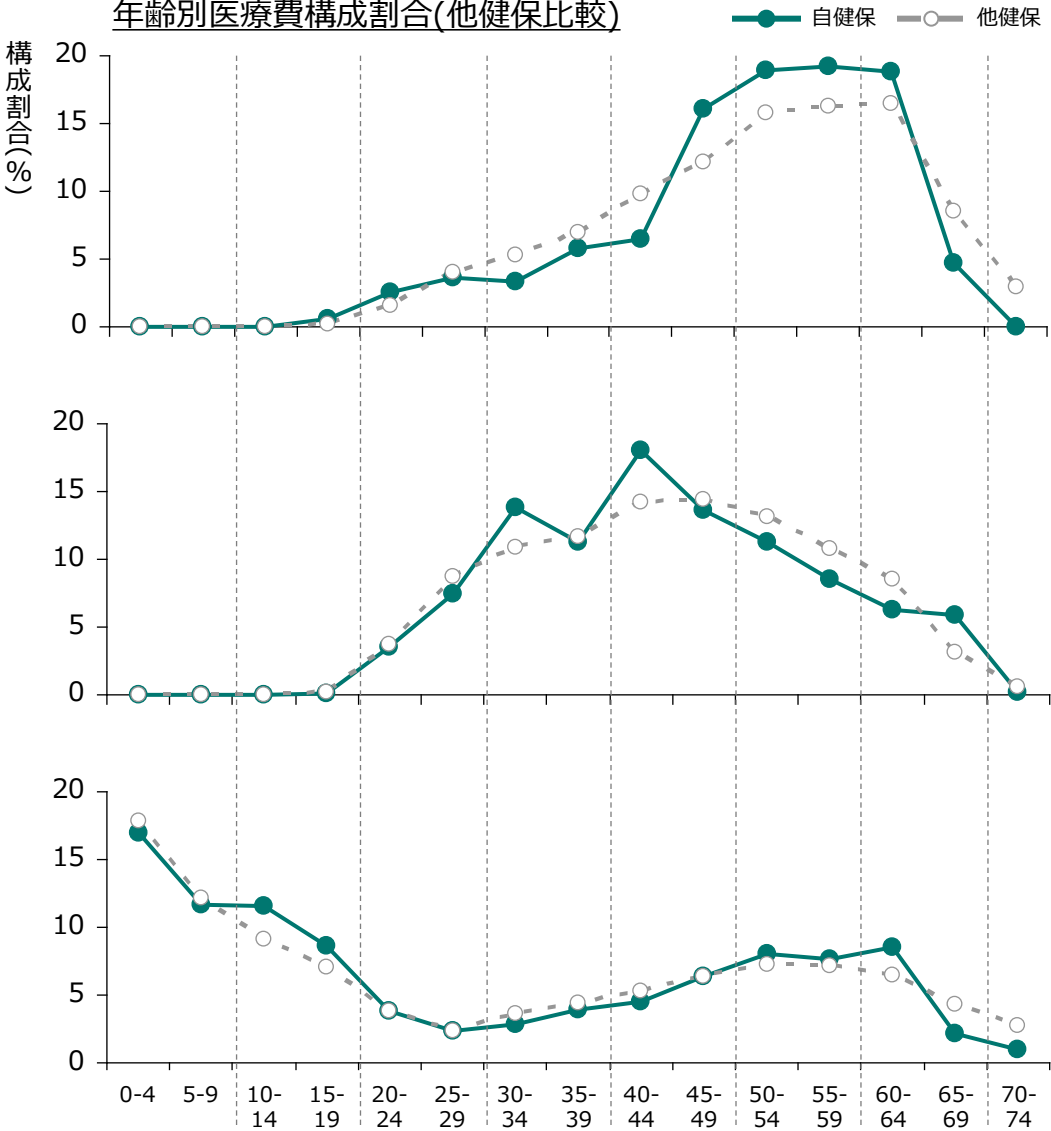
生活習慣病予防 保健指導「見取り図」(健保で実施)



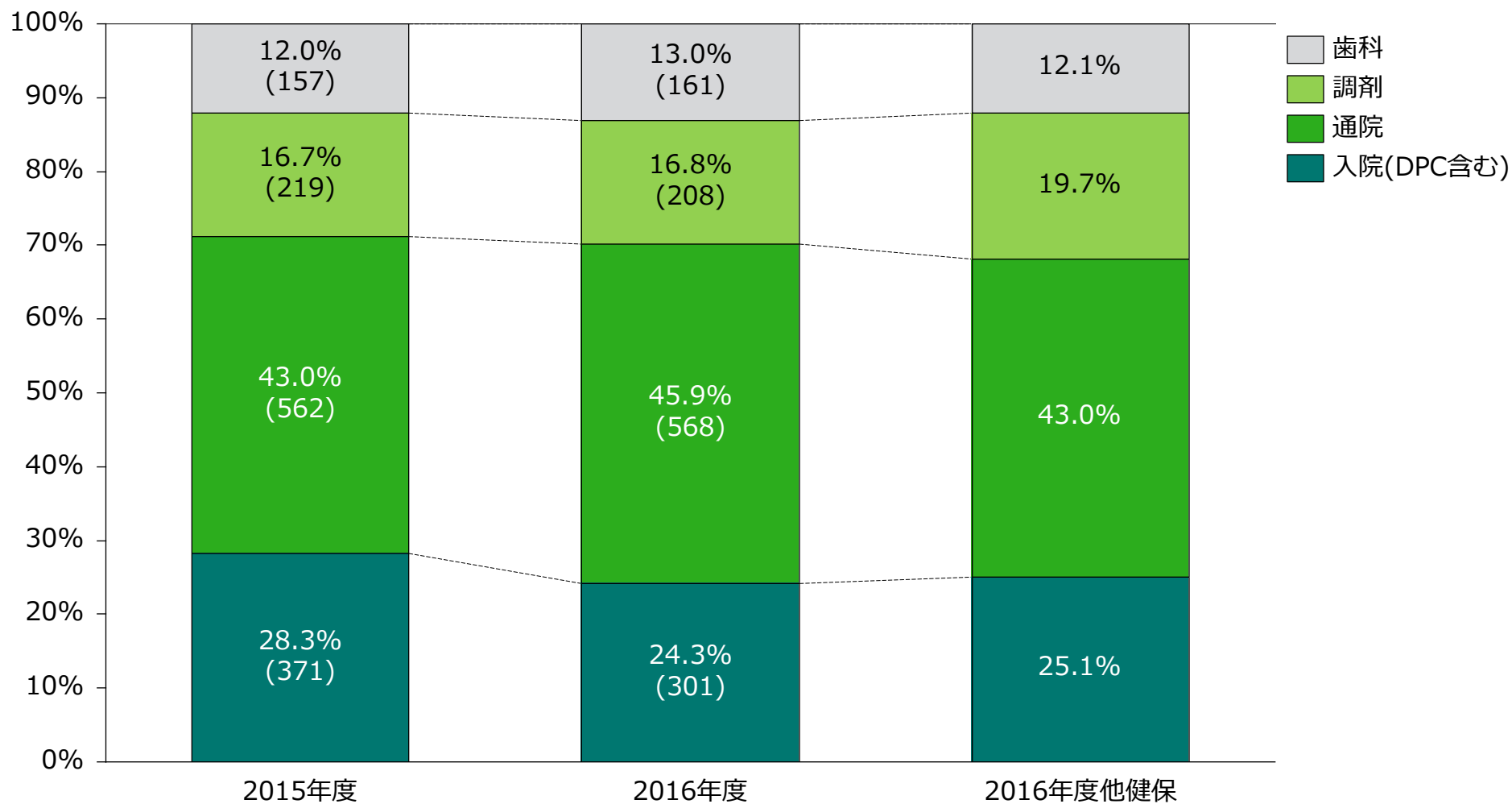
男性被保険者

女性被保険者

被扶養者



レセプト種別毎 医療費構成割合



総患者数は33人増加しているが、200万円から499万円のレンジでは27人減少
 同レンジでは医療費も77百万円減少している
 500万円以上レンジでは医療費が186百万円で、全体の15%を占めている

医療費レンジ 年度比較

年間医療費 レンジ	実患者数(人)		実患者数 増減 (2016-2015)	医療費(百万円)		医療費 増減 (2016-2015)	医療費増減 医療費(百万) -50 0 50
	2015年度	2016年度		2015年度	2016年度		
-10万円未満	4,970	4,967	-3	205	206	2	
10-49万円	2,404	2,463	59	482	484	2	
50-99万円	202	194	-8	135	128	-7	
100-199万円	74	80	6	103	107	4	
200-299万円	45	25	-20	108	61	-46	
300-399万円	14	13	-1	48	45	-3	
400-499万円	11	5	-6	49	21	-28	
500万円-	20	26	6	180	186	6	
合計	7,740	7,773	33	1,309	1,238	-71	

愛知製鋼健保の保健事業の概要(事業所とのコラボ事業★含)

健診事業

- ★被保険者全員 定期健康診断(年2回)
- がん検診(胃:30歳以上 大腸:35歳以上 肺:40歳以上 PSA:50、55、60歳)
- 被扶養者 集団健診(あまの創健地域巡回健診 他)

保健指導事業

- 特定保健指導(40歳以上。母体:あいち健康の森 関連:SOMPOリスクアマネジメント)
- 産業医指定者保健指導(産業医、健保保健師)
- 特別保健指導(被保険者:あいち健康の森)
- ★節目研修(25歳・35歳 あいち健康の森)
- プチっとセミナー(ケーシップ)

広報・啓発活動

- けんぽだより年4回発行 ホームページ 健康情報の提供(個人ページWEB化)PepUp
- ★母体社員食堂、委託会社との取り組み 他

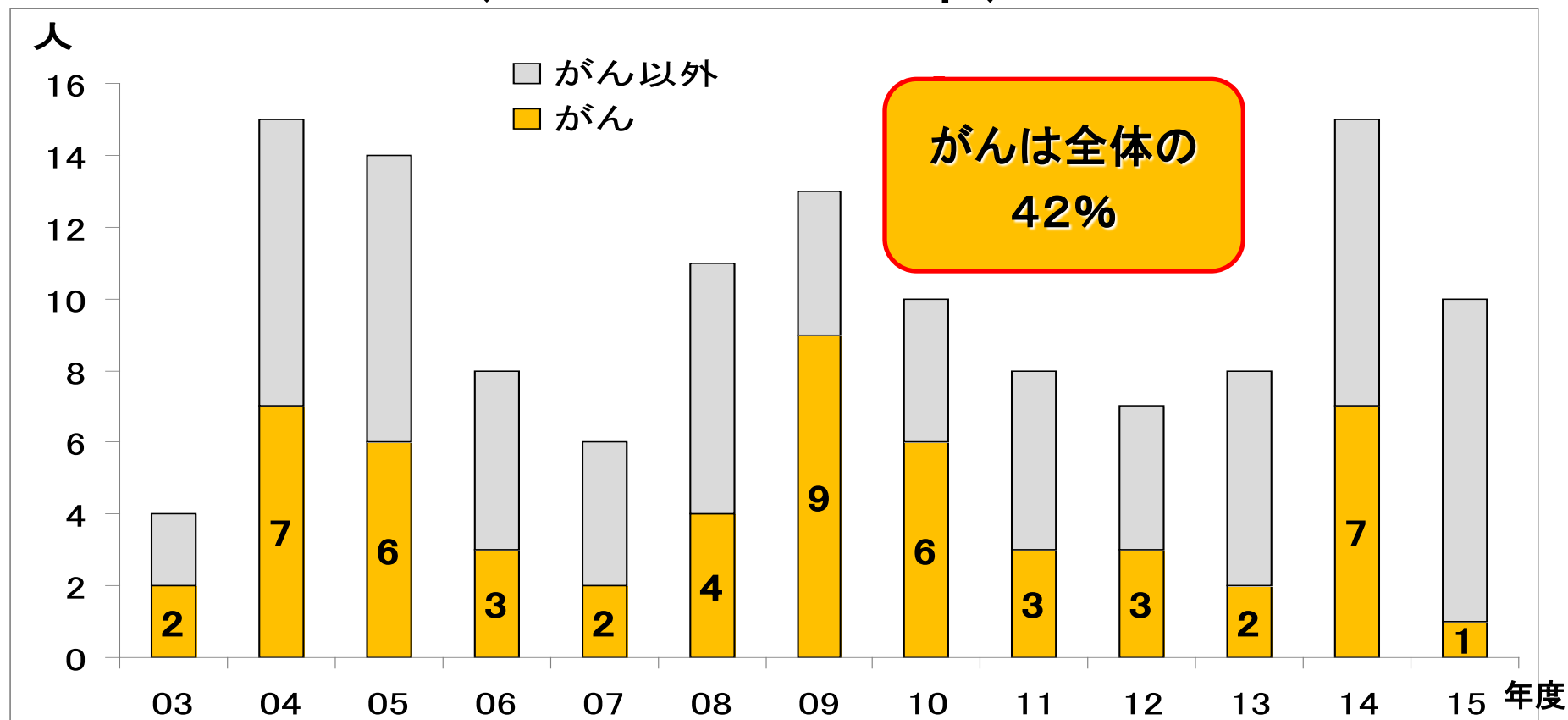
疾病予防事業

- ファミリー歯科検診(H28新規導入)
- インフルエンザ予防接種(子供、高齢者)
- 人間ドック・脳ドック費用補助(人間ドックは被扶養者、任継 脳ドックは50歳以上)
- 家庭常備薬斡旋

体育奨励事業

保養所提供事業

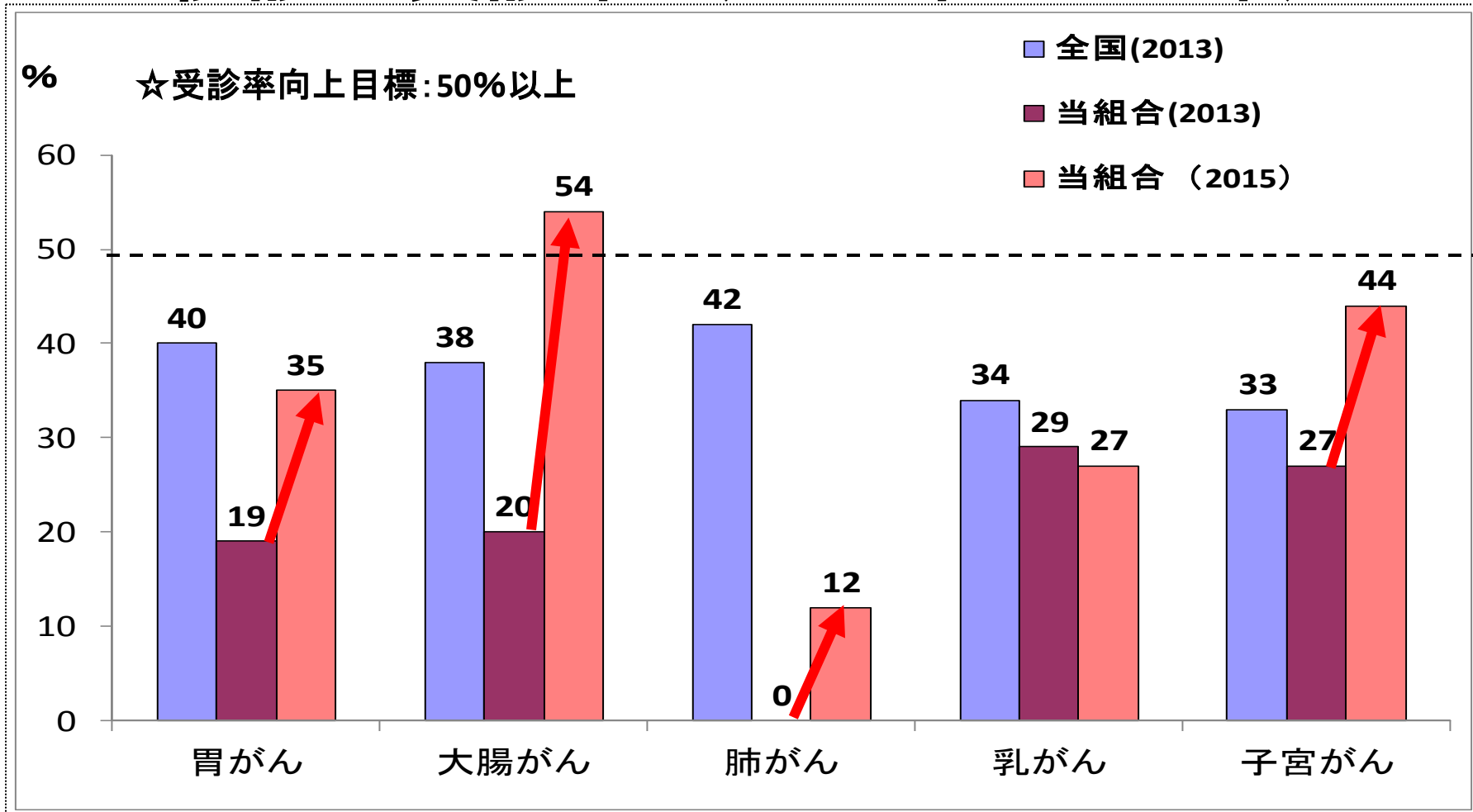
当組合のがん死亡者数推移 (2003～2015年)



全体の半数までには及ばないが、がんでの死亡者数は高い

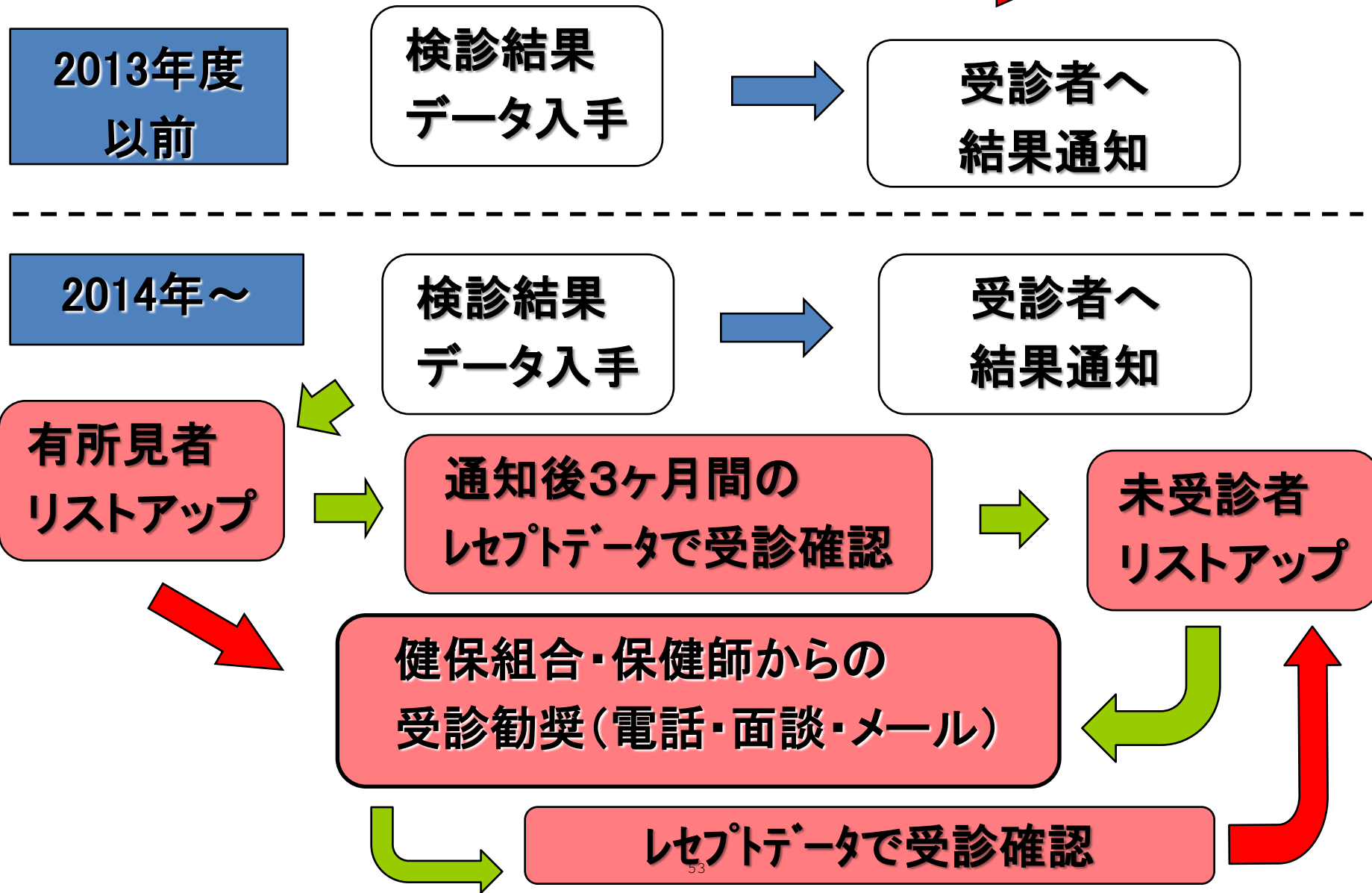
- ◆検診の受診率向上に向けての対策の強化(受診できる機会を増やす)
- ◆検診受診後に要精密検査結果となった対象者へ速やかに再検査受診していただけるためのフォロー強化が必要。

がん検診の受診率（2013年と2015年）



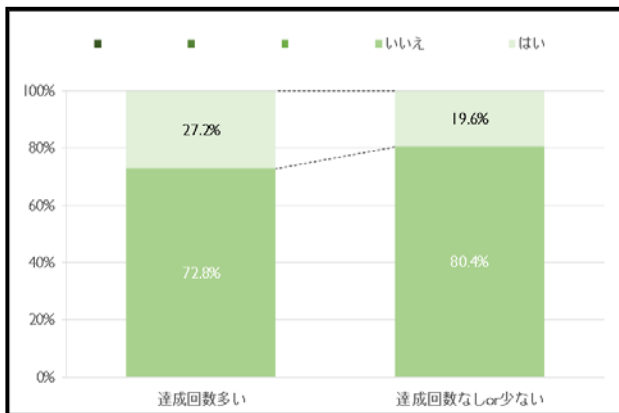
①検診受診率向上対策として2014年度より郵送がん検診(胃、大腸、肺、子宮)開始。
 ⇒受診率向上に繋がった。➡ 目標の50%に向けての対策強化、受診後要精密検査判定者の再検査受診勧奨も必要。

がん検診後のフォロー

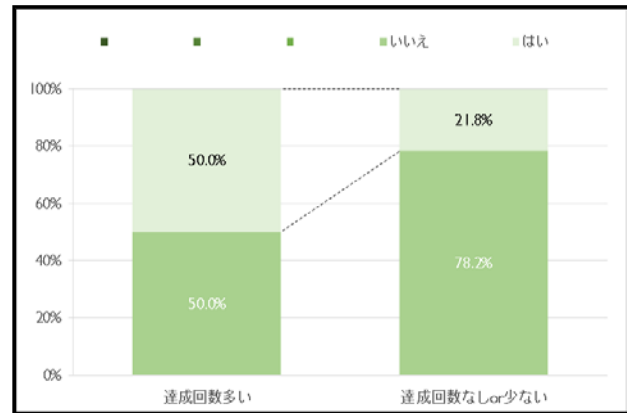


保健指導希望の有無と達成回数

達成回数 1回

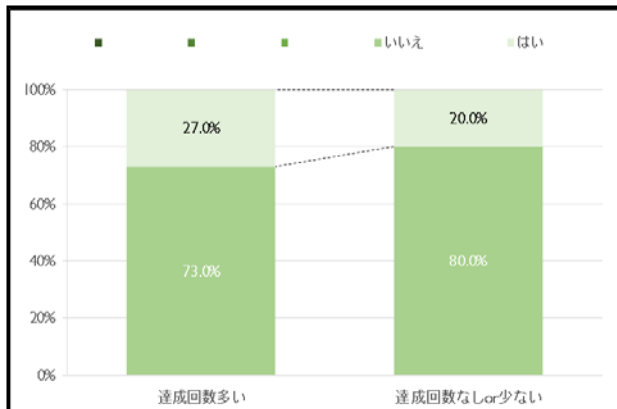


達成回数 12回

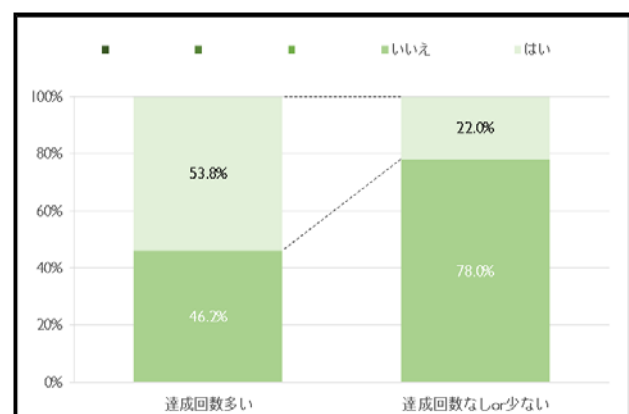


三十分以上の運動習慣と達成回数

達成回数 1回

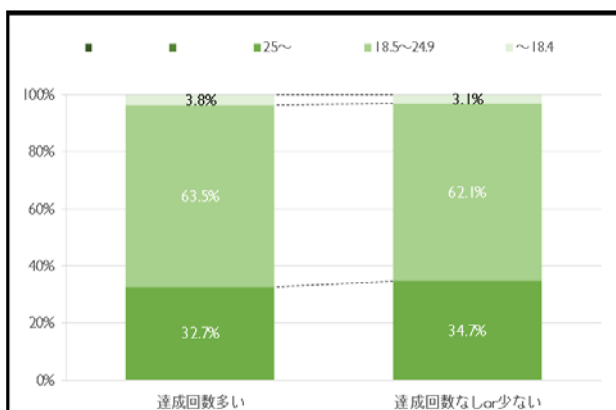


達成回数 12回

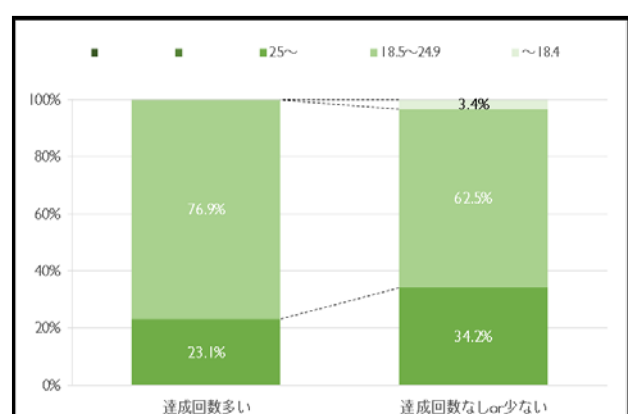


BMIと達成回数

達成回数 1回



達成回数 12回



☆被保険者の健康診断時間診項目と、アイチ健歩活動期間内達成回数(全12回)の関係。

・達成回数が多い群ほど、肥満者も少なく、健康意識も高い事がわかった。

①アイチ健歩会員募集促進。

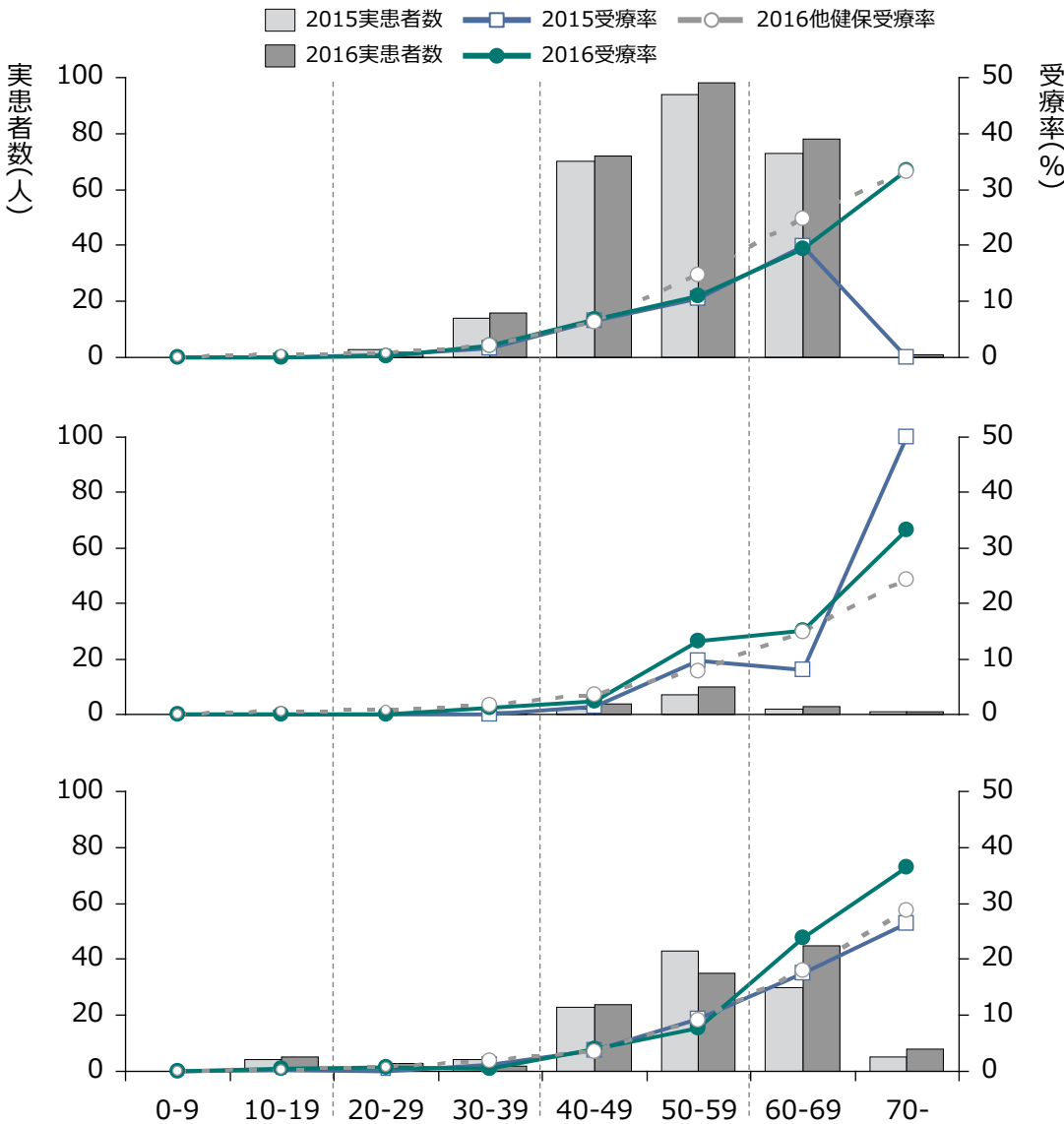
②PepUp登録促進。

⇒事業所と協力し、加入の勧奨、日ごろから自身の健康状態に関心を持てる環境、情報の提供。

男性被保険者

女性被保険者

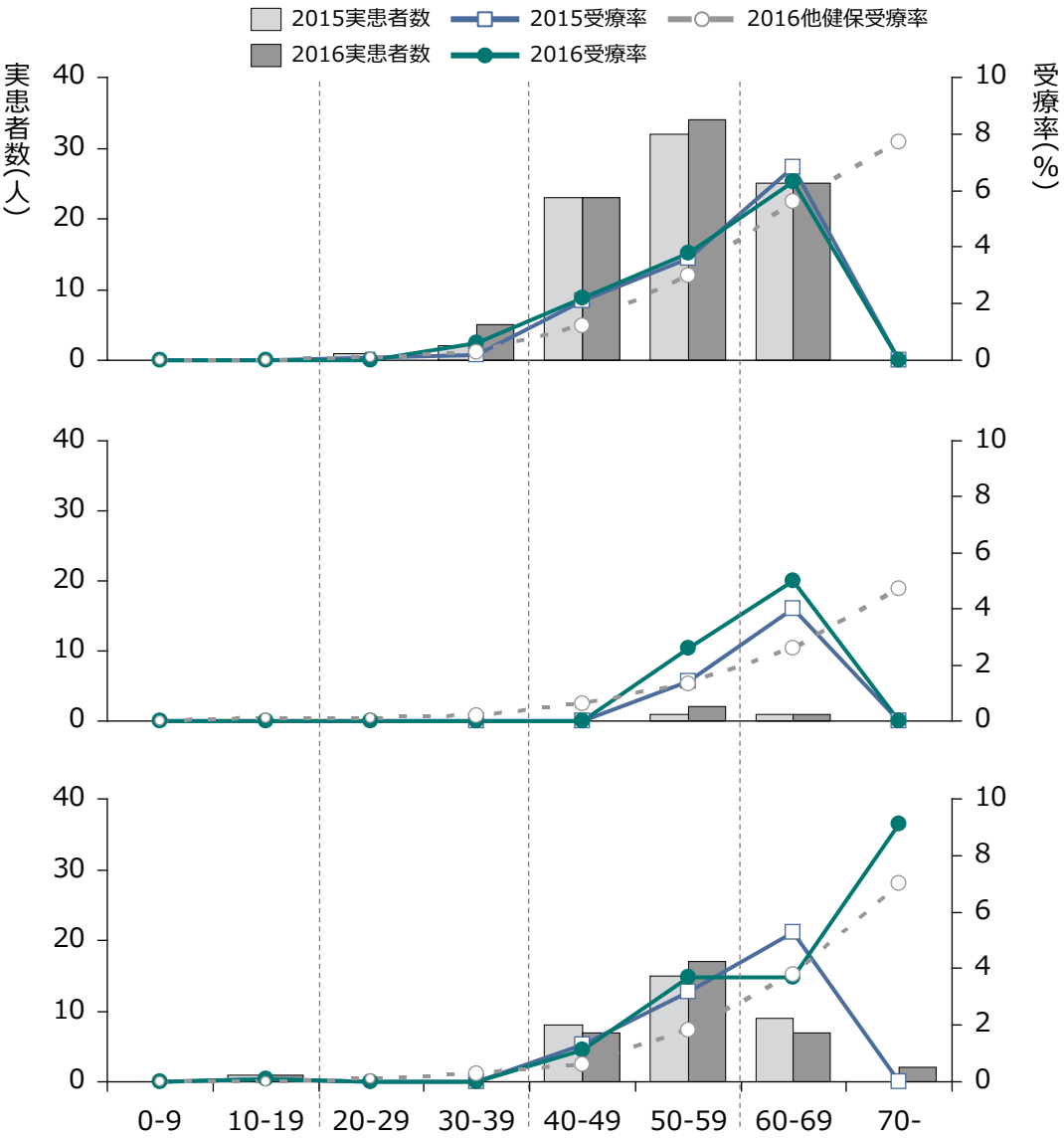
被扶養者



男性被保険者

女性被保険者

被扶養者



コラボヘルスマーケティング(CHM)の開催について

改定2回 2018年 2月21日

2017年10月27日

愛知製鋼(株)人事部健康推進室

愛知製鋼健康保険組合

愛知製鋼労働組合

1. 目標

アイチグループ社員、被保険者、被扶養者の健康度の向上

- ↓
- (1)「健康経営」の実践、企業利益・価値の向上、労働損失日数の低減……健康推進室
 - (2)国民皆保険制度の維持、医療費低減、財政の健全化、サービス向上……健康保険組合
 - (3)人に優しい労働環境の整備・実現、組合員および家族の満足度向上……労働組合

2. 目的

「1. 目標」の実現のために、事業主(健康推進室)、健康保険組合、労働組合が、それぞれの**活動、課題を共有し、協同して問題の解決を図る**制度、施策を企画・立案、実行する。

また、連携を蜜にすることにより、モレ・ヌケ、ダブリ等の**不効率を回避**するとともに、各部門が保有する得意分野(人・物・金・スキル)を**有効活用**する。

- 【得意分野】
- 健康推進室……組織を動かす強制力、メンタルヘルスケア、医学的知見
 - 健康保険組合……保健指導力、医療費データ分析、被扶養者情報
 - 労働組合……情報収集力、個別問題解決力、方針・方策の展開周知力

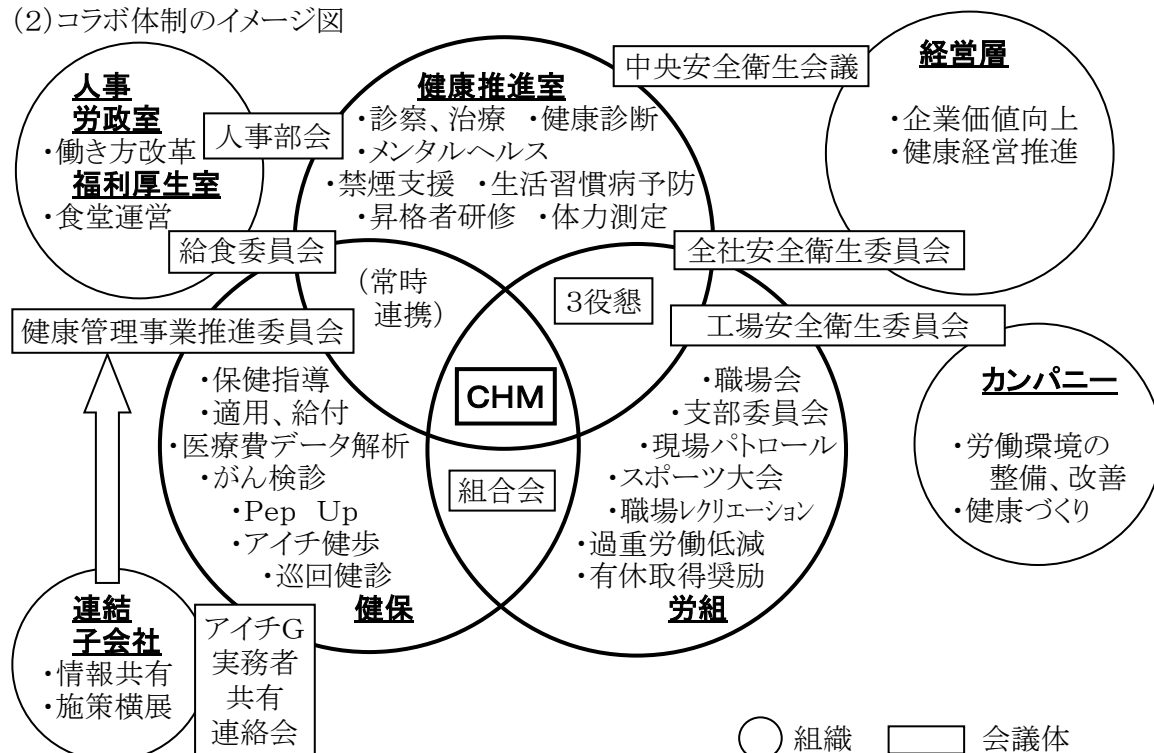
3. 実施事項

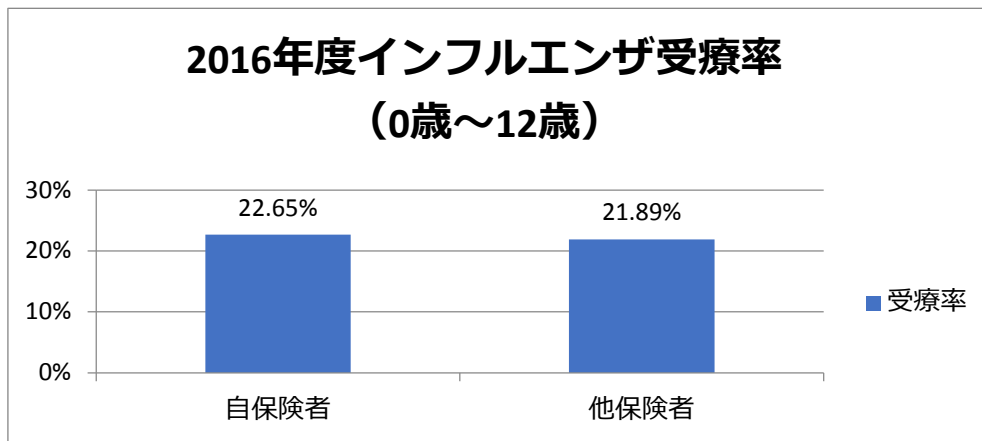
(1)コラボヘルスマーケティング(CHM)の定期開催

- ①実施時期・頻度 毎週1回 金曜日 10:00～11:00 原則1時間
 - ②場所 アスカム内ミーティングルーム
 - ③参加メンバー
 - 健康推進室 永井 阿部
 - 健康保険組合 渡邊 鈴木 茂木 野村
 - 労働組合 片山

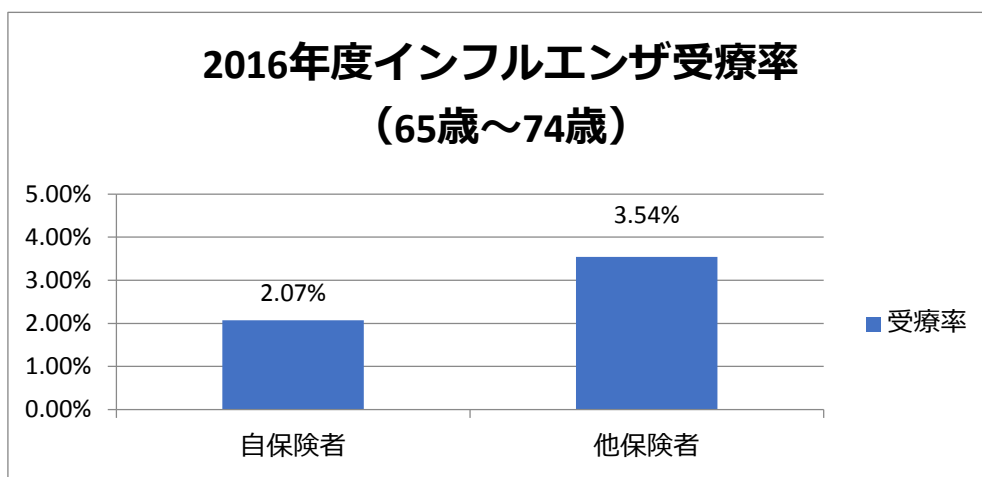
(敬称略)
 - ④内容
 - ・今週の実績報告 → 助言、アドバイス → 反省 → 次回計画への反映
 - ・今後の実施施策の説明 → 依頼・要請と調整、助言 → 計画への織り込み
 - ・その他「健康」に関わる情報提供、情報共有、意見具申
 - ⑤配布資料 原則、既存資料を持ち寄って議論する。会議のための資料作成は行わない。
 - ⑥その他 進行(渡邊)、欠席時代行(①永井②鈴木③阿部)。全員揃わなくても開催する。
- ※他の室員・職員は任意参加。ニーズの有無で判断。

(2)コラボ体制のイメージ図

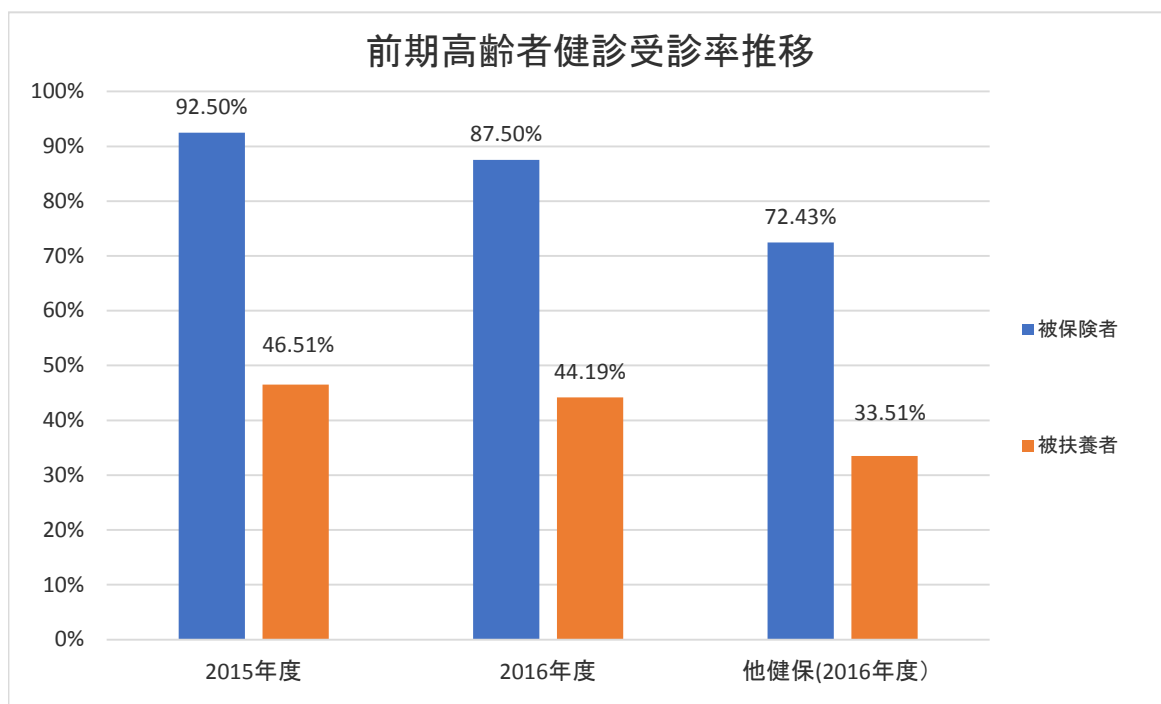




他健保と比べて同じくらい。



他健保と比べて少ない。



他健保と比較すると受診率高いが、まだまだ改善の余地あり。
けんぽだより、健保ホームページ、健診お知らせ通知時に工夫。健診受診の必要性周知。
⇒疾病の予防、重症化予防、医療費の低減へつなげる。
目標：被保険者 95%以上、被扶養者 50%以上。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	【健診】 被扶養者の特定健診の受診率が低い	➡	受診率向上策の推進。委託業者による受診勧奨の強化、受診しやすい環境づくり。事業主との協業も含めて展開する。	✓
2	オ	【特定保健指導】 特定保健指導の実施率が低い。（単一健保の目標値55%未満）	➡	実施率向上策の推進 ①対象者選定方法の見直し ②事業主との協業による職制を活用した意識改革 【中間追加】 ③委託・内製の見直し・高血糖者向けコースの追加	✓
3	カ	【若年者対策：節目教育 25歳、30歳、35歳セミナー】 40歳到達時には健康状態が悪化が進行しているケースが散見される	➡	健康意識向上策の推進 ①若年層へ「自身の健康」を意識できる環境を整備 ②イベント、情報提供による啓発活動を強化 ③ICTの積極的活用 ④節目教育（25歳、35歳セミナー実施 ※R1より30歳セミナー追加） ⑤血液検査 全年齢実施	✓
4	ウ、ソ	【がん検診】 一次検診受診率が低い。 二次検診(有所見者の精密検査)の受診率が低い。	➡	一次検診受診率向上策 ①段階的に義務化へ移行 胃検診（30歳以上）⇒30歳義務化 大腸がん検診（35歳以上）⇒35歳義務化 【中間追加】 二次検診受診率向上策 5 大がん（胃・大腸・肺・乳・子宮）の二次検診個別受診勧奨の実施	✓
5	カ、キ、ク、ケ	【重症化予防】 高リスク者（未治療・アンコントロール等）への個別重症化予防が不十分。	➡	①当組合独自基準により対象者選定、手あげ制で教室を実施 ②リスク度の高い層へ業者(医療専門チーム)によるICTを活用した個別指導を実施 【中間追加】 ③内製で個別指導実施	✓
6	シ、ツ	【コラボヘルス】 事業主の健康推進部門と健保組合がバラバラに健康施策を実施しており、協業できていない。	➡	まずは母体事業主とコラボヘルスの体制を構築。 定期的なミーティングの機会を設けて、重複してる事業の廃止や不足している事業の補充を整理・検討。	✓
7	ス、ト	【前期高齢者対策】 前期高齢者の医療費の増加に伴い、納付金の負担が健保財政を圧迫している。	➡	前期高齢者医療費低減活動の再開。 家庭訪問事業の再開により、①重複受診②健診未受診者には健診受診促し③疾病の早期発・見早期治療による重症化の防止等すすめていく。	✓
8	エ	【歯科対策】 歯科医療費は被扶養者5歳から9歳と40代後半～50代前半の男性被保険者が高い。 歯周病は生活習慣病の入り口、悪化要因。	➡	定期的な歯科受診のきっかけとすべく、健診受診者増を図る。 【中間追加】 一定期間の歯科未受診者を対象に歯科クリニックでの歯科健診無料受診券を発送する。	

9	タ	【アイチ健歩活動】 運動習慣の定着化、健康意識の向上を図る。	➡	母体事業所における活動の定着、活動が低調な関連事業所への加入者増のためのPR活動実施 【中間追加】 関連事業所訪問の実施。ウェブの個人ログイン化(Pepup)への加入登録推進と共にアイチ健歩活動への参加者増を図る。	✓
10	タ	【ウェブの個人ログイン化】 ジェネリック薬品利用促進、アイチ健保活動とともに加入進める。健康意識の向上を図る。	➡	PepUp (ICT) を活用した個人情報閲覧システム導入（健診データ、医療費データ、ジェネリック薬品利用促進通知、アイチ健歩活動（歩数計との連動）保健事業参加状況等）被保険者から導入。 【中間追加】 ポイントインセンティブを付与するイベントの充実により加入登録推進を図る。	✓
11	チ	【高血糖者対策 プチっとセミナー】 2型糖尿病の医療費が高い。患者数は男性被保険者に多い。40代～上昇。30代以下においても一定数存在。	➡	HbA1c 6.5以上の被保険者（左記該当者の妻）、被保険者女性本人、被扶養者の女性。女性限定のセミナー。 食事、生活面で役割の大きい女性へセミナーの機会を提供。重症化の予防へつなげる。 【中間追加】 R1年度より、被保険者の特定保健指導該当者のうち、高血糖者専用コースとして同セミナーを増設。	✓
12	ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク, ケ, コ, サ, ス, タ, チ, テ	【データの分析事業】 全体、各事業所ごと、被扶養者、被保険者ごとのデータ解析ができていない。 傾向把握、保健指導、教室等実施後のデータ解析もできていない。	➡	見える化の推進 JMDCの分析ツール使用し、健診データ、医療費データを分析を。数字を出し、事業の評価、内容の見直しへ生かしていく。 社員と接する事の多い常勤の専門職（看護師、保健師等）や、各社の保健事業担当者、また教室や面談を委託している委託業者の専門職の感触等も聞き、数字と併せて傾向把握、次年度の対策を立てる。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	〔加入状況①〕 加入者8千人程度の中規模の健康保険組合。全体の7割が母体企業の加入者。	➡	まずは母体事業所とのコラボヘルスの事例づくりをすすめ、他の関連事業所へ横展開する。関連事業所でも、事業所独自に実施できている事、できていないことをそれぞれ明確にしていく。
2	〔加入状況②〕 加入者構成は、40代前半～50代前半が多い。若年では10代が多い。	➡	加入者構成は40代前半～50代前半が多い。若年では10代が多い。 【中間追加】 中高年層が多い＝生活習慣病関連疾患の発症好発の年代が多い。
3	〔被保険者〕 事務職、工場交代勤務者（運転、機械操作など）職種は様々。 女性少ない。	➡	事務職、工場交代勤務者（運転、機械操作など）職種は様々。 女性少ない。 【中間追加】 職業毎の特徴を踏まえた支援が必要。
4	〔被扶養者〕 40代～50代の女性が多い。	➡	40代～50代の女性が多い。

5	〔医療系スタッフの構成〕 健保組合には保健師1名が常勤。R1年度よりパート保健師1名増員。産業医はいない。母体企業の産業医が12事業所（R2年度より11事業所）のうち4事業所の産業医を兼務している。 医療従事者は母体企業のみ在勤。（産業医1名、看護師常勤3名（うち母体診療所2名、メンタル担当1名）臨床心理士1名（メンタル担当）看護師パート1名（遠隔診療所））	➡	〔母体〕 医療従事者同士で比較的連携のとりやすい状況であるため、母体企業とのコラボ体制へ組み入れる。 肥満者率がトヨタグループ17社中ワースト1。肥満者低減に向けての対策を提案する。（コラボヘルス促進） 〔関連事業所〕 母体以外の8事業所に関しては、有所見者に対する会社としての体制を確認、産業医がいる事業所に関しては産業医との連携状況を確認し、有所見者への対策の構築をする。
---	---	---	---

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	〔重症化予防〕 重症化予防として特別保健指導、ぷちっとセミナー等の集団指導は実施してきているが、個別の重傷者への介入ができていない。	➡	・個別重症化予防事業導入し、重症化の防止をはかる。 全健保加入者のなかから重症度が高い方を選定。
2	〔データ分析〕 ・全体、各事業所ごと、被扶養者、被保険者ごとのデータ解析ができていない。 ・傾向把握、保健指導、教室等実施後のデータ解析もできていない。	➡	・JMD Cの分析ツール使用し、数字を出していく。 対象者と接する事の多い内部の専門職、教室や面談委託している業者の専門職の感触をききとり、数字を併せて対策を立てる。
3	〔健康に対する意識〕 ・被扶養者の健診受診率が低い。 ・40歳時点で既に健診データ有所見者多数。 ⇒全体的に健康管理、健康意識が低い。 【中間追加】 ・健診（検診）有所見後の未受診者も多い。	➡	・周知方法、内容の検討。 ①機関誌、ホームページ、個人ウェブページの活用。 ②各社担当者、職制の活用。 【中間追加】 ③②強化。理解活動。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

一人当たりの医療費の抑制、重症化防止、健康意識の向上を目的とする。

加入者ひとりひとりが若年時より「自ら健康に気をつけ、疾病を予防し、元気に働ける事、生活していける事」を促し、そのための仕組みづくりをすすめ、健康寿命の延伸へつなげる。

事業全体の目標

①健診（検診）受診率上昇

②保健指導受講率上昇

③健診（検診）要精密検査判定者の未受診ゼロ

④疾病罹患率の減少

⑤医療費低減

事業の一覧	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	★前期高齢者家庭訪問指導
保健指導宣伝	★データの分析事業
疾病予防	★後発医薬品利用促進通知
疾病予防	子供インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	高齢者インフルエンザ予防接種補助
その他	心身の保養（職場内・家族間コミュニケーション向上によるメンタル予防）
個別の事業	
特定健康診査事業	★特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	★特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	★特定保健指導
保健指導宣伝	★PepUp登録者率
疾病予防	★各種がん検診
疾病予防	★ファミリー歯科検診
疾病予防	歯科対策（2021新規）
疾病予防	★生活習慣病重症化予防（特別保健指導）
疾病予防	★生活習慣病重症化予防（IOTを活用した個別指導）
疾病予防	重症化予防（個別の保健指導2020新規）
疾病予防	★家族健康セミナー（ぶちっとセミナー）
疾病予防	★節目教育(25歳セミナー)
疾病予防	★節目教育（30歳セミナー）2019新規
疾病予防	★節目教育(35歳セミナー)
体育奨励	★アイチ健歩事業
予算措置なし	被保険者対象 コラボ事業（定期健診時実施：BMI面談）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導 宣伝	3,4,5,6,7	既存	★前期高齢者 家庭訪問指導	全て	男女	65～74	基準該当者	1	イ,ウ,オ,キ,ク	健保で対象者を選定。ご案内。手あげ制。	キ,ケ,ス	ベネフィットワンヘルスケアへ委託	660	660	-	-	-	-	前期高齢者の自宅を訪問し、（疾病の早期発見・早期治療、受診勧奨、重複受診等）健康相談、健康指導実施。重症化防止。	【前期高齢者対策】 前期高齢者の医療費の増加に伴い、納付金の負担が健保財政を圧迫している。
	訪問実施人数(【実績値】3人 【目標値】平成30年度：15人 令和元年度：15人 令和2年度：20人 令和3年度：20人 令和4年度：20人 令和5年度：20人)前期高齢者の自宅を訪問し、（疾病の早期発見・早期治療、受診勧奨、重複受診等）健康相談、健康指導実施。重症化防止。 ※27年度より委託業者撤退し、一時的に中止していたが、29年度より再開。												健診受診率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)実施者の健診受診率。							
	1,2,3,4,5,6,7,8	新規	★データの分析事業	全て	男女	0～74	加入者全員、被保険者、被扶養者、基準該当者	1	イ,ウ,エ,オ,キ,ケ,シ,ス	J M D C の分析システムを使用し、健診データ、レセプトデータより傾向把握。保健事業の評価組み立てに活かしていく。各種保健事業の効果検証実施。	ア,イ,ウス	J M D C へ委託。	1,356	1,356	-	-	-	-	J M D C の分析システム使用し、健診データ、レセプトデータより傾向把握。保健事業の評価組み立てに活かしていく。	【データの分析事業】 全体、各事業所ごと、被扶養者、被保険者ごとのデータ解析ができていない。 傾向把握、保健指導、教室等実施後のデータ解析もできていない。
保健事業評価(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)保健事業すべての効果検証を行なう。												各事業で評価を行なうため。 (アウトカムは設定されていません)								
疾病予防	2,7	新規	★後発医薬品 利用促進通知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ,キ,ス	通知対象者の抽出 通知書を送付 ウェブの個人ページで閲覧	ス	通知書とウェブ：J M D C	181	181	-	-	-	-	H29年12月75.18% H30年度80%越えるように。（厚労省H32年9月目標80%）	【ウェブの個人ログイン化】 ジェネリック薬品利用促進、アイチ健保活動とともに加入進める。 健康意識の向上を図る。
	通知発送率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												数量割合・切替率(【実績値】74% 【目標値】平成30年度：76% 令和元年度：76% 令和2年度：80% 令和3年度：85% 令和4年度：85% 令和5年度：90%)-							
	2,8	既存	子供インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～12	被扶養者	1	ス	対象は小学生まで。 実施時期：10月～1月 自己負担金：2000円を超える額	ス	提携医院あり。対象者へのご案内書類、健保ホームページ等で周知。	1,500	1,500	-	-	-	-	インフルエンザ罹患による重症化予防。継続実施。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	接種者数(【実績値】648人 【目標値】平成30年度：750人 令和元年度：750人 令和2年度：750人 令和3年度：750人 令和4年度：750人 令和5年度：750人)29年度 648人 接種率53.1%												成果を求める事業ではないため、アウトカムの設定なし (アウトカムは設定されていません)							
その他	8	既存	高齢者インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	65～74	基準該当者	1	ス	対象は65歳以上。 実施時期：10月～1月 自己負担金：2000円を超える額	ス	対象者へのご案内書類、健保ホームページ等で周知。	32	32	-	-	-	-	インフルエンザ罹患による重症化予防。継続実施。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	実施者数(【実績値】15人 【目標値】平成30年度：30人 令和元年度：30人 令和2年度：30人 令和3年度：40人 令和4年度：45人 令和5年度：50人)29年度 15名実施 接種率30.6%												成果を求める事業ではないためアウトカムの設定なし。 (アウトカムは設定されていません)							
	5,8	新規	心身の保養（職場内・家族間コミュニケーション向上によるメンタル予防）	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	ス	会員制保養所を年間で法人契約。加入者が安価で宿泊できるように提供している。	ス	会員制保養所を年間で法人契約。	-	-	-	2,700	2,700	2,700	イキイキとした職場環境・家庭環境・仲間関係の醸成。（こころの健康づくり、メンタル予防）	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
利用人数(【実績値】756人 【目標値】平成30年度：-人 令和元年度：840人 令和2年度：-人 令和3年度：400人 令和4年度：500人 令和5年度：600人)新型コロナウイルス感染拡大により、R2年度は利用者激減。withコロナ様式の生活が根付いてきているが、変異ウィルス感染拡大の懸念もあり、利用はコロナ以前よりは減る見込み。R2年度実績見込み372人。												成果を求める事業ではないため (アウトカムは設定されていません) (アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康 診査事業	3	既存	★特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,ウ,エ,シ	事業所ごとに周知。	ア,イ,ウ,キ	母体と東海圏内の関連事業所：愛知県健康づくり振興事業団へ委託。 他遠隔事業所：3社と契約あり。	7,240	7,240	-	-	-	-	受診率100%。海外出張で未受診、任意継続被保険者の受診率向上。 事業主とのコラボを進め、職制を利用した健康意識改革。まずは被保険者の意識を高めていく。	【健診】 被扶養者の特定健診の受診率が低い
	事業所実施の定期健康診断にて実施。 法定外 ①心電図：25歳、35～34歳、39歳 ②血液検査：25～34歳、36～39歳 ③眼底：40歳以上対象 ④C型肝炎：30歳 ⑤前立腺がん：50,55,60歳												事業所実施の定期健康診断にて実施。 ※以下の法定外検診も併せて実施。 ①心電図：36～39歳 ②血液検査：19～34歳、36～39歳 ③眼底：40歳以上対象 ④C型肝炎：30歳 ⑤前立腺がん：50,55,60歳							
	継続 【中間追加】 R1年度より、全事業所を対象に若年層の血液検査を追加。												継続 【中間追加】 R1年度より、全事業所を対象に若年層の血液検査を追加。							
	継続 【中間追加】 R1年度より、全事業所を対象に若年層の血液検査を追加。												継続 【中間追加】 R1年度より、全事業所を対象に若年層の血液検査を追加。							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
													実施計画									
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				

アウトプット指標													アウトカム指標												
健診受診率(【実績値】97% 【目標値】平成30年度：98% 令和元年度：98% 令和2年度：98% 令和3年度：99% 令和4年度：99% 令和5年度：100%)H28年度 受診率：95%													精密検査受診勧奨率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)健診結果票は受診者全員へ送付。												
3,4	既存 (法定)	★特定健診 (被扶養者)	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者	1	イ,ウ,シ	被扶養者へご案内書類送付。	キ	全豊田地域巡回健診、他	3,552	3,552	-	-	-	-	事業主とのコラボを進め、職制を利用した健康意識改革。まずは被保険者の意識を高めていく。	【健診】被扶養者の特定健診の受診率が低い						
健診受診率(【実績値】48% 【目標値】平成30年度：55% 令和元年度：55% 令和2年度：65% 令和3年度：55% 令和4年度：55% 令和5年度：60%)H28年度 受診率：45% R1コロナウィルス感染拡大による受診控え傾向あり。													精密検査受診勧奨率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：30% 令和元年度：100% 令和2年度：40% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)健診結果結果票は受診者全員へ送付。												

特定保健指導事業	1,3,4	既存 (法定)	★特定保健指導	全て	男女	40 ～ 74	被保険者,被扶養者,基準該当者	3	オ,シ	健診結果から特定保健指導階層に従い、健保で選定。	ア,イ,ウ,キ,コ	母体：愛知県健康づくり振興事業団、株式会社ケーシップへ委託 母体の遠隔事業所：SOMPOヘルスサポート株式会社 関連事業所：健保の保健師で内製にて実施	8,359	8,359	-	-	-	-	事業主とのコラボを進め、職制を利用した健康意識改革。まずは被保険者の意識を高めていく。	【特定保健指導】特定保健指導の実施率が低い。（単一健保の目標値55%未満）
	保健指導実施率(【実績値】33.3% 【目標値】平成30年度：40% 令和元年度：40% 令和2年度：50% 令和3年度：50% 令和4年度：53% 令和5年度：55%) H27年度：対象者募集方法を見直し（アイチ流で募集）5.9% H28年度：対象者選定方法を厚労省基準に改定。実施率13% 母体対象者：個別支援・集団支援、1か月後に運動支援有無のカスタム型の体制で実施。 H29年度：実施率33.3% ★新規施策：健保保健師による職場の職制への受講依頼を実施。 母体対象者：個別支援・集団支援、1か月後に運動支援有無のカスタム型の体制で実施。 ★新規施策：40歳時点での基準該当者には必須受講者としてご案内を開始。 H30年度：実施率31% 母体対象者：個別支援、集団支援選択制で実施。 R1年度：実施率（R2年度 6月末現在 45%） ★新規施策：①母体の対象者は個別支援・集団支援の選択制度を廃止。 ②株式会社ケーシップによる高血糖者向けコース増設。 ⇒集団支援のみの募集へ変更。 ③母体の人事部へかけあい、基準該当者へ参加いただけるように強制力依頼。 併せて関連事業所の保健事業担当者にも同基準でヨコテン実施。 ④母体地区近隣の関連事業所対象者：母体の対象者と同様のルールとし、40歳時点での基準該当者は必須受講とした。 また、高血糖者も専用コースへご案内し、母体社員と一緒に受講。 ⑤健保の保健師実施の内製導入。母体地区周辺の近隣の関連事業所、母体社員のうち、業務都合で集団支援に参加できなかった者を担当。												対象者の改善率(【実績値】15.4% 【目標値】平成30年度：25% 令和元年度：25% 令和2年度：35% 令和3年度：50% 令和4年度：50% 令和5年度：55%)指導実施者の健診データ改善率（目標50%以上） 実施者の積極的⇒動機付け又は情報提供へ							

保健指導宣伝	1,2,8	既存	★PepUp登録者率	全て	男女	0 ～ 74	被保険者	1	ア,エ,キ,シ	各社へ協力依頼し、加入すすめる。	ア,ス	JMDCへ委託。	2,187	2,187	-	-	-	-	被保険者の健康意識の向上を促進。	【ウェブの個人ログイン化】ジェネリック薬品利用促進、アイチ健保活動とともに加入進める。健康意識の向上を図る。
	保健指導（個別、教室）新入社員教育等の際に周知。未登録の方にご案内。 各事業所担当者と連携し、被保険者の加入登録促進、被扶養者へ順次拡大。												保健指導（個別、教室）新入社員教育等の際に周知。未登録の方にご案内。 各事業所担当者と連携し、被保険者の加入登録促進、被扶養者へ順次拡大。	継続	継続 【中間追加】 アイチ健歩活動と一緒に被保険者の加入登録を促進。 各事業所担当者と連携し、事業所へ訪問し、登録促進を依頼。年間イベント（健康クイズ、体重測定チャレンジ、健診値改善チャレンジ）を提供し、被保険者の健康意識の向上を促進する。	継続 【中間追加】 アイチ健歩活動と一緒に被保険者の加入登録を促進。 各事業所担当者と連携し、事業所へ訪問し、登録促進を依頼。年間イベント（健康クイズ、体重測定チャレンジ、健診値改善チャレンジ）を提供し、被保険者の健康意識の向上を促進する。	継続 【中間追加】 アイチ健歩活動と一緒に被保険者の加入登録を促進。 各事業所担当者と連携し、事業所へ訪問し、登録促進を依頼。年間イベント（健康クイズ、体重測定チャレンジ、健診値改善チャレンジ）を提供し、被保険者の健康意識の向上を促進する。			
	登録者率(【実績値】30% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：70% 令和3年度：70% 令和4年度：70% 令和5年度：75%)登録の促進												改善意欲なし者比率(【実績値】14.2% 【目標値】平成30年度：14% 令和元年度：14% 令和2年度：12% 令和3年度：15% 令和4年度：15% 令和5年度：15%)翌年の健診の問診項目で、登録者の生活習慣改善意欲 21、改善意欲「つもりなし」の割合の減少。H29年度は14.2%。							
	-												健診値改善チャレンジ（健康年齢）目標達成者率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：73% 令和4年度：75% 令和5年度：75%)健診値改善チャレンジ：健診を受けた登録者が対象。健康年齢が前年度より改善していた者が対象。健康年齢前年比1歳未満。 2020年12月登録者：2278名 目標達成者：1617名 71%							
	-												体重測定チャレンジ目標達成者率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：75% 令和4年度：75% 令和5年度：80%)体重測定チャレンジ：期間中に参加した登録者が対象。2020年度参加者：294名 目標達成者：210名 71%							
-												健康クイズ目標達成者率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：80% 令和4年度：80% 令和5年度：80%)健康クイズ：期間中に参加した登録者が対象。2020年度参加者：274名 目標達成者：204名 74%								
													11,087	11,087	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度	令和5年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
疾病 予防	2,3	既存	★各種がん検診	全て	男女	30～74	加入者全員,被保険者,被扶養者	1	イ,ウ	【被保険者】 ①胃：30歳節目実施義務化。31歳以上希望者 ②大腸：35歳節目実施義務化。36歳以上希望者 ③乳：女性の希望者。 ④子宮：女性の希望者。 【被扶養者】 ①胃：30歳以上希望者 ②大腸：35歳以上希望者 ③乳：女性30歳以上希望者。 ④子宮：女性30歳以上希望者。 ※4月～11月までで受診記録のない方へ郵送がん検診受診案内。（H26年度より2段構えて実施。） H28年度より40歳以上加入者全員対象で肺がん検診ご案内追加。	ア,イ,ウ,キ,コ,ス	【被保険者】 ①②定期健診時に実施。 ③④全豊田地域巡回健診時又は定期健診時に実施。 【被扶養者】 ①～④あまの創健全豊田地域巡回健診、人間ドック等で実施。	①検診受診率向上（目標50%）に向けて ☆普及、啓発活動（事業所との連携、機関誌「けんぽだより」、健保HP、ポスター、パンフレット等） ②要精検者の精検受診率向上 ☆目標：3ヶ月以内に100%受診、未受診者：0%	①検診受診率向上（目標50%）に向けて ☆普及、啓発活動（事業所との連携、機関誌「けんぽだより」、健保HP、ポスター、パンフレット等） ②要精検者の精検受診率向上 ☆目標：3ヶ月以内に100%受診、未受診者：0%	継続	①健診受診率向上（目標50%以上） ☆普及啓発（事業所との連携、機関誌「けんぽだより」健保HP掲載、ポスター、パンフレット等） 【中間追加】 ②要精密検査者の精密検査受診向上 ①とセットで周知。「受けたら確認、有所見なら病院受診」までが一連であることを普及啓発に入れる。 ③「5大がん」を中心に、3か月毎にレセプト確認。未受診者には保健師が個別に介入。（手紙・電話等）	①健診受診率向上（目標50%以上） ☆普及啓発（事業所との連携、機関誌「けんぽだより」健保HP掲載、ポスター、パンフレット等） 【中間追加】 ②要精密検査者の精密検査受診向上 ①とセットで周知。「受けたら確認、有所見なら病院受診」までが一連であることを普及啓発に入れる。 ③「5大がん」を中心に、3か月毎にレセプト確認。未受診者には保健師が個別に介入。（手紙・電話等）	①健診受診率向上（目標50%以上） ☆普及啓発（事業所との連携、機関誌「けんぽだより」健保HP掲載、ポスター、パンフレット等） 【中間追加】 ②要精密検査者の精密検査受診向上 ①とセットで周知。「受けたら確認、有所見なら病院受診」までが一連であることを普及啓発に入れる。	早期発見早期治療による医療費抑制、加入者のQOL維持	【がん検診】 一次検診受診率が低い。 二次検診(有所見者の精密検査)の受診率が低い。	
	検診受診率(【実績値】33.4% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：50% 令和3年度：50% 令和4年度：50% 令和5年度：50%)【検診受診率向上策】 被保険者：節目年齢での受診義務化（胃30歳 大腸35歳）												精密検査受診率(【実績値】63% 【目標値】平成30年度：75% 令和元年度：75% 令和2年度：95% 令和3年度：95% 令和4年度：95% 令和5年度：95%)早期発見早期治療による医療費抑制、加入者のQOL維持 受診者数181名 有所見者数289名 63%								
	-												精密検査受診勧奨率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診者全員へ結果の通知								
	-												未受診者率の低減（5大がん）(【実績値】29% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：25% 令和4年度：20% 令和5年度：15%)【中間追加】 胃、大腸、肺、乳、子宮の「5大がん」の有所見者の要精密検査判定者の精密検査未受診者率の低減。 H29：被保：22% 被扶養者：41% 計：29% H30：被保：34% 被扶養者：23% 計：30% R1：被保：22% 被扶養者：37% 計：28%								
	2,4,8	既存（法定）	★ファミリー歯科検診	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	1	イ,ウ,シ	本人、家族の希望者。	ア,キ	株式会社あまの創健へ委託。	年2回希望者に実施	年2回希望者に実施	継続	継続	継続	継続	意識付け	【歯科対策】 歯科医療費は被扶養者5歳から9歳と40代後半～50代前半の男性被保険者が高い。 歯周病は生活習慣病の入り口、悪化要因。	
受診率(【実績値】1.07% 【目標値】平成30年度：2% 令和元年度：2% 令和2年度：4% 令和3年度：5% 令和4年度：5% 令和5年度：5%)受診の促進												精密検査受診勧奨率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)H30年度より受診勧奨は業者に委託。									
3,4	新規	歯科対策（2021新規）	全て	男女	18～65	基準該当者	1	ウ	①生活習慣病との関係含めた周知をすすめる。個別面談や教室実施時、けんぽ便り、健保HP、ポスター等でPR。 ②レセプトから一定期間歯科未受診者を洗い出し、愛知県歯科医師会加盟の歯科クリニックで受診可能な無料歯科健診を案内する。	ス	愛知県歯科医師会との契約	-	-	-	-	-	-	生活習慣病予防・悪化防止。医療費低減。	【歯科対策】 歯科医療費は被扶養者5歳から9歳と40代後半～50代前半の男性被保険者が高い。 歯周病は生活習慣病の入り口、悪化要因。		
受診券配付率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)未受診者＝受診券配付対象者。												受診率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：30% 令和4年度：30% 令和5年度：30%)-									
2,4	既存	★生活習慣病重症化予防（特別保健指導）	一部の事業所	男女	40～64	被保険者,基準該当者	1	オ	生活習慣病発症者、その予備軍に対し、実施。	ア,イ,ウ	あいち健康の森へ委託。	538	愛知製鋼健康保険組合独自の階層方法により、対象者選定。 （生活習慣病関連項目を数値化、A～Eまでランク付け。D、Eランクで同年度に保健指導参加のない方にご案内。手あげ制） 1日参加型教室（採血、運動、食事、改善計画）3か月間個々の計画に沿って取り組み実施。その間に通信指導2回あり。3カ月後に振り返り教室（半日）あり。3ヶ月間の取り組みを振り返り、次回の健診（約3か月後）に向けての計画修正。	538	-	-	-	-	生活習慣病の重症化予防。QOLの維持、向上。	【重症化予防】 高リスク者（未治療・アンコントロール等）への個別重症化予防が不十分。	
参加率(【実績値】12.5% 【目標値】平成30年度：25% 令和元年度：25% 令和2年度：35% 令和3年度：25% 令和4年度：25% 令和5年度：30%)委託先の禁忌要件、内製で実施している他の保健指導、重症化予防との兼ね合いを踏まえてご案内。 R2年度はコロナウィルス感染拡大により中止。												改善率(【実績値】38% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：50% 令和3年度：30% 令和4年度：35% 令和5年度：35%)実施者の改善率 健保基準のランクの改善した人数の割合 29年度 参加者37名中追跡できた人34名、うち改善13名、横ばい3名 悪化12名 不明6名									

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画												
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度					
アウトプット指標													アウトカム指標												
2,4,5	新規	★生活習慣病重症化予防（IoTを活用した個別指導）	全て	男女	18～60	基準該当者	1	イ,エ,オ,カ,キ,ク,シ	委託会社（PREVENT）独自の解析方法により、対象者選定。重症移行レベルの高い人を電話にて受講勧奨。 【内容】 スマホにアプリを入れて歩数、塩分濃度、体重を管理。食事、運動習慣、2週間に一度専門職より電話にてアドバイスあり。6ヶ月間取り組む。	ア,イ,ウ,エ,オ,ク,ケ	㈱PREVENTへ委託。	1,000	1,000	-	-	-	-	生活習慣病の重症化予防。ＱＯＬの維持、向上。	【重症化予防】 高リスク者（未治療・アンコントロール等）への個別重症化予防が不十分。						
												委託会社（PREVENT）独自の解析方法により、対象者選定。重症移行レベルの高い人を電話にて受講勧奨。 【内容】 スマホにアプリを入れて歩数、塩分濃度、体重を管理。食事、運動習慣、2週間に一度専門職より電話にてアドバイスあり。6ヶ月間取り組む。	委託会社（PREVENT）独自の解析方法により、対象者選定。重症移行レベルの高い人を電話にて受講勧奨。 【内容】 スマホにアプリを入れて歩数、塩分濃度、体重を管理。食事、運動習慣、2週間に一度専門職より電話にてアドバイスあり。6ヶ月間取り組む。	継続	継続	継続	継続								
指導終了者率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100％ 令和元年度：100％ 令和2年度：100％ 令和3年度：100％ 令和4年度：100％ 令和5年度：100％) 30年度対象者：被保険者 326名 被扶養者 89名 計 415名 参加者：被保険者 10名 被扶養者 9名 計19名。12月末より被扶養者追加募集。＋4名の計23名実施。													改善率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：75％ 令和元年度：75％ 令和2年度：85％ 令和3年度：85％ 令和4年度：90％ 令和5年度：95％)委託会社（㈱PREVENT）のリスク判定階層の改善率。												
4	新規	重症化予防（個別の保健指導2020新規）	全て	男女	20～（上限なし）	被保険者,基準該当者	3	イ,オ,ク	株式会社PREVENTの階層（服薬治療中のアンコントロール者。A～Hランク）のうちHの方に健保保健師が個別指導を実施。事業所の保健事業担当者・産業医と連携して実施。	ア,イ,ウ	対象者に関する見解等を産業医へ相談。日程調整は、事業所担当者へ依頼。	-	-	-	-	-	-	生活習慣病の重症化予防。ＱＯＬの維持、向上。	【重症化予防】 高リスク者（未治療・アンコントロール等）への個別重症化予防が不十分。						
												㈱PREVENTの階層化（服薬治療中のアンコントロール者。A～Hランク）のうちハイリスク層Hの者へ面談・電話で個別に介入。 。事業所の保健事業担当者・産業医と連携し、実施。	㈱PREVENTの階層化（服薬治療中のアンコントロール者。A～Hランク）のうちハイリスク層Hの者へ面談・電話で個別に介入。 。事業所の保健事業担当者・産業医と連携し、実施。	㈱PREVENTの階層化（服薬治療中のアンコントロール者。A～Hランク）のうちハイリスク層Hの者へ面談・電話で個別に介入。 。事業所の保健事業担当者・産業医と連携し、実施。											
実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：60％ 令和4年度：65％ 令和5年度：65％)2020（R2年度）Hランク66名中資格喪失・拒否等で未実施26名。40名実施。実施率60％。													改善率（階層変化）(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：30％ 令和4年度：30％ 令和5年度：30％)PREVENTの階層でH⇒ランクダウンで改善とみる。												
-													改善率（血液データ）(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：30％ 令和4年度：30％ 令和5年度：30％)HbA1c、血圧、eGFRで検証。												
2	既存	★家族健康セミナー（ぶちっとセミナー）	全て	女性	16～74	加入者全員,基準該当者	1	イ,オ,ス	女性限定の集集体験型セミナー。 血糖値6.5以上の被保険者の妻へご案内。 H28年度より対象条件拡大。上記＋女性の被保険者＋被扶養者へご案内。	ウ	ケーシップへ委託	162	162	-	-	-	-	参加の促進（参加率10%以上）	【高血糖者対策 プチっとセミナー】 2型糖尿病の医療費が高い。患者数は男性被保険者に多い。患者数は男性被保険者に多い。40代～上昇。30代以下においても一定数存在。						
												女性限定の集集体験型セミナー。 血糖値6.5以上の被保険者の妻へご案内。 H28年度より対象条件拡大。上記＋女性の被保険者＋被扶養者へご案内。	女性限定の集集体験型セミナー。 血糖値6.5以上の被保険者の妻へご案内。 H28年度より対象条件拡大。上記＋女性の被保険者＋被扶養者へご案内。	継続 【中間追加】 健診受診者が少ないため、対象者も少ない。健診受診率アップ策と一緒にすめる。	継続 【中間追加】 健診受診者が少ないため、対象者も少ない。健診受診率アップ策と一緒にすめる。	継続 【中間追加】 健診受診者が少ないため、対象者も少ない。健診受診率アップ策と一緒にすめる。									
参加率(【実績値】 5.7％ 【目標値】平成30年度：10％ 令和元年度：10％ 令和2年度：10％ 令和3年度：10％ 令和4年度：10％ 令和5年度：10％)参加の促進。													HbA1cの改善率(【実績値】 40％ 【目標値】平成30年度：50％ 令和元年度：50％ 令和2年度：50％ 令和3年度：80％ 令和4年度：80％ 令和5年度：85％)実施者の健康改善 参加者のうち、翌年の健診結果HbA1cが改善した方の割合。 H29年度 受講者の夫（3名）と本人（2名）のHbA1c 前年比0.4%減。うち2名治療開始。												
2,5,8	既存	★節目教育(25歳セミナー)	全て	男女	26～27	被保険者	3	シ	25歳：H27年度より追加導入。満25歳到達者対象。 業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。2年間有効。	ア,イ,ウ,ス	あいち健康の森へ委託。1日体験型（採血、講義、運動、食事）の教室。	719	719	-	-	-	-	若年時からの健康管理、健康意識向上。疾病によるＱＯＬ低下の防止、40歳になった時点での特定保健指導の該当者を減らす事で、高騰傾向の医療費の抑制へつなげる。	【若年者対策：節目教育 25歳、30歳、35歳セミナー】 40歳到達時には健康状態が悪化が進行しているケースが散見される						
												母体：半強制実施で75％⇒強制力強化。 関連：手あげ希望制で70％ ⇒母体に倣って業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。2年間有効とする。	母体：半強制実施で75％⇒強制力強化。 関連：手あげ希望制で70％ ⇒母体に倣って業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。2年間有効とする。	継続 【中間追加】 R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。計画：オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2年度は3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。	継続 【中間追加】 R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。計画：オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2年度3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。	継続 【中間追加】 R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。計画：オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2年度は3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。									
参加率(【実績値】 66.4％ 【目標値】平成30年度：70％ 令和元年度：70％ 令和2年度：80％ 令和3年度：80％ 令和4年度：85％ 令和5年度：85％)参加率の向上 H29年度 対象者：125名 参加者：83名													意識変化(【実績値】 93.4％ 【目標値】平成30年度：95％ 令和元年度：95％ 令和2年度：95％ 令和3年度：95％ 令和4年度：95％ 令和5年度：95％)25歳：アンケート結果の生活習慣改善意欲 実施後アンケート「改善意欲」3.6点 実践中なのでこのまま続ける 健康になる努力が必要だと思う・努力しようと思うでは、93.4％。												
-													特定保健指導判定該当者率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-％ 令和元年度：-％ 令和2年度：-％ 令和3年度：70％ 令和4年度：75％ 令和5年度：80％)40歳到達時には健康状態の悪化が進行しているケースが散見される。 肥満者の増加傾向が27～28歳頃から始まっているため、2015年度（H27）より追加で導入。 意識変化は高いが、改善状況の実際を管理したいため、指標を追加で導入。												
													-	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画									
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
アウトプット指標													アウトカム指標									
	2,5,8	新規	★節目教育（30歳セミナー）2019新規	全て	男女	31～32	被保険者	3	シ	母体：半強制実施。⇒強制力強化。 関連：手あげ希望制。 ⇒業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。参加の権利は2年間有効とする。	ア,イ,ウ,ス	あいち健康の森へ委託。1日体験型（採血、講義、運動、食事）の教室。	-	母体：半強制実施。⇒強制力強化。 関連：手あげ希望制。 ⇒業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。参加の権利は2年間有効とする。	-	継続 【中間追加】 計画：R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。 オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2.3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。	継続 【中間追加】 計画：R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。 オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2.3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。	継続 【中間追加】 計画：R2年度はコロナウィルス感染拡大により延期。 オンラインによるセミナー等、実施方法検討。 評価：R2.3月末時点での被保険者の肥満者率32.7%。肥満者対策のひとつとしたいため、35歳セミナー同様の指標を追加。	若年時からの健康管理、健康意識向上。疾病によるＱＯＬ低下の防止、40歳になった時点での特定保健指導の該当者を減らす事で、高騰傾向の医療費の抑制へつなげる。	【若年者対策：節目教育 25歳、30歳、35歳セミナー】 40歳到達時には健康状態が悪化が進行しているケースが散見される		
参加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：80% 令和2年度：-% 令和3年度：70% 令和4年度：75% 令和5年度：80%)参加率の向上													意識変化(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：80% 令和2年度：-% 令和3年度：90% 令和4年度：90% 令和5年度：95%)教室参加後のアンケート結果「生活習慣改善意欲」で検証。 ・実践中なのでこのまま続ける ・健康になる努力が必要だと思う・努力しようと思う									
-													特定保健指導判定該当者率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：70% 令和4年度：75% 令和5年度：80%)40歳到達時には健康状態の悪化が進行しているケースが散見される。 肥満者の増加傾向が27～28歳頃から始まっているため、2015年度（H27）より25歳セミナー導入するも、傾向変わらず。2019年度（R1）より、強化策として追加で導入。意識変化は高いが、改善状況の実際を管理したいため、指標を追加で導入。									
	2,5,8	既存	★節目教育(35歳セミナー)	全て	男女	36～37	被保険者	3	シ	35歳：満35歳到達者対象。 業務都合等で参加できなかった場合は、翌年繰越でご案内。2年間有効。	ア,イ,ウ,ス	あいち健康の森へ委託。1日体験型（採血、講義、運動、食事）の教室。	718	718	-	-	-	-	若年時からの健康管理、健康意識向上。疾病によるＱＯＬ低下の防止、40歳になった時点での特定保健指導の該当者を減らす事で、高騰傾向の医療費の抑制へつなげる。	【若年者対策：節目教育 25歳、30歳、35歳セミナー】 40歳到達時には健康状態が悪化が進行しているケースが散見される		
参加率(【実績値】 78.5% 【目標値】平成30年度：80% 令和元年度：80% 令和2年度：90% 令和3年度：90% 令和4年度：90% 令和5年度：90%)参加率の向上 H29年度 対象者 93名 参加者 73名													特定保健指導判定該当者率(【実績値】 56.2% 【目標値】平成30年度：60% 令和元年度：60% 令和2年度：80% 令和3年度：65% 令和4年度：65% 令和5年度：70%)35歳：特定保健指導非該当率の向上 翌年の参加者の非該当率。									
体育奨励	1,2,8	既存	★アイチ健歩事業	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア,ケ	各社へ協力依頼し、加入、活動すすめる。	ア	-	1,469	1,469	-	-	-	-	健康意識の向上、運動習慣の定着化、促進。	【アイチ健歩活動】 運動習慣の定着化、健康意識の向上を図る。		
	参加者率(【実績値】 11% 【目標値】平成30年度：15% 令和元年度：15% 令和2年度：25% 令和3年度：30% 令和4年度：30% 令和5年度：35%)加入の促進												達成者率(【実績値】 43% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：60% 令和3年度：45% 令和4年度：50% 令和5年度：55%)実施の促進									
														-	-	-	-	-				

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標													アウトカム指標							
予算 措置 なし	2,4,5, 6	新規	被保険者対象 コラボ事業（ 定期健診時実 施：BMI面談）	全て	男女	18 ～ （上 限 なし）	被保険 者	3	コ	母体企業診療所の産業医 （近隣事業所の産業医も 兼務） からの依頼により、健康 保険組合の保健師が内容 を企画・実施。	ア,イ,キ	健康診断時に会場を準備 し、当日面談実施。 H30年度は保健師1名で実 施。集団支援を主として 実施。 R 1 年度より保健師2名で 実施。混雑時は集団指導 に切り替えるが、基本的 には個別で対応。	【計画】 H29年春の定期 健康診断より開始。 BMI30以上の高度肥満者 ～重症肥満者対象で産業 医指示により母体企業は 強制で実施。近隣事業所 は対象者へ通知を出して 手あげ制にて実施。年2回 の健診時に、BMIの範囲を 設定して実施するため、 対象者は実施見込み150人 以内程度で予定して準備 。 重症化・ポピュレーショ ンアプローチも目的とし ているので、受講者には 受講後、職場の仲間や被 扶養者へ展開するよう にも指導。 【内容】 動機付け支援の 内容をベースとして個別 ・集団で実施。生活習慣 を簡単に振り返ることの できる内容10項目のうち 、現在該当している項目 から、3ヵ月後に向けて改 善できそうな項目を目標 として選んでもらう。秋 の健診結果判定後に、春 と秋の体重・BMIと、面談 当日に立てた目標が個別 に印字されたお手紙を送 付。振り返りのアンケー トも同封し、返信をして いただく。 H30年春からは特定保健 指導初回支援への振り替 えを意識して、個別を中 心に実施。	【計画】 H30年春の定期 健康診断より開始。 BMI30以上の高度肥満者 ～重症肥満者対象で産業 医指示により母体企業は 強制で実施。 近隣事業所は対象者へ通 知を出して手あげ制にて 実施。年2回の健診期間中 に、BMIの範囲を設定して 実施するため、対象者は 実施見込み150人以内程 度で予定して準備。 疾病の重症化防止・ポピ ュレーションアプローチ も目的としているので、 受講者には受講後、職場 の仲間や被扶養者へ展開 するようにも指導。 【内容】 動機付け支援の 内容をベースとして個別 ・集団で実施。生活習慣 を簡単に振り返ることの できる内容10項目のうち 、現在該当している項目 から、3ヵ月後に向けて改 善できそうな項目を目標 として選んでもらう。秋 の健診結果判定後に、春 と秋の体重・BMIと、面談 当日に立てた目標が個別 に印字されたお手紙を送 付。振り返りのアンケー トも同封し、返信をして いただく。 R 1年春からは特定保健指 導初回支援への振り替え を意識して、個別を中心 に実施。	継続 【中間追加】 ⇒コロナ禍のため実施方法 変更。 R2年度はコロナウィルス 感染拡大のため、面談は 実施せず、自力で目標立 案が可能なアンケートを 作成し、健診時に対象者 へ配付。対象者は目標立 案後、保健師へ送付。月 に1度、体重と目標の進捗 報告を連絡する事とし、 未提出者には箇所長等に 協力要請。3か月間フォロ ー。3ヵ月目は振り返り用 のアンケート実施。悪化 者にはフォロー実施。	継続 【中間追加】 ⇒コロナ禍のため実施方法 変更。 R2年度はコロナウィルス 感染拡大のため、面談は 実施せず、自力で目標立 案が可能なアンケートを 作成し、健診時に対象者 へ配付。対象者は目標立 案後、保健師へ送付。月 に1度、体重と目標の進捗 報告を連絡する事とし、 未提出者には箇所長等に 協力要請。3か月間フォロ ー。3ヵ月目は振り返り用 のアンケート実施。悪化 者にはフォロー実施。	継続 【中間実施】 ⇒コロナ禍のため実施方法 変更。 R2年度はコロナウィルス 感染拡大のため、面談は 実施せず、自力で目標立 案が可能なアンケートを 作成し、健診時に対象者 へ配付。対象者は目標立 案後、保健師へ送付。月 に1度、体重と目標の進捗 報告を連絡する事とし、 未提出者には箇所長等に 協力要請。3か月間フォロ ー。3ヵ月目は振り返り用 のアンケート実施。悪化 者にはフォロー実施。	受講者をはじめ、加入者全体の健康意識の 向上。生活習慣の改善、運動習慣の定着化 の促進。	【コラボヘルス】 事業主の健康推進部門と健保組合 がバラバラに健康施策を実施して おり、協業できていない。 【重症化予防】 高リスク者（未治療・アンコン ロール等）への個別重症化予防が 不十分。	
実施者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100人 令和元年度：100人 令和2年度：-人 令和3年度：100人 令和4年度：100人 令和5年度：100人)H30年【春】愛知製鋼：202人 関連事業所：20人 【秋】愛知製鋼 73人 計：295人																				
体重減少者率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：20％ 令和元年度：20％ 令和2年度：-％ 令和3年度：25％ 令和4年度：30％ 令和5年度：35%)H30年度実施 合計：295人 【春】愛知製鋼：202人 関連事業所：20人 （BMI30以上の対象者のためー2kg減で検証。24.1％減） 【秋】愛知製鋼のみ： 73人 （BMI28.5～29.9)																				

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注4) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ＩＣＴの活用（情報作成又は情報提供でのＩＣＴ活用など） オ．専門職による対面での健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ．定量的な効果検証の実施 ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ．事業主と健康課題を共有 ス．その他

注5) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ．他の保険者との共同事業 オ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ．自治体との連携体制の構築 キ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク．保険者協議会との連携体制の構築
ケ．その他の団体との連携体制の構築 コ．就業時間内も実施可（事業主と合意） サ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス．その他